Dell™ 968 All-In-One Printer 操作ガイド

デルから消耗品を注文するには、以下の手順に従います。

1. デスクトップのアイコンをダブルクリックします。

2. デルの Web サイトにアクセスするか、電話でデル製プリンタの消耗品を注文します。

   www.dell.com/supplies

   サービスを最大限に利用するには、デルプリンタ サービスタグをお手元にご用意ください。

メモ、注意、および警告について

メモ： メモとは、プリンタの使用方法を向上させるための重要な情報を示したものです。

注意： 注意とは、ハードウェアの故障またはデータの損失を引き起こす可能性のある問題を示し、問題を回避する方法について説明したものです。

危険： 警告とは、物品の破損やケガ、または人命にかかわる可能性のある問題を示したものです。

モデル **968**

2007 年 10 月　SRV FY276　Rev. A00

情報とその入手先

必要な情報	入手先
• プリンタドライバ • 操作ガイド • XPS ドライバ（オプション）	*Drivers and Utilities* CD コンピュータとプリンタを同時にデルからご購入いただいた場合には、マニュアルおよびドライバはコンピュータにインストールされています。ドライバをアンインストールして再インストールするとき、またはマニュアルを参照するときに、CD を使用します。CD には Readme ファイルが含まれている場合があります。Readme ファイルには、プリンタの技術的な変更に関する最新情報や、熟練ユーザーや技術者のための高度な技術資料が含まれています。 XPS（XML Paper Specification）ドライバは、Windows Vista™ ユーザーが XPS の優れたグラフィック機能およびカラー機能を使用するための追加ドライバ（オプション）です。ドライバは zip 形式で圧縮されて CD に格納されています。（⇒ XPS ドライバ（オプション）をインストールする）
プリンタのセットアップ方法	プリンタのセットアップ図
• 安全に関する情報 • プリンタのセットアップ方法と使用方法 • 保証に関する情報	オーナーズマニュアル
エクスプレスサービスコードとサービスタグナンバー	エクスプレスサービスコードとサービスタグナンバー

	 （⇒ エクスプレスサービスコード）
• プリンタ用の最新ドライバ • テクニカルサービスおよびサポートに関する質問への回答 • プリンタのマニュアル	デルサポート ホームページ：support.dell.com デルサポート Web サイトでは、次のようなオンラインツールを提供しています。 • ソリューション - トラブルシューティングのヒントとテクニック、技術者による文書、およびオンラインセミナーを提供します。 • アップグレード - メモリなどのコンポーネントのアップグレードに関する情報を提供します。 • カスタマーケア - デルへの連絡先、オーダーステータス（お届け予約案内）、保証、および修理に関する情報を提供します。 • ダウンロード - ドライバをダウンロードします。 • レファレンス - プリンタのマニュアルと製品仕様を参照できます。
• Windows Vista の使用方法 • プリンタのマニュアル	Windows Vista のヘルプとサポートセンター 1. ® ［ヘルプとサポート］の順にクリックします。 2. トラブルを説明する単語またはフレーズを入力して、矢印アイコンをクリックします。 3. トラブルに当てはまるトピックをクリックします。 4. 画面に表示される手順に従います。
• Microsoft® Windows® XP の使用方法 • プリンタのマニュアル	Windows XP のヘルプとサポートセンター 1. ［スタート］® ［ヘルプとサポート］の順にクリックします。 2. トラブルを説明する単語またはフレーズを入力して、矢印アイコンをクリックします。 3. トラブルに当てはまるトピックをクリックします。 4. 画面に表示される手順に従います。

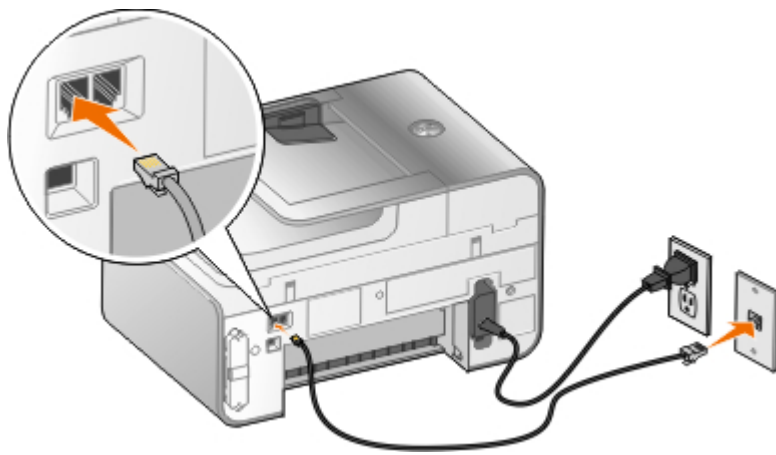
FAX

お使いのプリンタでは、コンピュータに接続しなくても FAX を送受信できます。

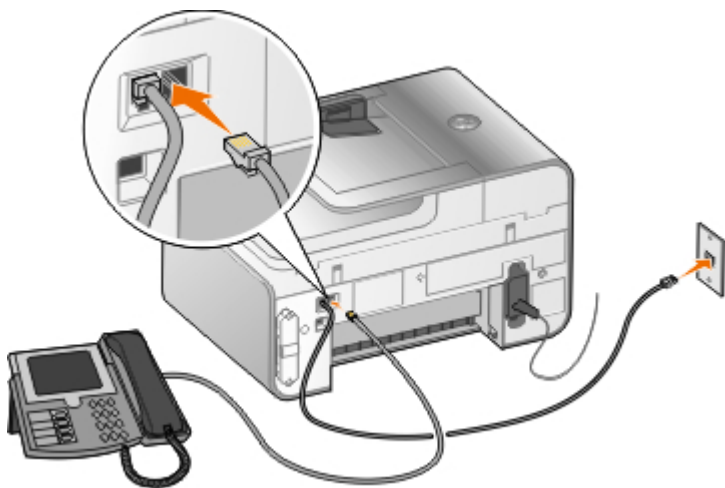
さらに、*Drivers and Utilities* CD には Dell™ FAX ナビが含まれていて、プリンタソフトウェアをインストールする際にコンピュータにインストールされています。この FAX アプリケーションを使用して、FAX を送受信することもできます。（⇒ Dell FAX ナビの使用）

機器	利点	参照先
• プリンタ • モジュラーケーブル（同梱）	コピーの作成と FAX の送受信をコンピュータなしで実行できます。	壁の電話コンセントに直接接続する
• プリンタ • 電話機（別売） • モジュラーケーブル 2 本（1 本同梱）	• FAX 回線を通常の電話回線として使用できます。 • 電話機の置き場所に関係なくプリンタをセットアップできます。 • コピーの作成と FAX の送受信をコンピュータなしで実行できます。	電話機に接続する
• プリンタ • 電話機（別売） • 留守番電話機（別売） • モジュラーケーブル 3 本（1 本同梱）	通話と FAX を両方受信できます。	留守番電話に接続する
• プリンタ • 電話機（別売） • コンピュータのモデム（別売） • モジュラーケーブル 3 本（1 本同梱） • USB ケーブル（別売）	電話の接続口の数を増やすことができます。	コンピュータのモデムに接続する

プリンタに外部デバイスをセットアップする

壁の電話コンセントに直接接続する

1. モジュラーケーブルの一方の端を FAX コネクタ（FAX - 左のコネクタ）に接続します。

2. モジュラーケーブルのもう一方の端を、使用可能な壁の電話コンセントに差し込みます。

電話機に接続する

1. プリンタの FAX コネクタ（FAX - 左のコネクタ）に接続されたモジュラーケーブルを、使用可能な壁の電話コンセントに接続します。

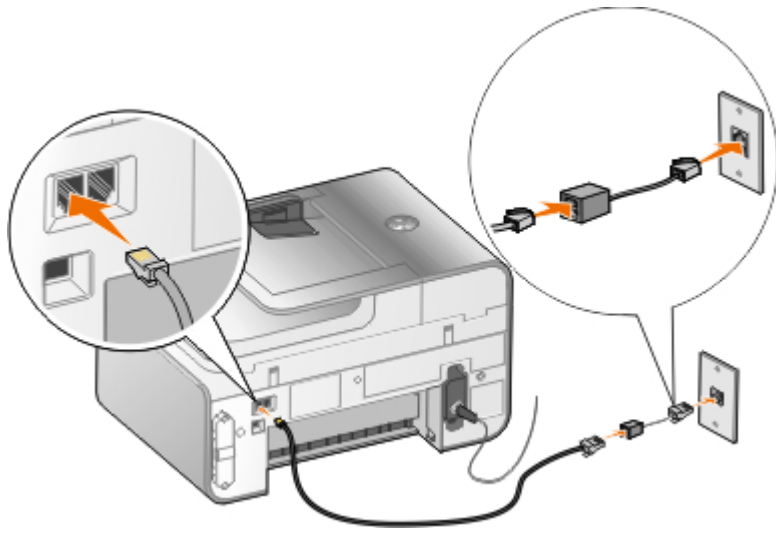
2. 電話線コネクタ（ - 右のコネクタ）から、ブルーの保護プラグを取り外します。

3. 電話線コネクタ（ - 右のコネクタ）に接続されたモジュラーケーブルを電話機に接続します。

 メモ： ドイツ、スウェーデン、デンマーク、オーストリア、ベルギー、イタリア、フランス、スイスなど、電話回線がシリアル接続の国では、電話線コネクタ（ - 右のコネクタ）からブルーのプラグを取り外してから、付属する黄色のターミネータを接続しないと、FAX が正しく動作しません。これらの国では、このポートに追加のデバイスを接続することはできません。

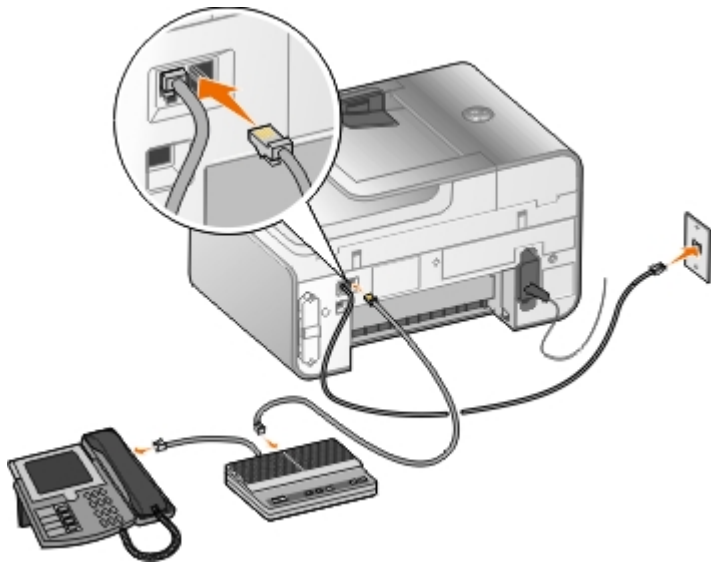
DSL（デジタル加入者回線）を使用している場合

DSL では、電話回線を通じてデジタルデータがコンピュータに配信されます。お使いのプリンタはアナログデータ専用です。DSL モデムに接続されている電話回線で FAX を送信する場合は、DSL フィルタを装着して、アナログ FAX モデム信号による干渉を低減させてください。

 メモ： ISDN（統合デジタル通信サービス網）モデムおよびケーブルモデムは FAX モデムではないため、FAX 送信をサポートしていません。

1. DSL フィルタを、使用可能な電話回線に接続します。

2. プリンタを DSL フィルタの出力に直接接続します。

メモ： DSLフィルタとプリンタとの間に分配器を設置しないでください。詳細については、DSL サービスプロバイダにお問い合わせください。

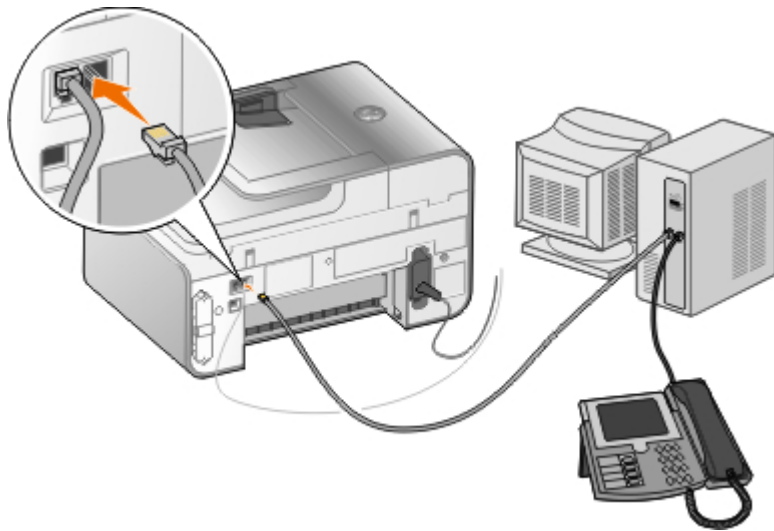
留守番電話に接続する

1. プリンタの FAX コネクタ（FAX - 左のコネクタ）に接続されたモジュラーケーブルを、使用可能な壁の電話コンセントに接続します。

2. 電話線コネクタ（ - 右のコネクタ）から、ブルーの保護プラグを取り外します。

3. 留守番電話に接続したモジュラーケーブルを電話機に接続します。

4. 電話線コネクタ（ - 右のコネクタ）に接続されたモジュラーケーブルを留守番電話に接続します。

メモ： ドイツ、スウェーデン、デンマーク、オーストリア、ベルギー、イタリア、フランス、スイスなど、電話回線がシリアル接続の国では、電話線コネクタ（ - 右のコネクタ）からブルーのプラグを取り外してから、付属する黄色のターミネータを接続しないと、FAX が正しく動作しません。これらの国では、このポートに追加のデバイスを接続することはできません。

コンピュータのモデムに接続する

1. プリンタの FAX コネクタ（FAX - 左のコネクタ）に接続されたモジュラーケーブルを、使用可能な壁の電話コンセントに接続します。

2. 電話線コネクタ（ - 右のコネクタ）から、ブルーの保護プラグを取り外します。

3. 電話線コネクタ（ - 右のコネクタ）に接続されたモジュラーケーブルをコンピュータのモデムに接続します。

4. コンピュータのモデムに接続したモジュラーケーブルを電話機に接続します。

メモ： ドイツ、スウェーデン、デンマーク、オーストリア、ベルギー、イタリア、フランス、スイスなど、電話回線がシリアル接続の国では、電話線コネクタ（ - 右のコネクタ）からブルーのプラグを取り外してから、付属する黄色のターミネータを接続しないと、FAX が正しく動作しません。これらの国では、このポートに追加のデバイスを接続することはできません。

FAX を送信する

クイック FAX を送信する

操作パネルの使用

1. プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。（⇒ プリンタに外部デバイスをセットアップする）

2. 原稿をセットします。（⇒ 原稿をセットする）

3. 上下の矢印ボタン を押して、［FAX］までスクロールします。

4. キーパッドを使用して、FAX 番号または短縮ダイヤル番号を入力します。

5. ［スタート］ボタン を押します。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。

2. プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。（⇒ プリンタに外部デバイスをセットアップする）

3. 原稿をセットします。（⇒ 原稿をセットする）

4. *Windows Vista™* の場合：

a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

Microsoft® Windows® XP または *Windows 2000* の場合：

［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

5. ［**Dell FAX** ナビ］を選択します。

［**Dell FAX** ナビ］ダイアログが開きます。

6. ［新規 **FAX** の送信］をクリックします。

7. コンピュータの画面に表示される手順に従って FAX を送信します。

FAX 番号を入力する

操作パネルの使用

1. メインメニューで、上下の矢印ボタン を押して［FAX］までスクロールします。

2. FAX 番号を入力します。

操作	方法
FAX 番号に FAX を送信する	キーパッドを使用して、番号を入力します。64 桁以内で FAX 番号を入力できます。
アドレス帳に登録された番号に FAX を送信する	• 送信先の短縮ダイヤルに対応する番号を入力します。 • ［アドレス帳］メニューを使用します。 a. 上下の矢印ボタン を押して［**FAX**］までスクロールし、設定ボタン を押します。 b. ［アドレス帳］で、設定ボタン を押します。 c. 上下の矢印ボタン を押して［名前の検索］、［**FAX** 番号の検索］、または［グループの検索］までスクロールし、設定ボタン を押します。 d. 上下の矢印ボタン を押して、FAX 送信先の名前または FAX 番号までスクロールします。
内線番号に FAX を送信する	アスタリスク（*）およびシャープ（#）を押し、キーパッドを使用して内線番号を入力します。
外線に FAX を送信する	以下の手順で外線発信番号を設定します。 a. メインメニューで、上下の矢印ボタン を押して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。 b. 下向き矢印ボタン を押して［詳細設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。 c. 下向き矢印ボタン を押して［ダイヤルと送信］までスクロールし、設定ボタン を押します。 d. 上下の矢印ボタン を押して［外線発信番号］までスクロールし、左右の矢印ボタン を押して［作成］までスクロールします。 e. 設定ボタン を押します。 メモ： 外線発信番号を変更する場合は、［変更］までスクロールします。

	f. キーパッドを使用して、外線発信番号を入力します。8 桁以内で外線発信番号を入力できます。 g. 設定ボタン を押します。
トーンを聞きながら内線番号に FAX を送信する（オンフック）	内線番号が 2 桁の場合は 0 を、1 桁の場合は 0 0 を追加してダイヤルします。たとえば、内線番号が 12 の場合は 120 と入力します。内線番号が 2 の場合は 200 と入力します。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。（⇒ プリンタに外部デバイスをセットアップする）
3. 原稿をセットします。（⇒ 原稿をセットする）
4. *Windows Vista*の場合：
   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。
   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。
   c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

   Windows XP または *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。
5. ［**Dell FAX** ナビ］を選択します。

   ［**Dell FAX** ナビ］ダイアログが開きます。
6. ［新規 **FAX** の送信］をクリックします。

   ［**FAX** 送信］ダイアログボックスが表示されます。
7. ［名前］、［会社名］、［FAX 番号］の各フィールドに送信先情報を入力するか、［アドレス帳から送信先を選択する］をクリックして、既存の連絡先を送信先リストに追加します。
8. アドレス帳に新規連絡先を追加する場合は、［アドレス帳に登録］をクリックします。
9. 複数の送信先に FAX を送信する場合は、［他の送信先を追加］をクリックします。
   a. ［名前］、［会社名］、［FAX 番号］の各フィールドに次の送信先情報を入力するか、［アドレス帳から送信先を選択する］をクリックして、既存の連絡先を送信先リストに追加します。
   b. アドレス帳に新規連絡先を追加する場合は、［アドレス帳に登録］をクリックします。
   c. 連絡先情報を手動で入力する場合は、［追加］をクリックして［送信先］リストに連絡先を追加します。
   d. 送信先の情報を変更するには、送信先を選択して［編集］をクリックします。
   e. ［送信先］リストから連絡先を削除するには、送信先を選択して［削除］をクリックします。
   f. ［送信先］リストが完成するまで、手順 a から手順 e までを繰り返します。
10. ［次へ］をクリックします。
11. コンピュータの画面に表示される手順に従って FAX を送信します。

高度な FAX 送信

操作パネルの使用

プリンタをコンピュータに接続しないで FAX 機器として使用している場合、さまざまな FAX サブメニューを使用して、送信する FAX の設定を変更できます。FAX メニューでは、以下の操作を実行できます。

- FAX の送信日時を指定する
- 短縮ダイヤルリストを使用して FAX を送信する
- 個人またはグループへ送信するためのアドレス帳を管理する
- FAX 送付状をカスタマイズする
- FAX ログを作成および印刷する
- FAX 管理レポートを作成および印刷する

（⇒ FAX モード）

コンピュータの使用

Dell Fax ナビを使用すると、高度な FAX 機能を利用できます。Dell FAX ナビには、基本的な FAX 機能のほかに以下の機能があります。

- FAX の送信日時を指定する
- コンピュータのファイルと紙の原稿を 1 回の FAX 操作で送信する
- 短縮ダイヤルリストを使用して FAX を送信する
- 個人またはグループへ送信するためのアドレス帳を簡単に管理する
- さまざまな送付状を独自に作成し、保存する
- FAX ログを作成および印刷する
- FAX 管理レポートを作成および印刷する

（⇒ Dell FAX ナビの使用）

1. *Windows Vista*の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

   Windows XP および *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

2. ［**FAX** ナビ］をクリックします。

   ［**Dell FAX** ナビ］ダイアログが開きます。

3. ［**Dell FAX** ナビ］ダイアログボックスの該当するリンクをクリックして、操作を行います。

4. 画面に表示される手順に従います。

自動応答システム経由で FAX を送信する

一部の企業では、通話者がいくつかの質問に回答して、希望する部署に接続する自動応答システムを採用している場合があります。該当するボタンを押して質問に回答すると、適切な部署に電話がつながります。自動応答システムを採用している企業に FAX を送信するには、オンフック機能を使用できるようにプリンタを設定します。

1. プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。（⇒ プリンタに外部デバイスをセットアップする）
2. スキャンする面を下にして、原稿を原稿台にセットします。（⇒ 原稿をセットする）
3. 操作パネルで、上下の矢印ボタン を押して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。
4. 上下の矢印ボタン を押して［オンフック］までスクロールし、設定ボタン を押します。
5. 必要に応じて送付状の情報を変更し、［戻る］ボタン を押します。
6. キーパッドを使用して、企業の電話番号をダイヤルします。
7. キーパッドを使用して、自動応答システムを操作します。
8. FAX の信号音が聞こえたら、［スタート］ボタン を押して FAX を送信します。

   FAX を中止するには、プリンタの［キャンセル］ボタン を押します。

FAX を受信する

FAX を自動受信する

1. プリンタの電源がオンになっていて、使用できる電話回線に接続されていることを確認します。
2. ［自動受信］がオンになっているか、または現在、自動受信を予約した時間帯の中であることを確認します。
   a. メインメニューで、上下の矢印ボタン を押して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。
   b. 上下の矢印ボタン を押して、［自動受信］までスクロールします。
   c. 左右の矢印ボタン を押して、［オン］または［時間指定］までスクロールし、設定ボタン を押します。
   d. ［時間指定］を選択した場合、［自動受信の時間指定］画面が表示されます。キーパッドを使用して、［自動受信］をオンおよびオフにする時刻を指定します。
   e. ［戻る］ボタン を押します。
3. 着信した FAX を受信するまでの着信音の回数を設定します。
   a. メインメニューで、上下の矢印ボタン を押して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。
   b. 下向き矢印ボタン を押して［詳細設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。
   c. 上下の矢印ボタン を押して［着信音と受信］までスクロールし、設定ボタン を押します。
   d. 上下の矢印ボタン を押して、［着信音の回数］までスクロールします。

e. 左右の矢印ボタン を押して、プリンタが FAX を受信するまでの着信音の回数を選択します。

f. ［戻る］ボタン を押します。

設定した回数だけ着信音が鳴ると、FAX が自動的に受信されます。

FAX を手動で受信する

自動受信機能をオフにして、FAX の受信方法を管理することもできます。不要な FAX を受信しない場合や、ほとんど受信しない場合、または FAX の受信費用がかかりすぎる場合などに便利です。

1. プリンタの電源がオンになっていて、FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。（⇒ プリンタに外部デバイスをセットアップする）
2. ［自動受信］をオフに設定します。

   a. メインメニューで、上下の矢印ボタン を押して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。

   b. 上下の矢印ボタン を押して、［自動受信］までスクロールします。

   c. 左右の矢印ボタン を押して、［オフ］までスクロールします。

   d. ［戻る］ボタン を押します。
3. 電話が鳴ったらプリンタの受話器を上げ、FAX の発信音を確認します。
4. FAX の発信音を確認したら、操作パネルまたは電話のキーパッドで「**DELL#**（**3355#**）」と押します。

メモ： **DELL#** は、標準設定の応答コードです。応答コードは任意の番号に変更できます。（⇒ 手動受信コードの変更）

手動受信コードの変更

1. メインメニューで、上下の矢印ボタン を押して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。
2. 下向き矢印ボタン を押して［詳細設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。
3. 上下の矢印ボタン を押して［着信音と受信］までスクロールし、設定ボタン を押します。
4. 上下の矢印ボタン を押して［受信コード］までスクロールし、設定ボタン を押します。
5. キーパッドを使用して、新しい 1 ～ 7 桁のコードを指定します。

   メモ： 手動受信コードに使用できる文字は、0 ～ 9、シャープ（#）、アスタリスク（*）です。他の文字を入力しても無視されます。
6. 設定ボタン を押します。

オーバーサイズの FAX を印刷する

操作パネルの使用

1. メインメニューで、上下の矢印ボタンを押して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。

2. 下向き矢印ボタン を押して［詳細設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。

3. 上下の矢印ボタン を押して［FAX の印刷］までスクロールし、設定ボタン を押します。

4. ［縮小印刷］から、左右の矢印ボタン を押してオプションを選択します。

5. ［戻る］ボタン を押します。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。

2. プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。 (⇒ プリンタに外部デバイスをセットアップする)

3. *Windows Vista*の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

   Windows XP または *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

4. ［**Dell FAX** ナビ］を選択します。

   ［**Dell FAX** 設定ウィザード］ダイアログボックスが開きます。

5. ［いいえ］をクリックします。

   ［**Dell FAX** ナビ］ダイアログボックスが開きます。

6. ［**FAX** レポートの印刷］タブをクリックします。

7. ［オーバーサイズ］フィールドから、オプションを選択します。

8. ［**OK**］をクリックします。

   確認のダイアログボックスが表示されます。

9. ［**OK**］をクリックして、FAX 設定を保存します。

10. ［閉じる］をクリックします。

用紙の両面に FAX を印刷する

操作パネルの使用

1. メインメニューで、上下の矢印ボタン を押して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。

2. 下向き矢印ボタン を押して［詳細設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。

3. 上下の矢印ボタン を押して［FAX の印刷］までスクロールし、設定ボタン を押します。

4. ［両面印刷］メニュー項目から、左右の矢印ボタン を押して［両面印刷］までスクロールします。

5. ［戻る］ボタン を押します。

コンピュータを使用する

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。（⇒ プリンタに外部デバイスをセットアップする）
3. *Windows Vista*の場合：
   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。
   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。
   c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

   Windows XP または *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。
4. ［**Dell FAX** ナビ］を選択します。

   ［**Dell FAX** 設定ウィザード］ダイアログボックスが開きます。
5. ［いいえ］をクリックします。

   ［**Dell FAX** ナビ］ダイアログボックスが開きます。
6. ［**FAX** レポートの印刷］タブをクリックします。
7. ［両面印刷］フィールドから、［両面印刷］を選択します。
8. ［**OK**］をクリックします。

   確認のダイアログボックスが表示されます。
9. ［**OK**］をクリックして、FAX 設定を保存します。
10. ［閉じる］をクリックします。

FAX 設定を変更する

操作パネルの使用

プリンタをコンピュータに接続しないで FAX 機器として使用している場合、［詳細設定］メニューから FAX 設定を変更できます。［詳細設定］メニューで行った変更は、すべての FAX ジョブに常に適用されます。（⇒ ［詳細設定］メニュー）

コンピュータを使用する

コンピュータからプリンタの FAX 設定を構成する場合は、**FAX** ユーティリティにアクセスします。

1. *Windows Vista* の場合：

a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

Windows XP および *Windows 2000* の場合：

［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

2. ［**Dell FAX** ナビ］を選択します。

［**Dell FAX** 設定ウィザード］ダイアログが開きます。

3. FAX 設定ウィザードを使用してプリンタの FAX 設定を構成する場合は、［はい］をクリックします。［**Dell FAX** 設定ウィザードへようこそ］ダイアログが開きます。

FAX 設定を手動で変更する場合は、［いいえ］をクリックします。［**Dell FAX** ユーティリティ］ダイアログが開きます。

タブ名	可能な操作
ダイヤルと送信	• 電話回線の種類を指定します。 • 外線発信番号を入力します。 • 発信音量を設定します。 • 自局の FAX 番号と名前を入力します。 • リダイヤルの回数、および FAX 送信に失敗した場合の再試行間隔を選択します。 • 番号をダイヤルする前または後で、原稿全体をスキャンするかどうかを選択します。 • FAX を送信する際の最高送信速度と印刷品質を選択します。 • 送信設定に関係なく、受信側の FAX 機器に合わせて FAX を自動的に変換します。
自動受信と呼出音	• プリンタが FAX の着信に応答するまでの着信音の回数を指定します。 メモ： 留守番電話機では、プリンタで設定した着信音の回数より少ない回数を設定する必要があります。 • 電話回線で FAX 専用着信音サービスが利用できる場合は、FAX 専用着信音を指定します。 • 着信音量を設定します。 • エラー修正機能を使用するかどうかを選択します。 • 発信者番号の通知形式を選択します。検出形式として FSK が使用されている場合は 1 を、DTMF が使用されている場合は 2 を選択してください。発信者番号の検出形式は、セットアップ時に選択した国/地域によって決まります。2 種類の検出形式が使用されている場合は、ご利用の電話会社に連絡して、使用されている形式を確認してください。 • 手動受信コードを指定します。デフォルトのコードは **DELL#**（**3355#**）です。 • 着信した FAX を自動で受信するか、指定時刻に受信するかを選択します。 • 着信した FAX を自動で受信する時刻を指定します。 • FAX を転送するか、印刷してから転送するかを選択します。 • 転送先の FAX 番号を指定します。 • FAX の着信拒否を管理します。
FAX 印刷/履歴	• 用紙サイズを超える FAX を自動的に縮小して 1 ページに印刷するか、元のサイズのままで 2 ページに印刷するかを指定します。 • フッター（日付、時刻、ページ番号）を各ページに印刷するかどうかを選択します。 • 用紙トレイが 2 つ取り付けられている場合、用紙を使用するトレイを選択します。受信した FAX に合わせて用紙を選択する場合は、［自動］を選択します。 • オプションの両面印刷ユニットが取り付けられている場合は、用紙の両面に印刷するかどうかを選択します。 • 通信管理レポートを印刷するタイミングを指定します。 • 送信管理レポートを印刷するタイミングを指定します。
短縮ダイヤル	短縮ダイヤルリストまたはグループダイヤルリストの追加、作成、編集を行います。
送付	

状	• FAX を送信する際に送付状を送信するかどうかを指定します。 • 送付状に表示される情報を編集または更新します。 • FAX を送信する際の優先順位を選択します。 • 短いメッセージを追加します。

短縮ダイヤルを使用する

FAX を簡単に送信するために、プリンタの操作パネルを使用して、89 個の個別の短縮ダイヤル番号と、1 つにつき 30 個までの番号を含むことができる 10 個のグループダイヤルを指定できます。

コンピュータを使用して、短縮ダイヤルまたはグループダイヤルのリストを作成する方法（⇒ FAX 設定を変更する）

短縮ダイヤルリストまたはグループダイヤルリストを作成する

操作パネルから

短縮ダイヤルリストに番号を追加する

1. メインメニューで、上下の矢印ボタン を押して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。
2. 上下の矢印ボタン を押して［アドレス帳］までスクロールし、設定ボタン を押します。
3. 上下の矢印ボタン を押して［送信先の登録］までスクロールし、設定ボタン を押します。
4. キーパッドを使用して名前と FAX 番号を入力します。

   メモ： 入力した連絡先には、まだ使用されていない最小の短縮ダイヤル番号が自動的に割り当てられます。短縮ダイヤル番号を変更することはできません。

5. ［戻る］ボタン を押します。

グループダイヤルリストに番号を追加する

1. メインメニューで、上下の矢印ボタン を押して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。
2. 上下の矢印ボタン を押して［アドレス帳］までスクロールし、設定ボタン を押します。
3. 上下の矢印ボタン を押して［グループの登録］までスクロールし、設定ボタン を押します。
4. キーパッドを使用して、グループに名前と FAX 番号を割り当てます。下向き矢印ボタン を押して、次の番号を入力します。［名前の検索］、［**FAX**番号の検索］、または［ダイヤル履歴］オプションを使用して、電話番号を選択することもできます。選択または入力した各番号がグループダイヤルリストに追加されます。

   メモ： 入力した連絡先には、まだ使用されていない最小のグループダイヤル番号が自動的に割り当てられます。短縮ダイヤル番号を変更することはできません。

5. ［戻る］ボタン を押します。

コンピュータを使用する

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。（⇒ プリンタに外部デバイスをセットアップする）

3. *Windows Vista*の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

   Windows XP または *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

4. ［**Dell FAX** ナビ］を選択します。

   ［**Dell FAX** 設定ウィザード］ダイアログボックスが開きます。

5. ［いいえ］をクリックします。

   ［**Dell FAX** ナビ］ダイアログボックスが開きます。

6. ［短縮ダイヤル］タブをクリックします。

7. 短縮ダイヤルリストに新しいエントリを追加するには、1 ～ 89 のうちから使用できる番号をクリックして、新しい連絡先の FAX 番号と名前を入力します。

   グループダイヤルリストに新しいグループエントリを追加するには、90 ～ 99 のうちから使用できる番号をクリックします。メインの短縮ダイヤルリストの下にグループリストが小さく表示されます。新しいグループエントリの FAX 番号と名前を入力します。

8. アドレス帳から連絡先を追加するには、［アドレス帳から選択］をクリックします。

   ［アドレス帳から選択］ダイアログボックスが表示されます。

   a. アドレス帳から連絡先を選択します。

   b. 連絡先をリストに追加するには、短縮ダイヤルまたはグループダイヤルの設定セクションで利用できる番号をクリックします。

      リストの既存のエントリを上書きするには、変更するエントリをクリックします。

   c. ［リストへの追加または変更］をクリックします。

   d. アドレス帳のエントリを短縮ダイヤルまたはグループダイヤルリストに追加したら、［**OK**］をクリックして［短縮ダイヤル］タブへ戻ります。

9. ［**OK**］をクリックします。

   確認のダイアログボックスが表示されます。

10. ［**OK**］をクリックして、プリンタの設定を上書きします。

11. ［閉じる］をクリックします。

短縮ダイヤルリストまたはグループダイヤルリストを使用する

1. メインメニューで、上下の矢印ボタン を押して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。

2. キーパッドを使用して、2 桁の短縮ダイヤル番号を入力します。

3. ［スタート］ボタン を押します。

メモ： 番号を入力するときに、数字を 2 つだけ入力して、その数字に該当するエントリがある場合、短縮ダイヤルとして処理されます。入力した番号がアドレス帳のエントリに該当しない場合は、内線番号として処理されます。

FAX の着信拒否

着信拒否リストを作成する

操作パネルの使用

1. メインメニューで、上下の矢印ボタン を押して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。
2. 下向き矢印ボタン を押して［詳細設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。
3. 下向き矢印ボタン を押して［着信拒否］までスクロールし、設定ボタン を押します。
4. 下向き矢印ボタン を押して［着信拒否番号の登録］までスクロールし、設定ボタン を押します。
5. キーパッドを使用して、名前を入力します。
6. キーパッドを使用して FAX 番号を指定し、設定ボタン を押します。

メモ： 入力した連絡先には、まだ使用されていない最小の登録番号が自動的に割り当てられます。登録番号を変更することはできません。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。（⇒ プリンタに外部デバイスをセットアップする）
3. *Windows Vista*の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

   Windows XP または *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。
4. ［**Dell FAX** ナビ］を選択します。

   ［**Dell FAX** 設定ウィザード］ダイアログボックスが開きます。
5. ［いいえ］をクリックします。

   ［**Dell FAX** ナビ］ダイアログボックスが開きます。
6. ［着信音と受信］タブをクリックします。
7. ［着信拒否番号の登録］をクリックします。

   ［着信拒否番号の登録］ダイアログボックスが表示されます。

8. 着信を拒否するリストの番号を入力します。

9. ［**OK**］をクリックして、［着信音と受信］タブに戻ります。

10. ［**OK**］をクリックします。

 確認のダイアログボックスが表示されます。

11. ［**OK**］をクリックして、FAX 設定を保存します。

12. ［閉じる］をクリックします。

着信拒否設定を有効にする

操作パネルの使用

1. メインメニューで、上下の矢印ボタン を押して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。

2. 下向き矢印ボタン を押して［詳細設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。

3. 下向き矢印ボタン を押して［着信拒否］までスクロールし、設定ボタン を押します。

4. ［着信拒否］から、左右の矢印ボタン を押して［オン］を選択します。

5. ［戻る］ボタン を押します。

 ［着信拒否リスト］に登録されている番号からの FAX 受信を検出すると、接続が切断されます。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。

2. プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。（⇒ プリンタに外部デバイスをセットアップする）

3. *Windows Vista*の場合：

 a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

 b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

 c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

 Windows XP または *Windows 2000* の場合：

 ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

4. ［**Dell FAX** ナビ］を選択します。

 ［**Dell FAX** 設定ウィザード］ダイアログボックスが開きます。

5. ［いいえ］をクリックします。

 ［**Dell FAX** ナビ］ダイアログボックスが開きます。

6. ［着信音と受信］タブをクリックします。

7. ［着信拒否番号の登録］をクリックします。

［着信拒否番号の登録］ダイアログボックスが表示されます。

8. ［着信拒否］を選択します。
9. ［**OK**］をクリックして、［着信音と受信］タブに戻ります。
10. ［**OK**］をクリックします。

    確認のダイアログボックスが表示されます。

11. ［**OK**］をクリックして、FAX 設定を保存します。
12. ［閉じる］をクリックします。

番号非通知の場合に着信を拒否する

操作パネルの使用

1. メインメニューで、上下の矢印ボタン を押して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。
2. 下向き矢印ボタン を押して［詳細設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。
3. 下向き矢印ボタン を押して［着信拒否］までスクロールし、設定ボタン を押します。
4. ［非通知拒否］から、左右の矢印ボタン を押して［オン］を選択します。
5. 設定ボタン を押します。

    番号を非通知に設定している機器からの FAX が検出されると、通信が切断されます。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。（⇒ プリンタに外部デバイスをセットアップする）
3. *Windows Vista*の場合：

    a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

    b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

    c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

    Windows XP または *Windows 2000* の場合：

    ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

4. ［**Dell FAX** ナビ］を選択します。

    ［**Dell FAX** 設定ウィザード］ダイアログボックスが開きます。

5. ［いいえ］をクリックします。

    ［**Dell FAX** ナビ］ダイアログボックスが開きます。

6. ［着信音と受信］タブをクリックします。

7. ［着信拒否番号の登録］をクリックします。

   ［着信拒否番号の登録］ダイアログボックスが表示されます。

8. ［有効な送信元の **ID** がない場合は受信しない］を選択します。
9. ［**OK**］をクリックして、［着信音と受信］タブに戻ります。
10. ［**OK**］をクリックします。

    確認のダイアログボックスが表示されます。

11. ［**OK**］をクリックして、FAX 設定を保存します。
12. ［閉じる］をクリックします。

FAX 管理レポートを作成する

操作パネルの使用

1. メインメニューで、上下の矢印ボタンを押して［FAX］までスクロールし、設定ボタンを押します。
2. 下向き矢印ボタンを押して［詳細設定］までスクロールし、設定ボタンを押します。
3. 上下の矢印ボタンを押して［履歴と送信結果］までスクロールし、設定ボタンを押します。
4. ［履歴と送信結果］メニューから、FAX 操作に関する記録を表示または印刷できます。

コンピュータを使用する

1. *Windows Vista* の場合：
   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。
   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。
   c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

   Windows XP および *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

2. ［**FAX** ナビ］をクリックします。

   ［**Dell FAX** ナビ］ダイアログが開きます。

3. ［管理レポートの表示］をクリックします。
4. ［表示］ドロップダウンメニューで、レポートを印刷する FAX をクリックします。
5. レポートを作成する期間を選択します。
6. ダイアログボックスの左上にある［印刷］アイコンをクリックして、FAX 管理レポートを印刷します。

プリンタ各部の名称とはたらき

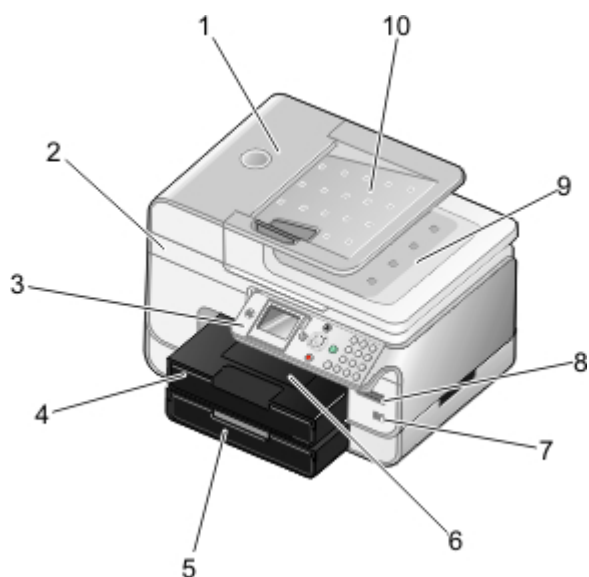
- プリンタ各部のはたらき
- 操作パネルのはたらき

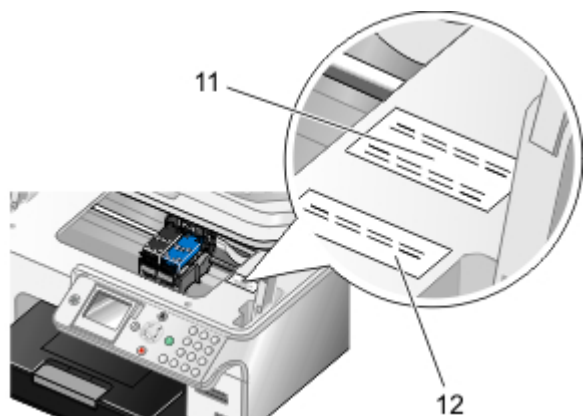
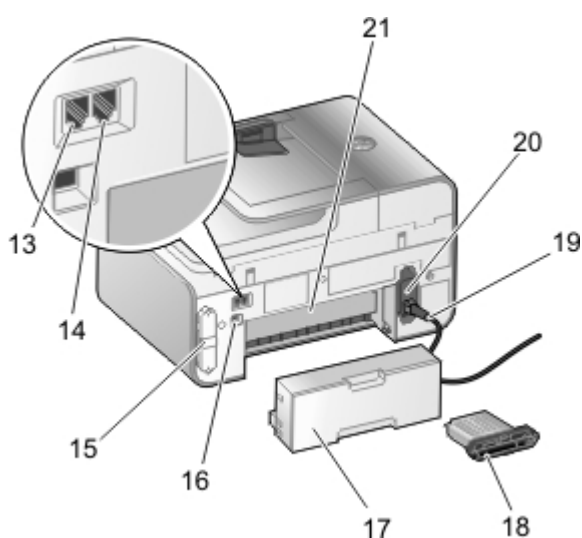
お使いのプリンタは、さまざまな用途に使用できます。以下の点に注意してください。

- プリンタがコンピュータに接続されている場合、プリンタの操作パネルまたはプリンタソフトウェアを使用して、高品質のドキュメントを作成できます。
- 印刷、スキャン、および［コンピュータに写真を保存］の各機能、またはファイル印刷モードを使用するには、プリンタがコンピュータに接続されている必要があります。
- コピーを作成する場合や、FAX を送信する場合、メモリカードまたは PictBridge 対応カメラから印刷する場合は、プリンタをコンピュータに接続する必要はありません。

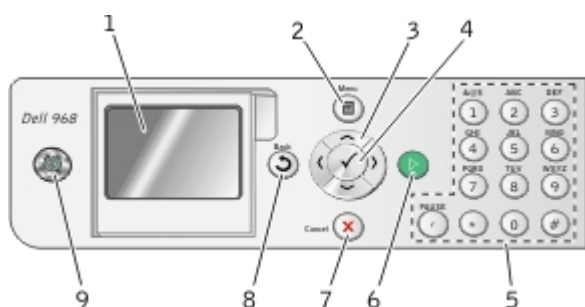
メモ： FAX を送信する場合は、プリンタがコンピュータに接続されているかどうかに関係なく、プリンタは電話線に接続されている必要があります。

メモ： コンピュータで DSL モデムを使用している場合は、コンピュータに接続されている電話線に DSL フィルタを取り付ける必要があります。

プリンタ各部のはたらき

番号	名称	説明
1	ADF（自動原稿フィーダー）	原稿をプリンタに送ります。
2	スキャナベースユニット	カートリッジを交換する場合は、このユニットを開きます。
3	操作パネル	コピー、スキャン、FAX、印刷操作に使用するパネルです。（⇒ 操作パネルのはたらき）
4	用紙トレイ	印刷用紙をセットするトレイです。
5	オプション用紙トレイ	プリンタにセットできる用紙量を増やすためのトレイ（別売）です。
6	排紙トレイ	プリンタから排出された用紙を受けるところです。

		メモ： 排紙トレイをいっぱいに引き出して延ばします。
7	PictBridge 接続部	PictBridge 対応のデジタルカメラまたは USB キーをプリンタに接続するためのコネクタです。
8	メモリカードスロット	デジカメの写真が保存されたメモリカードをセットするスロットです。 メモ： 液晶画面には、メモリカード内の JPG 形式または特定の TIFF 形式の画像のみが表示されます。メモリカードにある他の画像形式のファイルを表示するには、メモリカードマネージャを開きます。（⇒ メモリカードマネージャを使用する）
9	ADF 排紙トレイ付き原稿カバー	プリンタの一番上の部分で、スキャンする文書または写真が平らになるように押さえます。ADF を通過した後の原稿が排出されるのもこの場所です。
10	ADF 給紙トレイ	原稿をセットするためのトレイです。複数ページの原稿のスキャン、コピー、FAX を行う際に使用します。

11	エクスプレスサービスコード	• テクニカルサポートにお問い合わせの際、またはsupport.dell.com を使用する際にお使いのプリンタを識別するための番号です。 • テクニカルサポートにお問い合わせの際にエクスプレスサービスコードを入力すると、担当者とスムーズに連絡を取ることができます。 メモ： 国によっては、エクスプレスサービスコードが使用できない場合があります。
12	消耗品注文ラベル	カートリッジや用紙を注文するには、次のアドレスにアクセスします。www.dell.com/supplies.

13	FAX コネクタ（FAX - 左側のコネクタ）	FAX を送受信する場合に、使用可能な電話線を接続するための差込口です。 メモ： その他のデバイスを FAX コネクタ（FAX - 左側のコネクタ）に接続しないでください。また、デジタル回線フィルタを使用せずに DSL（デジタル加入者回線）または ISDN（統合デジタル通信サービス網）にプリンタを接続しないでください。
14		/FAX

	電話線コネクタ（ - 右側のコネクタ）	データ　　　モデム、電話機、留守番電話などの追加デバイスを接続するための差込口です。使用する前にブルーのプラグを取り外してください。 メモ： ドイツ、スウェーデン、デンマーク、オーストリア、ベルギー、イタリア、フランス、スイスなど、電話回線がシリアル接続の国では、電話線コネクタ（ - 右側のコネクタ）からブルーのプラグを取り外してから、付属する黄色のターミネータを接続しないと、FAX が正しく動作しません。これらの国では、このポートに追加のデバイスを接続することはできません。
15	背面カバー	Dell™ Internal Network Adapter 1150 を取り付ける際にこのカバーを外します。
16	USB コネクタ	USB ケーブル（別売）を接続するための差込口です。USB ケーブルのもう一方の端末はコンピュータに接続します。
17	オプション両面印刷ユニット	用紙の両面に印刷する場合に使用するユニット（別売）です。
18	Dell Internal Network Adapter 1150（オプション）	お使いのプリンタをワイヤレスネットワークまたはイーサネット上でセットアップするためのネットワーク機器（別売）です。
19	電源コード接続部	付属の国別の電源コードを使用して、プリンタの電源を電源コンセントに接続します。
20	電源部	プリンタに電源を供給します。 メモ： 電源部は取り外し可能です。電源部をプリンタから取り外しても、壁のコンセントに差し込んだままにしておくと、電源が入っていることを示すために LED が点灯します。 メモ： プリンタの電源がオフの際にコンセントから抜くと、次にコンセントに接続したとき、プリンタの電源はオフのままです。
21	背面アクセスドア（オプションの両面印刷ユニットの下）	紙づまりを取り除くときに開きます。

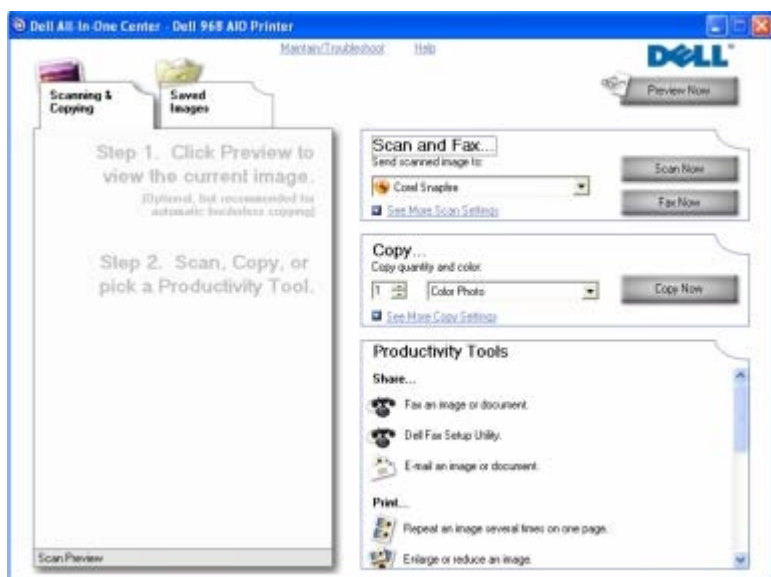
操作パネルのはたらき

番号	名称		はたらき
1	液晶ディスプレイ		スキャン、コピー、FAX、印刷の各機能のオプションと、プリンタの状態やエラーメッセージを表示します。
2	［メニュー］ボタン		メニューまたはサブメニューを入力します。
3	矢印ボタン		• メニューおよびメニューの項目をスクロールします。 • 部数を増減します。 • 選択したモードを変更します。 • メモリカードまたはデジタルカメラの写真をスクロールします。 • 日付と時刻を設定する際に数値を増減します。

4	設定ボタン		• メニューの項目を選択します。 • 印刷する画像を選択します（写真プリントモードの場合）。 • ボタンを 3 秒間押したままにすると、用紙が送られます。
5	キーパッド		数値またはテキストを入力します。
6	［スタート］ボタン		コピー、スキャン、FAX を開始します。
7	［キャンセル］ボタン		• 実行中のスキャン、印刷、またはコピー操作をキャンセルします。 • プリンタのみを使用している場合は、実行中のコピーを中止し、用紙を排出します。 • メニューを終了して、標準設定に戻ります。
8	［戻る］ボタン		• 前のメニューまたは画面に戻ります。 • サブメニューの変更を一時的に保存します。
9	電源ボタン		• プリンタの電源がオフの場合、電源ボタン を押すと電源がオンになります。 • プリンタの電源がオンの場合、電源ボタン を押すと節電モードに移行します。このモードでは、プリンタの消費電力が最小限に抑えられます。 • プリンタの電源がオンまたは節電モードの場合、電源ボタン を 2 秒間押したままにすると、プリンタの電源がオフになります。 メモ： 使用しない場合でも、プリンタを電源コンセントから抜かないでください。プリンタの電源がオフの場合、定期的なカートリッジのメンテナンスを行うために 1 W 以下の電力を必要とします。

ソフトウェアについて

プリンタソフトウェアには、次のものが含まれます。

- **Dell AIO** ナビ - さまざまなスキャン、コピー、FAX、および新規または既存の文書や画像を使用した印刷を実行できます。
- **Dell FAX** ナビ - 保存された文書またはスキャンした原稿を FAX で送信できます。
- 印刷設定 - プリンタの設定の調整に使用します。
- メモリカードマネージャ - メモリカードまたは USB メモリキーの写真の表示、管理、編集、印刷、およびコンピュータへの保存が可能です。
- **Dell Ink Management System™** - プリンタがインク切れになると警告します。
- **Corel®Snapfire™ Plus** - コンピュータに保存された写真の表示、管理、編集を実行できます。

Dell AIO ナビの使用

Dell AIO ナビを使用して、以下の操作を実行できます。

- スキャン、コピー、FAX、およびツールの使用
- 画像の取り込み先の選択
- コピー部数とカラーモードの選択

- トラブルシューティングおよびメンテナンス情報へのアクセス
- 印刷またはコピーする画像のプレビュー
- 写真の管理（フォルダへのコピー、印刷、趣向を凝らしたコピーの作成など）

メモ： お使いのプリンタがワイヤレスまたはイーサネット接続を使用してネットワークに接続されている場合は、スキャンおよびコピーのすべての操作は、Dell AIO ナビではなくプリンタの操作パネルから行う必要があります。

Dell AIO ナビにアクセスするには、以下の手順に従います。

1. *Windows Vista™* の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

   Windows® XP および *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

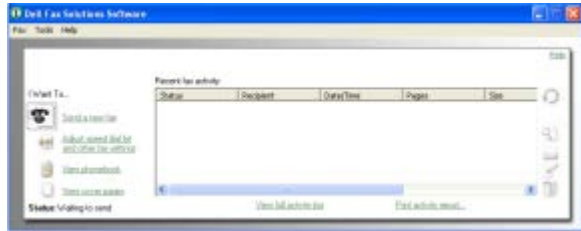
2. ［**Dell AIO** ナビ］を選択します。

Dell AIO ナビには以下の 4 つの主なセクションがあります。

セクション名	可能な操作
プレビュー	・プレビューした画像の領域を選択してスキャンまたはコピーします。 ・印刷またはコピーする画像を表示します。
スキャンと FAX	・画像を取り込むアプリケーションを選択します。 ・スキャンする画像の種類を選択します。 ・スキャンの品質設定を選択します。 ・［スキャン］をクリックして、文書や写真をスキャンします。 ・［**FAX**］をクリックして、文書や写真を FAX で送信します。 メモ： すべての設定を表示するには、［スキャン設定を表示］をクリックします。
コピー	・コピーの枚数を選択します。 ・コピー部数とカラーモードを選択します。 ・コピーの品質設定を選択します。 ・用紙サイズを指定します。 ・コピーする原稿のサイズを指定します。 ・コピー濃度を調整します（この操作は操作パネルからも実行できます）。 ・コピーのサイズを変更します。 ・［コピー］をクリックして、コピーを作成します。 メモ： すべての設定を表示するには、［コピー設定を表示］をクリックします。
ツール	・画像や文書を FAX で送信します。 ・Dell FAX ユーティリティにアクセスします。 ・画像やドキュメントを E メールで送信します。 ・1 ページに同じ画像を繰り返して表示します。 ・画像のサイズを変更します。 ・画像を分割します（ポスター）。 ・1 枚の用紙に複数ページを割り付けて印刷します。 ・画像をコンピュータに保存します。 ・複数の写真を保存します。 ・スキャンして PDF 形式で保存します。

	• スキャンしたドキュメントのテキストを編集します（OCR）。 • 画像を画像編集ソフトウェアで加工します。

詳細については、**Dell AIO** ナビの［ヘルプ］をクリックしてください。

Dell FAX ナビの使用

Dell FAX ナビには、以下の機能があります。

- FAX を送信します。

  ［新規 **FAX** の送信］をクリックして、コンピュータの画面に表示される手順に従います。

- FAX のプロパティの調整

  さまざまな FAX 設定を変更するには、［**FAX** のプロパティ］をクリックします。

- アドレス帳の表示と管理

  アドレス帳を開くには、［アドレス帳］をクリックします。連絡先およびグループに関する情報の追加、編集、または削除を行えます。短縮ダイヤルリストに連絡先またはグループを追加することもできます。

- 送付状の表示と変更

  ［通常使う送付状の設定］をクリックすると、［送付状］ダイアログが表示されます。送付状をカスタマイズしたり、ロゴを追加したり、あらかじめ用意されているさまざまな送付状から選択して、FAX に添付できます。

- FAX ログの表示

  すべての送受信 FAX の詳細リストを表示または印刷するには、［**FAX** ログの表示］をクリックします。

- FAX 管理レポートの作成

  すべての FAX 操作に関する詳細なレポートを確認するには、［管理レポートの表示］をクリックします。通信管理レポートを印刷するには、［印刷］アイコンをクリックします。

メモ： お使いのプリンタがワイヤレスまたはイーサネット接続を使用してネットワークに接続されている場合は、スキャンした文書の FAX 送信は、Dell FAX ナビではなくプリンタの操作パネルから行う必要があります。

Dell FAX ナビにアクセスするには、以下の手順に従います。

1. *Windows Vista*の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

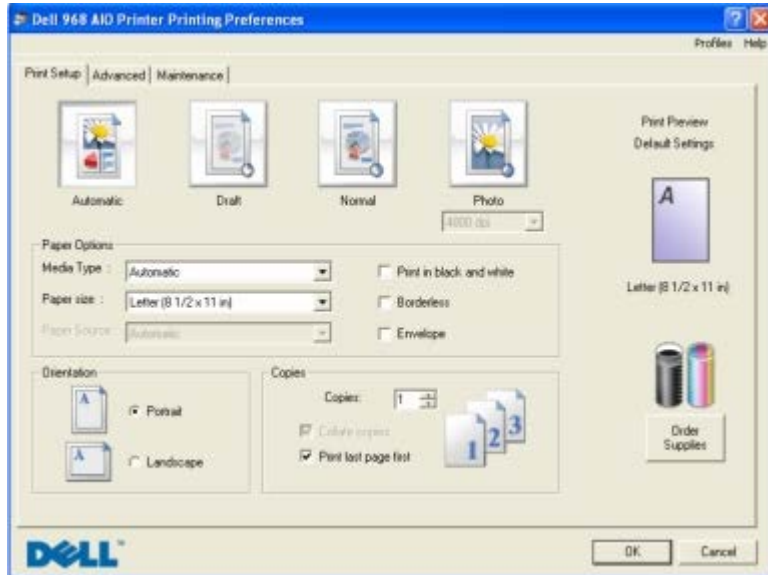
   Windows XP および *2000* の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリック

します。

2. ［**FAX** ナビ］をクリックします。

［**Dell FAX** ナビ］ダイアログが開きます。

印刷設定

［印刷設定］では、作成する印刷物の種類に応じてプリンタの設定を変更できます。

ドキュメントを開いた状態で［印刷設定］にアクセスするには、以下の手順に従います。

1. ［ファイル］® ［印刷］の順にクリックします。

   ［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

2. ［設定］、［プロパティ］、［オプション］、または［セットアップ］をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

ドキュメントが開かれていない状態で、［印刷設定］にアクセスするには、以下の手順に従います。

1. *Windows Vista* の場合：

   a. ® ［コントロール パネル］の順にクリックします。

   b. ［ハードウェアとサウンド］をクリックします。

   c. ［プリンタ］をクリックします。

   Windows XP の場合は、［スタート］® ［設定］® ［コントロール パネル］® ［プリンタとその他のハードウェア］® ［プリンタと **FAX**］の順にクリックします。

   Windows 2000 の場合は、［スタート］® ［設定］® ［プリンタ］の順にクリックします。

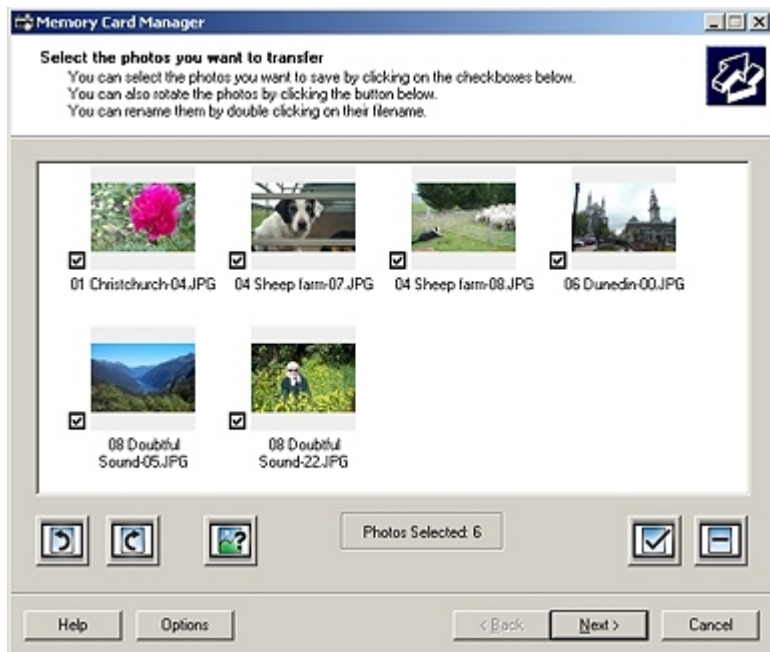
2. ［**Dell 968 AIO Printer**］のアイコンを右クリックします。

3. ［印刷設定］をクリックします。

メモ： ［プリンタ］フォルダで変更したプリンタの設定は、ほとんどのアプリケーションで標準設定に設定されます。

［印刷設定］ダイアログボックスには、以下の 3 つのセクションがあります。

タブ	オプション
印刷設定	［品質/速度］ - 印刷の品質に応じて、［自動］、［高速］、［標準］、または［高品質］を選択します。［高速］は、最も速く印刷できるオプションです。ただし、フォトカートリッジがセットされている場合には選択しないでください。［高品質］を選択した場合、光沢紙に写真を印刷する際には 4800 ～ 1200 dpi の間の設定を選択できます。
	［用紙の種類］ - 用紙の種類を手動で選択するか、プリンタで自動的に検出するかを設定します。
	［用紙サイズ］ - 用紙のサイズを選択します。
	［給紙口］ — ［自動］、［トレイ **1 /** バイパス］、または［トレイ **2**］のいずれかを選択します。 メモ： ［給紙口］は、オプションのトレイ 2 がプリンタに取り付けられている場合にのみ選択できます。
	［モノクロで印刷］ - カラー画像をモノクロで印刷して、カラーカートリッジのインクを節約します。 メモ： ［カラーカートリッジを使用して黒で印刷する］オプションが選択されている場合、この設定は選択できません。
	［フチなし］ - 写真をフチなしで印刷する場合、このチェックボックスをオンにします。
	［印刷方向］ - 文書をどの方向に印刷するかを指定します。縦方向または横方向に印刷できます。
	［封筒］ - 封筒に印刷する場合、このチェックボックスをオンにします。［用紙サイズ］の欄には、印刷に使用できる封筒のサイズが表示されます。
	[印刷部数] - 1 回のジョブで複数のコピーを作成する方法を変更します。［部単位で印刷］、［標準］、または［逆順で印刷］などの印刷順序を指定します。
アドバンス	［両面印刷］ - 用紙の両面に印刷するには、このオプションを選択します。［自動］、［手動］、または［両面印刷］のいずれかから選択します。
	［乾燥時間の延長］ - 両面印刷ジョブでページ下部がインクで汚れる場合は、このオプションを選択します。この機能を使用すると、印刷面のインクが乾くまで待機してから、用紙をプリンタに戻して裏面が印刷されるまでの時間が延長されます。 メモ： この機能をオンにすると、両面印刷ジョブが完了するまでの時間が少し長くなります。
	［レイアウト］ - ［標準］、［バナー］、［左右反転］、［割り付け］、［ポスター］、［小冊子］、または［フチなし］を選択します。
	［画像のシャープ化］ - 画像の種類に応じて、最も良い鮮明度のレベルが自動的に選択されます。
	［デル カスタマーエクスペリエンス向上プログラム］ - デル カスタマーエクスペリエンス向上プログラムに関する情報にアクセスし、参加の状態を変更できます。
	［その他のオプション］ - ［表示オプション］および［印刷を完了］の設定を指定できます。プリンタで検出された用紙の種類を表示することもできます。
メンテナンス	カートリッジの取り付け
	ノズル清掃
	プリントヘッド調整
	テストページの印刷
	ネットワークサポート

メモリカードマネージャを使用する

メモリカードマネージャを使用すると、メモリカードまたは USB メモリキーに保存された写真の表示、管理、編集、印刷、およびコンピュータへの保存が可能です。

メモリカードマネージャを起動するには、以下の手順に従います。

1. メモリカードをメモリカードスロットに、または USB キーをプリンタ前面の PictBridge ポートに差し込みます。

注意： メモリカードまたは USB キーにデータを読み書きしているときや、印刷の実行中は、これらのメディアを取り外したり、メモリカードまたは USB キー付近のプリンタの部分に手を触れないでください。データが破損する場合があります。

2. *Windows Vista*の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

   Windows XP および *2000* の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

3. ［メモリカードマネージャの有効化］を選択します。

Dell Ink Management System

印刷を実行するたびに、印刷の進行状況を示す画面が表示されます。この画面には、印刷ジョブの進行状況、カートリッジのインク残量、残りのインクで印刷できるおよそのページ数が表示されます。カートリッジを使用し始めてから 50 ページ印刷するまでは、残りのページ数は表示されません。その間の印刷状況に応じてより正確な枚数を計算しているためです。残りのページ数は、プリンタで実行される印刷ジョブの種類に応じて変化します。

カートリッジのインクレベルが低下している場合、印刷しようとすると［**Low Ink Warning**］が画面に表示されます。この警告は、新しいカートリッジを取り付けるまで、印刷を行うたびに表示されます。詳細については、カートリッジの交換を参照してください。

1 つまたは両方のカートリッジが空の場合、印刷しようとすると［予備タンク］ウィンドウが画面に表示されます。この状態で印刷を続けても、希望通りに印刷されない場合があります。

ブラックカートリッジがインク切れの場合、［印刷を完了］を選択してから［続ける］ボタンをクリックすると、カラーカートリッジを使用して合成されたブラックで印刷することができます。［印刷を完了］を選択して［続ける］をクリックすると、ブラックカートリッジを交換するか、［印刷設定］の［アドバンス］タブにある［その他のオプション］からオプションの選択を解除するまで、すべてのブラック印刷に合成されたブラックが使用されます。インク切れのカートリッジが交換されるまで、［予備タンク］ダイアログは二度と表示されま

せん。新しいカートリッジまたは別のカートリッジが取り付けられると、［印刷を完了］チェックボックスは自動的にオフになります。

カラーカートリッジがインク切れの場合、［印刷を完了］を選択してから［続ける］ボタンをクリックすると、カラーの文書をグレースケールで印刷することができます。［印刷を完了］を選択して［続ける］をクリックすると、カラーカートリッジを交換するか、［印刷設定］の［アドバンス］タブにある［その他のオプション］からオプションの選択を解除するまで、すべてのカラー文書がモノクロで印刷されます。インク切れのカートリッジが交換されるまで、［予備タンク］ダイアログは二度と表示されません。新しいカートリッジまたは別のカートリッジが取り付けられると、［印刷を完了］チェックボックスは自動的にオフになります。

ソフトウェアの削除と再インストール

プリンタの使用時にプリンタが正しく機能しないか、通信エラーのメッセージが表示された場合は、プリンタソフトウェアを削除し、再インストールします。

1. *Windows Vista*の場合：

    a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

    b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

    c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

    Windows XP および *Windows 2000* の場合：

    ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

2. ［**Dell 968 AIO Printer** のアンインストール］をクリックします。

3. 画面に表示される手順に従います。

4. コンピュータを再起動します。

5. *Drivers and Utilities* CDをセットし、画面に表示される手順に従います。

    インストール画面が表示されない場合は、以下の手順に従います。

    a. *Windows Vista* の場合は、® ［コンピュータ］の順にクリックします。

    Windows XP の場合は、［スタート］® ［マイ コンピュータ］の順にクリックします。

    Windows 2000 の場合は、デスクトップで［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

    b. **CD-ROM** ドライブのアイコンをダブルクリックし、**setup.exe** をダブルクリックします。

    c. プリンタソフトウェアのインストール画面が表示されたら、［**USB** ケーブルを使用する］、［ワイヤレスネットワークを使用する］、または［イーサネットケーブルを使用する］をクリックします。

d. 画面に表示される手順に従い、インストールを完了します。

XPS ドライバ（オプション）をインストールする

XPS（XML Paper Specification）ドライバは、Windows Vista™ のみで使用できる XPS の優れたグラフィック機能およびカラー機能を使用するための追加プリンタドライバ（オプション）です。XPS 機能を使用するには、プリンタのインストール後に追加ドライバとして XPS ドライバをインストールする必要があります。

メモ： XPS ドライバをインストールする前に、『プリンタのセットアップ』の手順を実行して、お使いのコンピュータにプリンタをインストールします。

メモ： XPS ドライバをインストールする前に、Microsoft QFE パッチをインストールして、*Drivers and Utilities* CD からドライバファイルを展開する必要があります。パッチをインストールするには、コンピュータに対する管理者権限が必要です。

Microsoft QFE パッチをインストールして、ドライバを展開するには、以下の手順に従います。

1. *Drivers and Utilities* CDをセットし、［設定ウィザード］が表示されたら［キャンセル］をクリックします。
2. ® ［コンピュータ］の順にクリックします。
3. **CD-ROM** ドライブのアイコンをダブルクリックし、**Drivers** をダブルクリックします。
4. ［**xps**］をダブルクリックしてから、［**setupxps**］をダブルクリックします。

   XPS ドライバファイルがコンピュータにコピーされ、必要に応じた Microsoft XPS ファイルが実行されます。画面に表示される手順に従って、パッチのインストールを完了します。

ドライバをインストールするには、以下の手順に従います。

1. ® ［コントロール パネル］の順にクリックします。
2. ［ハードウェアとサウンド］で、［プリンタ］をクリックして［プリンタのインストール］をクリックします。
3. ［プリンタの追加］ダイアログボックスで、以下のいずれかを選択します。
   - USB 接続を使用している場合は、プリンタとコンピュータに USB ケーブルが接続されていることを確認して、次を実行します。
     a. ［ローカル プリンタを追加します］をクリックします。
     b. ［既存のポートを使用］ドロップダウンメニューから、［**USB** の仮想プリンタポート］を選択して、［次へ］をクリックします。
   - イーサネット接続またはワイヤレス接続を使用している場合は、プリンタがネットワークに接続されていることを確認して、次を実行します。
     a. ［ネットワーク、ワイヤレスまたは **Bluetooth** プリンタを追加します］をクリックします。
     b. リストからプリンタを選択します。
     c. お使いのプリンタが表示されていない場合は、［探しているプリンタはこの一覧にはありません］をクリックします。
     d. ［**TCP/IP** アドレスまたはホスト名を使ってプリンタを追加する］を選択して、［次へ］をクリックします。
     e. お使いのプリンタの IP アドレスを確認するには、プリンタの［セットアップ］メニューの［ネットワーク設定］から、設定情報のページを印刷します。
     f. プリンタの IP アドレスを［ホスト名または **IP** アドレス］ボックスに入力して、［次へ］をクリックします。
4. ［ディスク使用］をクリックします。

［フロッピー ディスクからインストール］ダイアログボックスが表示されます。

5. ［参照］をクリックして、次の手順でコンピュータ上の XPS ドライバファイルの場所を参照します。

   a. ［コンピュータ］をクリックしてから、**(C:)** をダブルクリックします。

   b. ［**Drivers**］をダブルクリックし、［**PRINTER**］をダブルクリックします。

   c. 名前にお使いのプリンタの機種番号が含まれているフォルダをダブルクリックして、［**Drivers**］をダブルクリックします。

   d. ［**xps**］をダブルクリックしてから、［開く］をクリックします。

   e. ［フロッピー ディスクからインストール］ダイアログボックスで、［**OK**］をクリックします。

6. 次の 2 つのダイアログボックスで、［次へ］をクリックします。

XPS ドライバの詳細については、*Drivers and Utilities* CD に収納されている XPS の **readme** ファイルを参照してください。ファイルは setupxps バッチファイルと共に、**xps** フォルダにあります（D:\Drivers\xps\readme）。

操作パネルのメニューについて

コピーモード

メインメニュー	モードのメインメニュー	モードのサブメニュー
コピー	カラー	
	枚数	
	拡大・縮小	
	品質	
	濃度	
	用紙設定	
	部単位	
	両面コピー	
	割り付け	
	レイアウト	
	原稿サイズ	
	原稿の種類	
	標準設定	用紙設定

メモ： 両面印刷ユニットが取り付けられている場合にのみ、［両面コピー］メニューが表示されます。

［コピーモード］のメニューを表示または変更するには、以下の手順に従います。

1. メインメニューで、上下の矢印ボタン を押して［コピー］までスクロールします。
2. 設定ボタン を押します。

コピーメニューの項目	設定
カラー	コピーのカラーを指定します。 • カラー* • モノクロ
枚数	部数を指定します。

<table>
<tr><td></td><td>1-99</td></tr>
<tr><td>拡大・縮小</td><td>原稿に対するコピーのサイズを指定します。
• 50%
• 100%*
• 200%
• 任意倍率
• 用紙に合わせる
• 2 x 2
• 3 x 3
• 4 x 4
• フチなし</td></tr>
<tr><td>品質</td><td>コピー品質を指定します。
• 自動*
• 高速
• 標準
• 高品質</td></tr>
<tr><td>濃度</td><td>左右の矢印ボタン を押して、明るさを調整します。</td></tr>
<tr><td>用紙設定</td><td>設定ボタン を押して［用紙設定］メニューに移動し、給紙トレイにセットした用紙のサイズと種類を選択します。オプションの給紙トレイを使用している場合は、給紙口を指定することもできます。（⇒ ［用紙設定］メニュー）</td></tr>
<tr><td>部単位</td><td>部単位でコピーを作成するかどうかを指定します。
• オフ*
• オン</td></tr>
<tr><td>両面コピー</td><td>用紙の両面に印刷する際のオプションを選択します。
• 1-->1（片面 -> 片面）*
• 1-->2（片面 -> 両面）
• 2-->1（両面 -> 片面）
• 2-->2（両面 -> 両面）</td></tr>
<tr><td>割り付け</td><td>1 枚の用紙に割り付けて印刷する画像の枚数またはドキュメントのページ数を指定します。
• 1 ページ*
• 2 ページ
• 4 ページ</td></tr>
<tr><td>レイアウト</td><td>1 枚の用紙に画像を繰り返してコピーする回数を指定します。
• 1 枚/ページ*
• 4 枚/ページ
• 9 枚/ページ
• 16 枚/ページ</td></tr>
<tr><td>原稿サイズ</td><td>原稿のサイズを指定します。
• 自動検出*
• 8.5x11"
• 2.25x3.25"
• 3x5"
• 3.5x5"
• 4x6"
• 4x8"
• 5x7"
• 8x10"
• L
• 2L
• ハガキ
• A6
• A5</td></tr>
</table>

	• B5 • A4 • 60x80 mm • 90x130 mm • 100x150 mm • 100x200 mm • 130x180 mm • 200x250 mm
原稿の種類	コピーする原稿の種類を指定します。 • 自動* • 文書 • 写真 • テキスト • 線画 (⇒ スマートコピー)
標準設定	設定ボタン を押すと、［コピー設定］メニューに移動します。（⇒ ［コピー設定］メニュー）
* 工場出荷時の設定	

スマートコピー

お使いのプリンタは、［原稿の種類］の設定を自動的に変更してコピーの品質を向上する［スマートコピー］機能を備えています。［原稿の種類］が［自動］（デフォルト）に設定されている場合、プリンタはコピー前に各原稿をスキャンし、鮮やかなカラー、ニュートラルなグレー、鮮明なテキスト、細やかな画像を実現するために設定を最適化します。

写真モード

メインメニュー	モードのメインメニュー	モードのサブメニュー	モードのサブメニュー
写真	写真の表示と印刷	写真の編集	
		全画面表示	
		印刷設定	用紙設定
		印刷プレビュー	
	コンピュータの選択		
	セレクトシート	X 枚の写真を印刷	
		最新 25 枚の写真の印刷	
		日付を指定して印刷	
		シートのスキャン	
	すべての写真を印刷		
	スライドショー		
	コンピュータに保存		
	標準設定	用紙設定	

メモ：［コンピュータの選択］メニューは、プリンタがネットワークに接続されている場合にのみ表示されます。

メモ：［最新 **25** 枚の写真の印刷］オプションは、メモリカードまたは USB キーに 26 枚以上の写真が保存されている場合にのみ表示されます。

ほとんどのデジタルカメラでは、写真の保存にメモリカードを使用します。お使いのプリンタは、以下のデジタルメディアをサポートしています。

- コンパクトフラッシュ Type I / II

- メモリースティック
- メモリースティック PRO
- メモリースティック Duo （アダプタ付）
- マイクロドライブ
- SD メモリーカード
- SDHC メモリーカード
- miniSD カード（アダプタ付）
- MMC（マルチメディアカード）
- xD-ピクチャーカード

写真プリントモードの設定を表示または変更するには、以下の手順に従います。

1. メモリカードをセットします。カードが読み込まれると、プリンタは自動的に写真プリントモードに切り替わります。

注意： ランプが点滅している間は、メモリカードを抜いたり、プリンタのメモリカードの範囲に手を触れないでください。

2. 設定ボタン を押します。

［メモリカードモード］メニュー

メニュー項目	設定
写真の表示と印刷	設定ボタン を押すと、［写真のプレビュー］モードに移動します。左右の矢印ボタン を押して写真を参照したり、［スタート］ボタン を押してプレビュー画面から直接写真を印刷できます。
コンピュータの選択	設定ボタン を押すと、ネットワーク上で使用可能なコンピュータのリストが表示されます。 メモ： このメニューは、ネットワークプリントサーバーが取り付けられ、設定済みである場合にのみ選択できます。
セレクトシート	設定ボタン を押して、［セレクトシート］サブメニューに移動します。 （⇒ ［セレクトシート］メニュー）
すべての写真を印刷	設定ボタン を押すと［すべての写真を印刷］画面に移動し、1 ページに印刷する写真の枚数を指定できます。 メモ： メモリカードから直接印刷できるのは、JPG 形式または特定の TIFF 形式で保存された写真だけです。別の形式でメモリカードに保存されている写真を印刷するには、印刷する前に写真をコンピュータに転送する必要があります。
スライドショー	設定ボタン を押すと［スライドショー］メニューに移動し、メモリカード内の写真のスライドショーの速度を指定できます。希望する速度をハイライト表示し、設定ボタン を押すと、スライドショーが開始されます。
コンピュータに保存	設定ボタン を押すと、［コンピュータに保存］モードに移動します。メモリカードに保存された写真をコンピュータや USB キーにコピーしたり、USB キーに保存された写真をコンピュータやメモリカードにコピーしたりすることができます。
標準設定	設定ボタン を押すと、［写真の印刷設定］メニューに移動します。 （⇒ ［写真印刷の設定］メニューまたは［写真の印刷設定］メニュー）
DPOF 印刷	設定ボタン を 2 回押すと、カメラを使用して選択した写真が表示されます。 （⇒ DPOF 指定のプレビュー） メモ： この項目は、メモリカードに DPOF（Digital Print Order Format）設定が保存されている場合にのみ表示されます。

［その他のオプション］メニュー

［その他のオプション］メニューにアクセスするには、［写真のプレビュー］モードで写真を選択した状態で［メニュー］ボタン を押します。

メニュー項目	設定
写真の編集	設定ボタン を押して、［写真編集モード］メニューに移動します。（⇒［写真編集モード］メニュー）
全画面表示	設定ボタン を押すと、写真が画面全体に表示されます。
印刷設定	設定ボタン を押すと、［写真の印刷設定］メニューに移動します。（⇒［写真印刷の設定］メニューまたは［写真の印刷設定］メニュー）
印刷プレビュー	設定ボタン を押すと、選択した写真の印刷プレビューが表示されます。

［写真編集モード］メニュー

［写真編集モード］メニューにアクセスするには、［その他のオプション］メニューから［写真の編集］を選択します。

メニュー項目	設定
明るさ	左右の矢印ボタン を押して、濃さを設定します（初期設定は中です）。
回転	指定した方向に画像を 90°回転します。 • 右方向 * • 左方向
トリミング	設定ボタン を押し、左右の矢印ボタン を押して、［縮小］または［拡大］オプション のいずれかを選択します。設定ボタン を繰り返し押して、トリミングボックスの範囲を縮小または拡大します。
自動修整	プリンタが自動的に画像を修整するかどうかを指定します。 • オフ * • オン
赤目修整	画像のカラーを修整して赤目を除去するかどうかを指定します。 • いいえ * • はい
* 工場出荷時の設定	

［写真印刷の設定］メニューまたは［写真の印刷設定］メニュー

［写真印刷の設定］メニューにアクセスするには、［メモリカードモード］のメインメニューで［標準設定］を選択するか、［その他のオプション］メニューで［印刷設定］を選択します。

メニュー項目	設定
写真サイズ	原稿の写真サイズを指定します。 • 自動 メモ： 選択した写真サイズが指定したレイアウトに合わない場合、設定は［自動］に変更されます。 • ハガキ • L • 2L • 60x80 mm • A6

	• 100x150 mm • 130x180 mm • A5 • B5 • A4 • 2.25x3.25" • 3.5x5" • 4x6"* • 5x7" • 8x10" • 8.5x11"
レイアウト	印刷する写真のサイズを指定します。 • 自動* • フチなし（1 枚/ページ） • 1 枚の写真を中央に配置 • 1 枚/ページ • 2 枚/ページ • 3 枚/ページ • 4 枚/ページ • 6 枚/ページ • 8 枚/ページ • 16 枚/ページ
品質	写真の印刷品質を指定します。 • 自動* • 高速 • 標準 • 高品質
用紙設定	設定ボタン を押して［用紙設定］メニューに移動し、給紙トレイにセットした用紙のサイズと種類を選択します。オプションの給紙トレイを使用している場合は、給紙口を指定することもできます。（⇒ ［用紙設定］メニュー）
* 工場出荷時の設定	

［セレクトシート］メニュー

［セレクトシート］メニューにアクセスするには、［メモリカードモード］のメインメニューから［セレクトシート］を選択します。

メニュー項目	設定
X 枚の写真を印刷	設定ボタン を押して、メモリカードまたは USB キーのすべての写真をセレクトシートに印刷します。 「X」は、メモリカードまたは USB キーで検出された写真の枚数です。
最新 25 枚の写真の印刷	設定ボタン を押して、最新 25 枚の写真をセレクトシートに印刷します。
日付を指定して印刷	特定の期間に撮影された写真のみを印刷します。 1. 設定ボタン を押して、日付の範囲を選択します。 2. 設定ボタン を押して、セレクトシートを印刷します。
シートのスキャン	設定ボタン を押して、選択を記入したセレクトシートをスキャンします。

DPOF 指定のプレビュー

［**DPOF** 指定のプレビュー］にアクセスするには、［**DPOF** 印刷］メニューで設定ボタン を押します。

DPOF 画面内で移動するには、左右の矢印ボタン を押します。［スタート］ボタン を押すと、現在の印刷設定で写真が印刷されます。

印刷設定を変更するには、［メニュー］ボタン を押します。［メモリカードモード］メニューで、［写真印刷の設定］までスクロール

して、設定ボタン を押します。

ファイル印刷モード

メインメニュー	モードのメインメニュー
ファイル印刷	用紙設定

［ファイル印刷］モードを使用すると、USB キーまたはメモリカードに保存された文書を印刷できます。

プリンタは、以下の拡張子のファイルを認識します。

- .doc（Microsoft® Word）
- .xls（Microsoft Excel®）
- .ppt（Microsoft PowerPoint®）
- .pdf（Adobe® Portable Document Format）
- .rtf（リッチテキスト形式）
- .docx（Microsoft Word Open Document Format）
- .xlsx（Microsoft Excel Open Document Format）
- .pptx（Microsoft PowerPoint Open Document Format）
- .wps（Microsoft Works）
- .wpd（WordPerfect®）

ファイル印刷モードメニューの設定を表示または変更するには、以下の手順に従います。

1. プリンタが Microsoft Office をインストールしたコンピュータに接続されていることを確認します。
2. メモリカードをカードスロットにセットするか、USB キーを PictBridge ポートにセットします。
3. 上下の矢印ボタン を押して［ファイル印刷］までスクロールし、設定ボタン を押します。

ファイル印刷モードのメニュー

メニュー項目	設定
用紙設定	設定ボタン を押して［用紙設定］メニューに移動し、給紙トレイにセットした用紙のサイズと種類を選択します。オプションの給紙トレイを使用している場合は、給紙口を指定することもできます。（⇒ ［用紙設定］メニュー）
* 工場出荷時の設定	

FAX モード

メインメニュー	モードのメインメニュー	モードのサブメニュー	モードのサブメニュー
FAX	アドレス帳	名前の検索	

		FAX 番号の検索	
		送信先の登録	
		グループ検索	
		グループの登録	名前の検索
			FAX 番号の検索
			ダイヤル履歴
	ダイヤル履歴		
	オンフック		
	予約送信		
	自動受信		
	送信設定		
	詳細設定	アドレス帳の短縮ダイヤル	アドレス帳
		履歴と送信結果	
		着信音と受信	自動受信の時間指定
		印刷設定	用紙設定
		ダイヤルと送信	
		着信拒否	着信拒否名の検索
			着信拒否番号の登録
			着信拒否リストの印刷

［**FAX** モード］のメニューを表示または変更するには、以下の手順に従います。

1. メインメニューで、上下の矢印ボタン を押して［FAX］までスクロールします。
2. 設定ボタン を押します。

FAX 機能を正しく使用するには、次の条件が必要です。

- プリンタの FAX コネクタ（FAX - 左側のコネクタ）が使用可能な電話線に接続されている。セットアップの詳細については、プリンタに外部デバイスをセットアップする を参照してください。

メモ： DSL（デジタル加入者回線）または ISDN（統合デジタル通信サービス網）では、デジタル回線フィルタを購入しないと、FAX 操作を行うことができません。詳細については、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

- **Fax Dell 968 AIO Printer** を使用してアプリケーション内から FAX を送信する場合は、プリンタを USB ケーブルでコンピュータと接続する必要があります。

［その他の FAX 設定］メニュー

メニュー項目	操作
FAX 番号	キーパッドを使用して、FAX の送信先の番号を入力します。入力した番号はウィンドウに表示されます。 メモ： FAX メインメニューから既に番号を入力している場合、このウィンドウを使用して別の番号を入力し、FAX を同報送信することもできます。
アドレス帳	設定ボタン を押すと、［アドレス帳］メニューに移動します。（⇒ ［アドレス帳］メニュー）
ダイヤル履歴	設定ボタン を押すと、リダイヤルログが表示されます。画面には、最近ダイヤルした番号が 5 つ表示されます。
オンフック	設定ボタン を押すと、オンフックモードに移行します。

予約送信	設定ボタン を押すと、［予約送信］画面が表示されます。この画面では、キーパッドを使用して FAX を送信する時刻を指定します。
自動受信	プリンタが着信に応答するように設定します。 • オフ* • オン • 時間指定 - 設定ボタン を押すと、［自動受信の時間指定］メニューに移動します。（⇒ ［自動受信の時間指定］メニュー）
送信設定	設定ボタン を押すと、［送信設定］メニューに移動します。（⇒ ［送信設定］メニュー）
詳細設定	設定ボタン を押すと、［詳細設定］メニューに移動します。（⇒ ［詳細設定］メニュー）
* 工場出荷時の設定	

［アドレス帳］メニュー

［アドレス帳］メニューにアクセスするには、［**FAX** モード］メニューから［アドレス帳］を選択します。このメニューには、［詳細設定］メニューから［短縮ダイヤルのアドレス帳］を選択してアクセスすることもできます。

99 個までの短縮ダイヤル（89 個の個別の短縮ダイヤル番号と、1 つにつき 30 個までの番号を含むことができる 10 個のグループ短縮ダイヤル）を指定できます。

メニュー項目	操作
名前の検索	設定ボタン を押すと、［名前の検索］メニューに移動します。（⇒ ［名前の検索］メニュー）
FAX 番号の検索	設定ボタン を押すと、［**FAX** 番号の検索］メニューに移動します。（⇒ ［FAX 番号の検索］メニュー）
送信先の登録	設定ボタン を押すと、［アドレス帳：送信先の登録］メニューに移動します。（⇒ ［アドレス帳：送信先の登録］メニュー）
グループ検索	設定ボタン を押すと、［グループ検索］メニューに移動します。（⇒ ［グループ検索］メニュー）
グループの登録	設定ボタン を押すと、［アドレス帳：グループの登録］メニューに移動します。（⇒ ［アドレス帳：グループの登録］メニュー）
リスト印刷	設定ボタン を押すと、プリンタに保存されているアドレス帳が印刷されます。

［名前の検索］メニュー

［名前の検索］メニューにアクセスするには、［アドレス帳］メニューから［名前の検索］を選択します。

メニュー項目	操作
検索条件ウィンドウ	キーパッドを使用して、文字を入力します。アドレス帳の該当箇所までリストが自動的にスクロールします。
短縮ダイヤル	登録されている短縮ダイヤル名が表示されます。リストに表示される短縮ダイヤルの個数は、プリンタに指定されている短縮ダイヤルの個数によって異なります。

［**FAX** 番号の検索］メニュー

［**FAX** 番号の検索］メニューにアクセスするには、［アドレス帳］メニューから［FAX 番号の検索］を選択します。

メニュー項目	操作
検索条件ウィンドウ	キーパッドを使用して、番号を入力します。アドレス帳の該当箇所までリストが自動的にスクロールします。
短縮ダイヤル	登録されている短縮ダイヤルの FAX 番号が表示されます。リストに表示される短縮ダイヤルの個数は、プリンタに指定されている短縮ダイヤルの個数によって異なります。

［アドレス帳：送信先の編集］メニュー

［アドレス帳：送信先の編集］メニューにアクセスするには、［**FAX** 番号の検索］メニューまたは［名前の検索］メニューで短縮ダイヤル番号がハイライト表示されているときに［メニュー］ボタン を押します。

メニュー項目	操作
名前	キーパッドを使用して、連絡先の名前を編集します。
FAX 番号	キーパッドを使用して、連絡先の FAX 番号を編集します。
短縮ダイヤル	この連絡先に割り当てられている短縮ダイヤル番号が表示されます。 メモ： 短縮ダイヤル番号は自動的に割り当てられます。短縮ダイヤル番号を変更することはできません。
登録を削除	設定ボタン を押すと、アドレス帳から登録が削除されます。

［アドレス帳：送信先の登録］メニュー

［アドレス帳：送信先の登録］メニューにアクセスするには、［アドレス帳］メニューから［送信先の登録］を選択します。

メニュー項目	操作
名前	キーパッドを使用して、連絡先の名前を入力します。
FAX 番号	キーパッドを使用して、連絡先の FAX 番号を入力します。
短縮ダイヤル	使用できる最も小さい短縮ダイヤル番号が連絡先に割り当てられます。 メモ： 短縮ダイヤル番号は自動的に割り当てられます。短縮ダイヤル番号を変更することはできません。

［グループ検索］メニュー

［グループ検索］メニューにアクセスするには、［アドレス帳］メニューから［グループ検索］を選択します。

メニュー項目	操作
検索条件ウィンドウ	キーパッドを使用して、文字を入力します。
短縮ダイヤル	登録されているグループの FAX 番号が表示されます。リストに表示されるグループの個数は、プリンタに指定されているグループの個数によって異なります。

［アドレス帳：グループの変更］メニュー

［アドレス帳：グループの変更］メニューにアクセスするには、［グループ検索］メニューで短縮ダイヤル番号がハイライト表示されているときに［メニュー］ボタン を押します。

メニュー項目	操作
名前	キーパッドを使用して、グループの名前を編集します。
FAX 番号	キーパッドを使用して、グループの FAX 番号を編集します。
短縮ダイヤル	このグループに割り当てられている短縮ダイヤル番号が表示されます。 メモ： 短縮ダイヤル番号は自動的に割り当てられます。短縮ダイヤル番号を変更することはできません。
登録を削除	設定ボタン を押すと、アドレス帳から登録が削除されます。

［アドレス帳：グループの登録］メニュー

［アドレス帳：グループの登録］メニューにアクセスするには、［アドレス帳］メニューから［グループの登録］を選択します。

メニュー項目	操作

名前	キーパッドを使用して、グループの名前を入力します。
FAX 番号	キーパッドを使用して、グループの FAX 番号を入力します。
名前の検索	設定ボタン を押すと、［名前の検索］メニューに移動します。（⇒ ［名前の検索］メニュー）
FAX 番号の検索	設定ボタン を押すと、［**FAX** 番号の検索］メニューに移動します。（⇒ ［FAX 番号の検索］メニュー）
ダイヤル履歴	設定ボタン を押すと、リダイヤルログが表示されます。画面には、最近ダイヤルした番号が 5 つ表示されます。
短縮ダイヤル	使用できる最も小さい短縮ダイヤル番号がこのグループに割り当てられます。 メモ： 短縮ダイヤル番号は自動的に割り当てられます。短縮ダイヤル番号を変更することはできません。

［自動受信の時間指定］メニュー

［自動受信の時間指定］メニューにアクセスするには、［**FAX** モード］メニューの［自動受信］オプションから［時間指定］を選択するか、［着信音と受信］メニューから［自動受信の時間指定］を選択します。

［自動受信］がオンの場合、ユーザーが操作しなくても受信 FAX に応答します。［自動受信］がオフの場合は、受信 FAX に手動で応答する必要があります。

メニュー項目	操作
現在の時刻	現在の時刻を表示します。
開始時刻	キーパッドを使用して、自動受信をオンにする時刻を指定します。
終了時刻	キーパッドを使用して、自動受信をオフにする時刻を指定します。

［送信設定］メニュー

［送信設定］メニューにアクセスするには、［**FAX** モード］メニューから［送信設定］を選択します。

このメニューで変更した設定は一時的なもので、そのとき送信しようとしている FAX ジョブにのみ適用されます。次の FAX ジョブには適用されません。

メニュー項目	操作
送付状	FAX に送付状を添付するかどうかを指定します。 • いいえ* • はい
カラー	送信する FAX のカラーを指定します。 • モノクロ* • カラー
品質	FAX のスキャン品質を指定します。 • 標準* • ファイン • スーパーファイン • ウルトラファイン
濃度	左右の矢印ボタン ❮ ❯ を押して、濃さを設定します（初期設定は中です）。
原稿サイズ	原稿のサイズを指定します。 • 8.5x11"* • A4
* 工場出荷時の設定	

［送付状］メニュー

［送付状］メニューにアクセスするには、［送信設定］メニューで［送付状］がハイライト表示されているときに［メニュー］ボタン を押します。［送付状］メニューで、［メニュー］ボタン を押して送付状の内容を編集します。

メニュー項目	操作
発信元	送信者の FAX 番号を指定します。 • 空欄* • 発信元 1 • 発信元 2 • 発信元 3 • 発信元 4 • 発信元 5 メモ：［発信元］メニューに情報を割り当てたり変更したりするには、編集するオプションまでスクロールして、［メニュー］ボタン を押します。キーパッドを使用して送信者に関する情報を入力します。
名前	送信者の名前を表示します。
電話番号	送信者の電話番号を表示します。
FAX 番号	キーパッドを使用して、FAX 番号を入力します。
優先度	送付状に表示する優先度を指定します。 • なし* • 参考 • 要返信 • 至急
本文	キーパッドを使用して、送信先へのメッセージを入力します。
* 工場出荷時の設定	

［詳細設定］メニュー

［詳細設定］メニューにアクセスするには、［**FAX** モード］メニューから［詳細設定］を選択するか、［セットアップ］メニューから［FAX 設定］を選択します。工場出荷時の設定に戻さない限り、このメニューで行った設定は送受信するすべての FAX ジョブに適用されます。

メニュー項目	操作
アドレス帳の短縮ダイヤル	設定ボタン を押すと、［アドレス帳］メニューに移動します。（⇒ ［アドレス帳］メニュー）
履歴と送信結果	設定ボタン を押して、［履歴と送信結果］メニューに移動します。（⇒ ［履歴と送信結果］メニュー）
着信音と受信	設定ボタン を押すと、［着信音と受信］メニューに移動します。（⇒ ［着信音と受信］メニュー）
印刷設定	設定ボタン を押すと、［印刷設定］メニューに移動します。（⇒ ［印刷設定］メニュー）
ダイヤルと送信	設定ボタン を押すと、［ダイヤルと送信］メニューに移動します。（⇒ ［ダイヤルと送信］メニュー）
着信拒否	設定ボタン を押すと、［着信拒否］メニューに移動します。（⇒ ［着信拒否］メニュー）

［履歴と送信結果］メニュー

［履歴と送信結果］メニューにアクセスするには、［詳細設定］メニューから［履歴と送信結果］を選択します。

メニュー項目	操作
履歴の表示	設定ボタン を押すと、画面に FAX 履歴が表示されます。

送信履歴の印刷	設定ボタン を押すと、送信した FAX の履歴が印刷されます。
受信履歴の印刷	設定ボタン を押すと、受信した FAX の履歴が印刷されます。
保留 FAX の表示	設定ボタン を押すと、保留中の FAX に関する情報が画面に表示されます。
履歴の印刷	履歴を印刷するタイミングを指定します。 • 手動* • FAX 40 通毎
通信管理履歴の印刷	設定ボタン を押すと、送受信した FAX の履歴が印刷されます。
送信結果	FAX 送信結果を印刷するタイミングを指定します。 • エラー時* • 毎回 • オフ
***** 工場出荷時の設定	

［**FAX** 履歴のその他の設定］メニュー

［**FAX** 履歴のその他の設定］メニューにアクセスするには、［**FAX** 履歴］画面で番号の 1 つをハイライト表示した状態で設定ボタン を押します。

メニュー項目	操作
この番号にダイヤル	設定ボタン を押すと［**FAX** モード］メニューに移動し、選択した番号が［FAX 番号］ウィンドウに表示されます。
アドレス帳へ登録	設定ボタン を押すと、［アドレス帳：送信先の登録］メニューに移動し、FAX 番号フィールドに現在の FAX 番号が自動的に入力されます。
着信拒否番号の登録	設定ボタン を押すと、［着信拒否：登録］メニューに移動し、FAX 番号フィールドに現在の FAX 番号が自動的に入力されます。
履歴をすべて削除	設定ボタン を押すと、FAX 履歴がクリアされます。

［着信音と受信］メニュー

［着信音と受信］メニューにアクセスするには、［詳細設定］メニューから［着信音と受信］を選択します。

メニュー項目	操作
着信音量	FAX モデムの着信音の音量を指定します。 • 低* • 高 • オフ
着信音の回数	プリンタが着信に応答するまでの着信音の回数を指定します。 • 1 回 • 2 回 • 3 回* • 5 回
専用着信音	電話会社のサービスで提供されるオプションに合わせた専用着信音の設定を指定します。 • 指定なし* • シングル • ダブル

	• トリプル
自動受信の時間指定	設定ボタン を押すと、［自動受信の時間指定］メニューに移動します。（⇒ ［自動受信の時間指定］メニュー）
転送	FAX を転送するか、印刷して転送するかを設定します。 • オフ* • 転送 • 印刷して転送
受信コード	設定ボタン を押すと、［受信コード］メニューが表示されます。コードを変更するには、キーパッドを使用して新しいコードを指定し、設定ボタン を押します。 メモ： デフォルトのコードは **DELL#**（**3355#**）です。
通知形式	• 形式 1（FSK）* • 形式 2（DTMF） メモ： 発信者番号の検出形式は、セットアップ時に選択した国/地域によって決まります。2 種類の検出形式が使用されている場合は、ご利用の電話会社に連絡して、使用されている形式を確認してください。
* 工場出荷時の設定	

［印刷設定］メニュー

［印刷設定］メニューにアクセスするには、［詳細設定］メニューから［印刷設定］を選択します。

メニュー項目	操作
縮小印刷	1 ページに印刷できない FAX を受信した場合の処理方法を指定します。 • 用紙に合せる* • しない
フッター	FAX を印刷する際にフッターを付けるかどうかを指定します。 • オン* • オフ
両面印刷	両面印刷の設定を指定します。 • 片面印刷* • 両面印刷
用紙設定	設定ボタン を押して［用紙設定］メニューに移動し、給紙トレイにセットした用紙のサイズと種類を選択します。オプションの給紙トレイを使用している場合は、給紙口を指定することもできます。（⇒ ［用紙設定］メニュー）
* 工場出荷時の設定	

［ダイヤルと送信］メニュー

［ダイヤルと送信］メニューにアクセスするには、［詳細設定］メニューから［ダイヤルと送信］を選択します。

メニュー項目	操作
FAX 番号	キーパッドを使用して、FAX 番号を入力します。この番号は、送信する FAX の送付状に表示されます。
発信者名	キーパッドを使用して、プリンタの名前を指定します。この名前は、送信する FAX のヘッダーに表示されます。
送付状	送信する FAX に送付状を添付するかどうかを指定します。

	• いいえ* • はい
カラー	送信する FAX のカラーを指定します。 • モノクロ* • カラー
品質	送信する FAX のスキャン品質を指定します。 • 標準* • ファイン • スーパーファイン • ウルトラファイン
濃度	左右の矢印ボタン ❮ ❯ を押して、濃さを設定します（初期設定は中です）。
回線の種類	電話回線の種類を指定します。 • タッチトーン* • パルス • PBX 経由（ダイヤルトーンを無視）
ダイヤル間隔	送信できなかった FAX 番号をリダイヤルするまでの時間を指定します。 • 1 分 • 2 分* • 3 分 • 4 分 • 5 分 • 6 分 • 7 分 • 8 分
ダイヤル回数	送信できなかった FAX 番号をリダイヤルする回数を指定します。 • 0 回 • 1 回 • 2 回 • 3 回* • 4 回 • 5 回
外線発信番号	• なし* - 設定ボタン を押してデフォルトの設定を変更します。 • 付ける - 外線にかけるために外線発信番号が必要な場合は、設定ボタン を押して設定します。 • 変更 - 設定ボタン を押して、既存の外線発信番号を変更します。
ダイヤル音量	FAX モデムのダイヤル音量を指定します。 • オフ • 低* • 高
スキャン	• ダイヤル前* - FAX 番号をダイヤルする前に FAX をスキャンしてメモリに格納します。 • ダイヤル後 - FAX 番号をダイヤルし、受信側の FAX 機器との通信が確立してから、原稿をスキャンします。
送信速度	電話回線で使用できる最大のデータ送信速度を指定します。 • 33,600 bps * • 31,200 bps • 28,800 bps • 26,400 bps

	• 24,000 bps • 21,600 bps • 19,200 bps • 16,800 bps • 14,400 bps • 12,000 bps • 9,600 bps • 7,200 bps • 4,800 bps • 2,400 bps
自動 FAX 変換	• オン* - 送信設定に関係なく、受信側の FAX 機器に合わせて自動的に変換されます。 • オフ - 送信設定と受信側の FAX 機器の設定が一致しない場合、サポートされていない FAX というエラーが発生します。
エラー修正	プリンタが自動的に FAX のデータエラーを修正するかどうかを指定します。 • オン* • オフ
原稿サイズ	FAX の原稿サイズを指定します。 • 8.5x11"* • A4
* 工場出荷時の設定	

［着信拒否］メニュー

［着信拒否］メニューにアクセスするには、［詳細設定］メニューから［着信拒否］を選択します。

着信拒否機能を設定している場合、着信拒否リストに指定された番号と一致する番号を持つ FAX 機器からの呼び出しは切断されます。

メニュー項目	操作
着信拒否	着信拒否機能のオン/オフを切り替えます。 • オフ* • オン
非通知拒否	不明な送信者からの FAX を受信するかどうかを指定します。 • オフ* • オン
着信拒否名の検索	設定ボタン を押すと、［着信拒否名の検索］メニューに移動します。（⇒ ［着信拒否名の検索］メニュー）
着信拒否番号の検索	設定ボタン を押すと、［着信拒否番号の検索］メニューに移動します。（⇒ ［着信拒否番号の検索］メニュー）
着信拒否番号の登録	設定ボタン を押すと、［着信拒否：登録］メニューに移動します。（⇒ ［着信拒否番号の登録］メニュー）
着信拒否リストの印刷	設定ボタン を押すと、着信拒否リストが印刷されます。
* 工場出荷時の設定	

［着信拒否名の検索］メニュー

［着信拒否名の検索］メニューにアクセスするには、［着信拒否］メニューから［着信拒否名の検索］を選択します。

メニュー項目	操作
検索条件ウィン	キーパッドを使用して、文字を入力します。アドレス帳の該当箇所までリストが自動的にスクロールします。

ドウ	
着信拒否リストの表示	着信拒否リストに登録されている番号が表示されます。リストに表示される連絡先の数は、着信拒否リストに登録した FAX 番号の数によって決まります。

［着信拒否番号の検索］メニュー

［着信拒否番号の検索］メニューにアクセスするには、［着信拒否］メニューから［着信拒否番号の検索］を選択します。

メニュー項目	操作
検索条件ウィンドウ	キーパッドを使用して、番号を入力します。アドレス帳の該当箇所までリストが自動的にスクロールします。
着信拒否リストの番号	着信拒否リストに割り当てられている番号が表示されます。着信拒否リストに割り当てられる数は、着信拒否に登録した番号の数によって決まります。

［着信拒否：変更］メニュー

［着信拒否：変更］メニューにアクセスするには、［着信拒否名の検索］メニューまたは［着信拒否番号の検索］メニューで番号がハイライト表示されているときに［メニュー］ボタン を押します。

メニュー項目	操作
名前	キーパッドを使用して、連絡先の名前を編集します。
FAX 番号	キーパッドを使用して、連絡先の FAX 番号を編集します。
登録番号	この着信拒否番号に割り当てられた番号です。 メモ： 番号は自動的に割り当てられます。割り当てられた番号を変更することはできません。
登録を削除	設定ボタン を押すと、着信拒否リストからこの登録が削除されます。

［着信拒否番号の登録］メニュー

［着信拒否番号の登録］メニューにアクセスするには、［着信拒否］メニューから［着信拒否番号の登録］を選択します。

着信拒否リストには 50 個までの番号を追加できます。

メニュー項目	操作
名前	キーパッドを使用して、連絡先の名前を編集します。
FAX 番号	キーパッドを使用して、連絡先の FAX 番号を編集します。このメニューから登録を追加するには、番号を入力する必要があります。
登録番号	この着信拒否番号に割り当てられた番号です。 メモ： 番号は自動的に割り当てられます。割り当てられた番号を変更することはできません。

スキャンモード

メインメニュー	モードのメインメニュー
スキャン	スキャン先
	カラー
	品質
	原稿サイズ
	スキャン設定

スキャンモードメニューの設定を表示または変更するには、以下の手順に従います。

1. プリンタとコンピュータが USB ケーブルで接続されていることを確認します。
2. メインメニューで、上下の矢印ボタン を押して［スキャン］までスクロールし、設定ボタン を押します。
3. コンピュータがネットワークに接続されている場合、［ホストの選択］画面でホストを選択し、選択したホストに合わせて、4 桁のPIN 番号を入力します。
4. 設定ボタン を押します。

スキャンモードのメニュー

メニュー項目	設定
スキャン先	スキャンした画像を取り込むアプリケーションを選択します。 • プレビュー • E メール • ファイル • お使いのコンピュータにインストールされたソフトウェア
カラー	スキャンのカラーを指定します。 • カラー* • モノクロ
品質	スキャンの品質（解像度）を指定します。 • 自動* • 150 dpi • 300 dpi • 600 dpi
原稿サイズ	原稿のサイズを指定します。 • 自動* • L • 2L • A6 • A5 • B5 • A4 • 2.25x3.25" • 3x5" • 4x6" • 5x7" • 8x10" • 8.5x11"
標準設定	設定ボタン を押すと、［スキャン設定］メニューに移動します。（⇒ ［スキャン設定］メニュー）
* 工場出荷時の設定	

セットアップモード

メインメニュー	モードのメインメニュー	モードのサブメニュー	モードのサブメニュー
セットアップ	用紙設定		
	プリンタ設定	日付と時刻の設定	

		用紙設定	
	コピー設定	用紙設定	
	写真印刷の設定	用紙設定	
	FAX 設定	アドレス帳の短縮ダイヤル	アドレス帳
		履歴と送信結果	
		着信音と受信	自動受信の時間指定
		印刷設定	用紙設定
		ダイヤルと送信	
		着信拒否	着信拒否名の検索
			着信拒否番号の検索
			着信拒否番号の登録
	スキャン設定		
	Bluetooth 設定	用紙設定	
	PictBridge 印刷設定	用紙設定	
	設定リスト印刷		
	ネットワーク設定	ワイヤレス接続	信号の強さ
		TCP/IP	IP アドレス
			ネットマスク
			ゲートウェイ
		時刻の同期	

セットアップメニューにアクセスするには、以下の手順に従います。

1. メインメニューで、上下の矢印ボタン を押して［セットアップ］までスクロールします。
2. 設定ボタン を押します。

セットアップモードのメニュー

メニュー項目	操作
用紙設定	設定ボタン を押すと、［用紙設定］メニューに移動します。（⇒［用紙設定］メニュー）
プリンタ設定	設定ボタン を押すと、［プリンタ設定］メニューに移動します。（⇒［プリンタ設定］メニュー）
コピー設定	設定ボタン を押すと、［コピー設定］メニューに移動します。（⇒［コピー設定］メニュー）
写真印刷の設定	設定ボタン を押すと、［写真の印刷設定］メニューに移動します。（⇒［写真の印刷設定］メニュー）
FAX 設定	設定ボタン を押すと、［詳細設定］メニューに移動します。（⇒［詳細設定］メニュー）
スキャン設定	設定ボタン を押すと、［スキャン設定］メニューに移動します。（⇒［スキャン設定］メニュー）
Bluetooth 設定	設定ボタン を押すと、［**Bluetooth** 設定］メニューに移動します。（⇒［Bluetooth 設定］メニュー）
PictBridge 印刷設定	設定ボタン を押すと、［**PictBridge** 印刷設定］メニューに移動します。（⇒［PictBridge 印刷設定］メニュー）
設定リスト印刷	設定ボタン を押すと、操作パネルを使用して設定したオプションのリストが印刷されます。
ネットワーク設定	設定ボタン を押すと、［ネットワーク設定］メニューに移動します。（⇒［ネットワーク設定］メニュー）

［用紙設定］メニュー

［用紙設定］メニューでは、給紙トレイにセットした用紙のサイズと種類を選択できます。オプションの給紙トレイを使用している場合は、給紙口を指定することもできます。

［用紙設定］メニューを表示または変更するには、［セットアップ］メニュー、［コピーモード］メニュー、［写真印刷の設定］メニュー、［写真の印刷設定 ］メニュー、［ファイル印刷設定］メニュー、［印刷設定］メニュー、または［**Bluetooth** 印刷設定］メニューから［用紙設定］を選択します。

用紙トレイが 1 つのプリンタでの［用紙設定］メニュー

メニュー項目	設定
サイズ	用紙トレイにセットした用紙のサイズを指定します。 • 8.5x11"* • 8.5x14" • A4* • B5 • A5 • A6 • L • 2L • ハガキ • 3x5" • 3.5x5" • 4x6" • 4x8" • 5x7" • 100x150 mm • 100x200 mm • 130x180 mm メモ： 初期設定で選択した国または地域によって、［サイズ］の設定が決まります。任意のメニューでサイズを変更すると、他のすべてのメニューで選択されているオプションが変更されます。
種類	用紙トレイにセットした用紙の種類を指定します。 • 自動* • 普通紙 • マット紙 • フォト • OHP フィルム
* 工場出荷時の設定	

トレイが 2 つセットされている場合、追加のオプションを選択できます。

メニュー項目	設定
サイズ - トレイ 2	トレイ 1 とトレイ 2 のデフォルトの用紙サイズは、どちらも初期設定中に設定したサイズです。2 つのトレイに別のサイズの用紙をセットして、対応する用紙サイズのオプションを選択できます。 トレイ 2 ではトレイ 1 と同じサイズのオプションを選択できます。
種類 - トレイ 2	トレイ 2 ではトレイ 1 と同じ種類のオプションを選択できます。
トレイのリンク	1 つのトレイが空になったときに 2 番目のトレイの用紙を使用するかどうかを指定します。 • オフ* • 自動 (⇒ トレイのリンクについて)
コピー	コピーを作成する際に用紙を使用するトレイを指定します。 • トレイ 1* • トレイ 2

写真印刷	写真を印刷する際に用紙を使用するトレイを指定します。 • トレイ 1* • トレイ 2
ファイル印刷	ファイルを印刷する際に用紙を使用するトレイを指定します。 • トレイ 1* • トレイ 2
FAX	FAX を印刷する際に用紙を使用するトレイを指定します。 • トレイ 1* • トレイ 2 • 自動 メモ： 受信した FAX に合わせて用紙トレイを選択する場合は、［自動］を選択します。両方のトレイにセットされた用紙を正しく指定する必要もあります。
PictBridge	PictBridge 対応カメラから写真を印刷する際に用紙を使用するトレイを指定します。 • トレイ 1* • トレイ 2
Bluetooth	Bluetooth 対応デバイスからファイルを印刷する際に用紙を使用するトレイを指定します。 • トレイ 1* • トレイ 2
* 工場出荷時の設定	

［プリンタ設定］メニュー

［プリンタ設定］を表示または変更するには、［セットアップ］メニューで［プリンタ設定］を選択します。

メニュー項目	設定
日付と時刻の設定	設定ボタン を押し、キーパッドを使用して現在の日付と時刻を入力します。左右の矢印ボタン を押して、次の入力フィールドに移動します。
用紙設定	設定ボタン を押すと、［用紙設定］メニューに移動します。（⇒ ［用紙設定］メニュー）
言語	左右の矢印ボタン を押して、言語のオプションをスクロールします。
国/地域	左右の矢印ボタン を押して、国/地域のオプションをスクロールします。
ボタン音	操作パネルのボタンを押したときに音を鳴らすかどうかを指定します。 • オフ • オン*
節電モード	プリンタが節電モードに入るタイミングを指定します。 • すぐに • 10 分後 • 30 分後* • 60 分後 • 120 分後 • 240 分後
PC 書込禁止	• オフ* • オン メモ： 他のユーザーがプリンタの設定を変更できないようにするには、［**PC** 書込禁止］を［オン］に設定します。

スピーカー音	プリンタのスピーカーの音量を指定します。 • オフ • 低* • 高
* 工場出荷時の設定	

［コピー設定］メニュー

［コピー設定］を表示または変更するには、［セットアップ］メニューで［コピー設定］を選択するか、［コピーモード］メニューで［標準設定］を選択します。

メニュー項目	設定
カラー	コピーのカラーを指定します。 • カラー* • モノクロ
品質	コピー品質を指定します。 • 自動* • 高速 • 標準 • 高品質
原稿サイズ	原稿のサイズを指定します。 • 自動* • 8.5x11" • 2.25x3.25" • 3x5" • 3.5x5" • 4x6" • 4x8" • 5x7" • 8x10" • L • 2L • ハガキ • A6 • A5 • B5 • A4 • 60x80 mm • 90x130 mm • 100x150 mm • 100x200 mm • 130x180 mm • 200x250 mm
原稿の種類	コピーする原稿の種類を指定します。 • 文書* • 写真 • テキスト • 線画
両面原稿	原稿が用紙の片面に印刷されているか、両面に印刷されているかを指定します。 • オフ* • オン
用紙設定	設定ボタン　　を押すと、［用紙設定］メニューに移動します。（⇒ ［用紙設定］メニュー）

	(✓)
* 工場出荷時の設定	

［写真の印刷設定］メニュー

［写真の印刷設定］を表示または変更するには、［セットアップ］メニューで［写真印刷の設定］を選択するか、［メモリカードモード］メニューで［標準設定］を選択します。工場出荷時の設定に戻さない限り、このメニューで行った設定は印刷するすべての写真に適用されます。

メニュー項目	設定
写真サイズ	原稿の写真サイズを指定します。 • ハガキ • L • 2L • 60x80 mm • A6 • 100x150 mm • 130x180 mm • A5 • B5 • A4 • 2.25x 3.25" • 3.5x 5" • 4x6" • 5x7" • 8x10" • 8.5x11"
レイアウト	印刷する写真のサイズを指定します。 • 自動* • フチなし（1 枚/ページ） • 中央 • 1 枚/ページ • 2 枚/ページ • 3 枚/ページ • 4 枚/ページ • 6 枚/ページ • 8 枚/ページ • 16 枚/ページ
品質	写真の印刷品質を指定します。 • 自動* • 高速 • 標準 • 高品質
用紙設定	設定ボタン (✓) を押すと、［用紙設定］メニューに移動します。 （⇒ ［用紙設定］メニュー）
* 工場出荷時の設定	

［詳細設定］メニュー

［詳細設定］メニューにアクセスするには、［セットアップ］メニューから［FAX 設定］を選択するか、［**FAX** モード］メニューから［詳細設定］を選択します。（⇒ ［詳細設定］メニュー）

［スキャン設定］メニュー

［スキャン設定］を表示または変更するには、［セットアップ］メニューで［スキャン設定］を選択するか、［スキャンモード］メニューで［標準設定］を選択します。

メニュー項目	設定
カラー	スキャンのカラーを指定します。 • カラー* • モノクロ
品質	スキャンの品質（解像度）を指定します。 • 自動* • 150 dpi • 300 dpi • 600 dpi
原稿サイズ	原稿のサイズを指定します。 • 自動* • L • 2L • A6 • A5 • B5 • A4 • 2.25x3.25" • 3x5" • 4x6" • 4x8" • 5x7" • 8x10" • 8.5x11"
***** 工場出荷時の設定	

［**Bluetooth** 設定］メニュー

［**Bluetooth** 設定］を表示または変更するには、［セットアップ］メニューで［Bluetooth 設定］を選択します。（⇒ Bluetooth モード）

［**PictBridge** 印刷設定］メニュー

［**PictBridge** 印刷設定］を表示または変更するには、［セットアップ］メニューで［PictBridge 印刷設定］を選択します。（⇒ PictBridge モード）

［ネットワーク設定］メニュー

［ネットワーク設定］メニューにアクセスするには、［セットアップ］メニューで［ネットワーク設定］を選択します。

メニュー項目	設定
ネットワーク設定のリセット	設定ボタン を押すと、すべてのワイヤレス設定が工場出荷時の設定にリセットされます。
設定情報の印刷	設定ボタン を押すと、ネットワーク設定のリストが印刷されます。
ワイヤレス接続	設定ボタン を押すと、［ワイヤレス設定］メニューに移動します。（⇒ ワイヤレス接続）
TCP/IP	設定ボタン を押すと、［**TCP / IP**］メニューに移動します。（⇒ TCP/IP）
時刻の同期	設定ボタン を押すと、［時刻の同期］メニューに移動します。 ［時刻の同期］メニューで、左右の矢印ボタン を押して［タイムサーバ］を有効または無効にし、［戻る］ボタン を押して設定を保存します。 メモ：［タイムサーバ］が有効の場合、ワイヤレス/Ethernet カードは 1 日 1 回、またはプリンタの電源をオンにしたときにプリンタの時刻を更新します。
接続方法	プリントサーバーで使用するネットワーク接続を指定します。

	• 自動* • イーサネット 10/100 • ワイヤレス 802.11b/g
* 工場出荷時の設定	

ワイヤレス接続

［ワイヤレス設定］メニューの設定を表示または変更するには、［ネットワーク設定］メニューで［ワイヤレス接続］を選択します。

メニュー項目	設定
SSID	現在使用している SSID の名前です。 メモ：［SSID］の値は変更できません。
信号の強さ	設定ボタン を押すと、現在の信号強度が表示されます。
* 工場出荷時の設定	

TCP / IP

［**TCP / IP**］メニューの設定を表示または変更するには、［ネットワーク設定］メニューで［TCP/IP］を選択します。

メニュー項目	設定
DHCP 有効	ネットワークで IP 設定が自動的に割り当てられるかどうかを指定します。 • はい* • いいえ メモ：DHCP が有効の場合、IP アドレス、IP ネットマスク、および IP ゲートウェイを変更または設定することはできません。
IP アドレス	設定ボタン を押すと、［**IP** アドレス］メニューに移動します。 ［**IP** アドレス］メニューで、キーパッドを使用して IP アドレスを入力します。右向き矢印ボタン を押すと、次のフィールドに番号の組を入力できます。左向き矢印ボタン を押すと、入力した番号が消去されます。［戻る］ボタン を押して、設定を保存します。 メモ：DHCP が有効の場合、IP アドレスは変更できません。
ネットマスク	設定ボタン を押すと、［ネットマスク］メニューに移動します。 ［ネットマスク］メニューで、キーパッドを使用して IP アドレスを入力します。右向き矢印ボタン を押すと、次のフィールドに番号の組を入力できます。左向き矢印ボタン を押すと、入力した番号が消去されます。［戻る］ボタン を押して、設定を保存します。 メモ：DHCP が有効の場合、IP ネットマスクは変更できません。
ゲートウェイ	設定ボタン を押すと、［ゲートウェイ］メニューに移動します。 ［ゲートウェイ］メニューで、キーパッドを使用して IP アドレスを入力します。右向き矢印ボタン を押すと、次のフィールドに番号の組を入力できます。左向き矢印ボタン を押すと、入力した番号が消去されます。［戻る］ボタン を押して、設定を保存します。 メモ：DHCP が有効の場合、IP ゲートウェイは変更できません。
* 工場出荷時の設定	

メンテナンスモード

メインメニュー	モードのメインメニュー
メンテナンス	インク残量の表示
	ノズル清掃
	プリントヘッド調整
	カートリッジの交換
	テスト印刷
	モデム診断
	初期設定へ戻す

メンテナンスモードのオプションにアクセスするには、以下の手順に従います。

1. メインメニューで、上下の矢印ボタン を押して［メンテナンス］までスクロールします。
2. 設定ボタン を押します。

メンテナンスモードのメニュー

メニュー項目	操作
インク残量の表示	設定ボタン を押すと、画面に各カートリッジの現在のインク残量が表示されます。
ノズル清掃	設定ボタン を押すと、カートリッジが清掃されます。
プリントヘッド調整	設定ボタン を押すと、プリントヘッドが調整されます。
カートリッジの交換	設定ボタン を押すと、カートリッジの交換方法が詳しく表示されます。
テスト印刷	設定ボタン を押すと、テストページが印刷されます。
モデム診断	プリンタが診断サポート用の自動通話に対応する方法を指定します。 • オフ * • オーディオオン • T.30 信号レポートの印刷 • オーディオとレポート
初期設定へ戻す	設定ボタン を押すと、すべての設定が工場出荷時の設定にリセットされます。
***** 工場出荷時の設定	

PictBridge モード

メインメニュー	モードのメインメニュー
PictBridge 印刷設定	写真サイズ
	レイアウト
	品質
	用紙設定

PictBridge 対応のカメラを接続すると、プリンタは自動的に **PictBridge** モードに切り替わります。カメラを操作することで写真を印刷できます。（⇒ PictBridge 対応のカメラから写真を印刷する）

PictBridge 印刷設定を表示または変更するには、［メニュー］ボタン を押します。

［PictBridge 印刷設定］メニュー

メニュー項目	設定
写真サイズ	原稿の写真サイズを指定します。 • ハガキ • L • 2L • 60x80 mm • A6 • 100x150 mm • 130x180 mm • A5 • B5 • A4 • 2.25x 3.25" • 3.5x5" • 4x6" • 5x7" • 8x10" • 8.5x11" メモ： 初期設定で選択した国または地域によって、［写真サイズ］の設定が決まります。
レイアウト	印刷する写真のサイズを指定します。 • 自動* • フチなし（1 枚/ページ） • 中央 • 1 枚/ページ • 2 枚/ページ • 3 枚/ページ • 4 枚/ページ • 6 枚/ページ • 8 枚/ページ • 16 枚/ページ
品質	写真の印刷品質を指定します。 • 自動* • 高速 • 標準 • 高品質
用紙設定	設定ボタン を押して［用紙設定］メニューに移動し、給紙トレイにセットした用紙のサイズと種類を選択します。オプションの給紙トレイを使用している場合は、給紙口を指定することもできます。（⇒ ［用紙設定］メニュー）
* 工場出荷時の設定	

Bluetooth モード

メインメニュー	モードのメインメニュー
Bluetooth 設定	Bluetooth 有効
	検出モード
	セキュリティ
	パスキー
	署名デバイス - すべて削除

	機種名
	アドレス
	用紙設定

Bluetooth 対応の外部デバイスから印刷するには、USB Bluetooth アダプタを PictBridge ポートに接続する必要があります。USB Bluetooth アダプタが有効になると、ディスプレイに Bluetooth アイコン が表示されます。

［**Bluetooth** 設定］を表示または変更するには、以下の手順に従います。

1. 上下の矢印ボタン を押して［セットアップ］までスクロールし、設定ボタン を押します。
2. 上下の矢印ボタン を押して［Bluetooth 設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。

［Bluetooth 設定］メニュー

メニュー項目	設定
Bluetooth 有効	• オン* • オフ メモ：［**Bluetooth** 有効］が［オン］の場合、プリンタは Bluetooth 接続を受け入れ、USB Bluetooth アダプタが他の Bluetooth 対応デバイスと通信できます。
検出モード	• オン* • オフ メモ：他の Bluetooth 対応デバイスがプリンタに接続された USB Bluetooth アダプタを検出できるようにするには、［検出モード］を［オン］に設定します。
セキュリティ	使用するセキュリティレベルを指定します。 • 低* • 高
パスキー	パスキーを指定します。すべての Bluetooth 対応の外部デバイスで、印刷ジョブを送信する前にこのパスキーを入力する必要があります。 メモ：［セキュリティ］が［高］に設定されている場合にのみ、パスキーを指定する必要があります。
署名デバイス - すべて削除	設定ボタン を押すと、署名デバイスのリストがクリアされます。 メモ：プリンタには、最大 8 つの Bluetooth 対応の外部デバイス（署名デバイス）を保存できます。プリンタで検出されたデバイスが 8 つを超えた場合、使用履歴が最も古いデバイスがリストから削除されます。
機種名	USB Bluetooth アダプタに割り当てられた名前です。Bluetooth 対応の外部デバイスから印刷する場合、［機種名］または［アドレス］を選択する必要があります。
アドレス	USB Bluetooth アダプタのアドレスです。Bluetooth 対応の外部デバイスから印刷する場合、［機種名］または［アドレス］を選択する必要があります。 メモ：［アドレス］を変更することはできません。
用紙設定	設定ボタン を押して［用紙設定］メニューに移動し、給紙トレイにセットした用紙のサイズと種類を選択します。オプションの給紙トレイを使用している場合は、給紙口を指定することもできます。（⇒ ［用紙設定］メニュー）
* 工場出荷時の設定	

ネットワーク

オプションの Dell™ Internal Network Adapter 1150 を使用すると、ワイヤレス接続またはイーサネット接続を使用して、プリンタをネットワークに接続できます。

メモ： 一部の地域では、Dell Internal Network Adapter 1150 をご利用いただけない場合があります。ご利用いただけるかどうかについては、お近くのデル販売店にお問い合わせください。

セットアップのための最小必要条件

- Dell Internal Network Adapter 1150
- Dell AIO プリンタ
- 既存のワイヤレスネットワーク
- プリンタに付属する *Drivers and Utilities* CD
- 以下のいずれかのオペレーティングシステムを実行しているコンピュータ：
  - Windows Vista™
  - Microsoft® Windows® XP
  - Microsoft Windows 2000

ワイヤレスネットワークの設定

プリンタに取り付けたプリントサーバーを設定するには、ワイヤレスネットワークの設定情報の一部が必要となる場合があります。必要となる設定の一部は以下のとおりです。

- ネットワーク名。SSID（Service Set ID）とも呼ばれます。
- BSS（Basic Service Set）の種類（使用しているワイヤレスネットワークの種類。アドホックまたはインフラストラクチャ）
- ワイヤレスチャネル番号
- ネットワーク認証および暗号化の種類
- セキュリティキー

無線通信の暗号化

以下の種類のセキュリティがサポートされています。

- セキュリティなし
- 64 bit キーまたは 128 bit キーのいずれかによる WEP
- 128 bit TKIP 暗号化エンジンによる WPA
- 128 bit AES-CCMP 暗号化エンジンによる WPA2

WPA（WiFi Protected Access）事前共有キーとはパスワードのようなもので、次の条件を満たす必要があります。

- 16 進数列を使用している場合は、有効なキーは 64 桁です。
- ASCII 文字列を使用している場合は、有効なキーは 8 桁です。

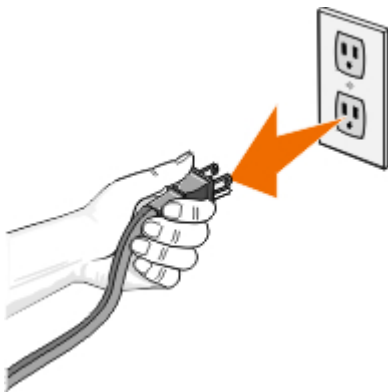
ワイヤレスネットワークでは、1 ～ 4 番のいずれかの WEP キーが使用される場合があります。WEP キーとはパスワードの一種で、以下の条件に従っている必要があります。

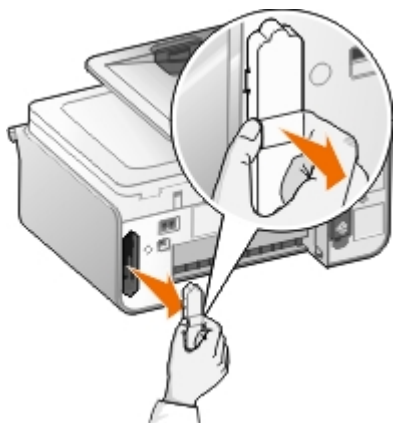
- 16 進数列を使用している場合は、有効なキーは 10 桁または 26 桁です。
- ASCII 文字列を使用している場合は、有効なキーは 5 桁または 13 桁です。

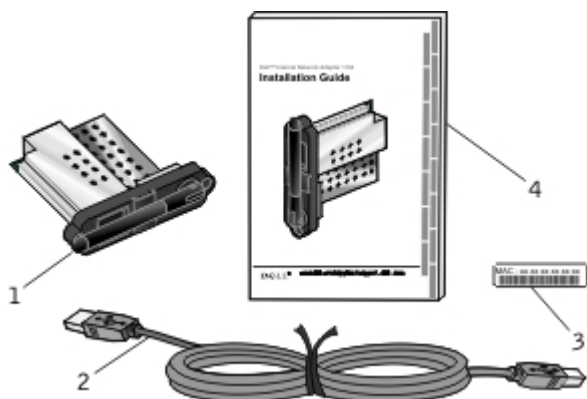
Dell Internal Network Adapter 1150 の取り付けおよび設定

プリントサーバーを取り付ける

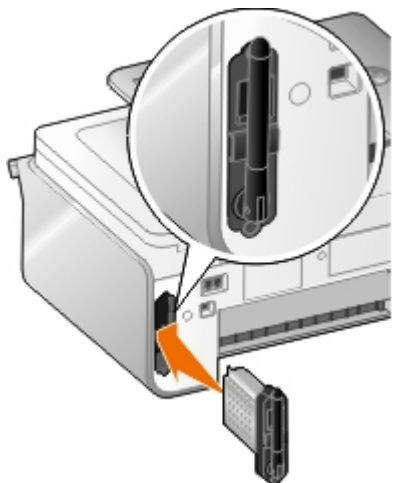
 メモ： お使いのプリンタに Dell Internal Network Adapter 1150 が取り付け済みの場合（⇒ プリントサーバーをワイヤレス接続で使用するための設定 または プリントサーバーをイーサネット接続で使用するための設定）

1. プリンタの電源をオフにしてから、電源コードを壁のコンセントから抜きます。

注意： プリンタの電源コードを抜かないで取り付けを行うと、プリンタとプリントサーバーが損傷する場合があります。

2. 背面カバーを取り外します。

注意： ワイヤレスプリントサーバーは静電気に非常に弱い製品です。プリントサーバーに手を触れる前に、接地された金属などに触れて静電気を逃がしてください。

3. Dell Internal Network Adapter 1150 をパッケージから取り出します。

番号	名称
1	Dell Internal Network Adapter 1150
2	USB ケーブル
3	MAC アドレスラベル
4	*Dell Internal Network Adapter 1150* 取り付けガイド

4. MAC アドレス ラベルをプリンタの背面に貼り付けます。

5. プリントサーバーを、プリンタの背面にぴったりと揃うまで差し込みます。

次に、ネットワークでプリントサーバーを使用するための設定を行います。

メモ： ワイヤレスで使用するための設定を行う場合は USB ケーブルを、イーサネット接続で使用する場合はイーサネットケーブル

（別売）を用意します。

プリントサーバーをワイヤレス接続で使用するための設定

1. プリンタの電源コードをコンセントに差し込みます。
2. 電源ボタン を押します。

   操作パネルのメインメニューにワイヤレスアイコン が表示されます。

3. 新しいデルコンピュータでプリンタを使用する場合は、 手順 8 に進みます。

   既存のコンピュータでプリンタを使用する場合は、次の手順に進みます。

4. コンピュータの電源がオンになっていることを確認してから、プリンタに付属の *Drivers and Utilities* CDをセットします。CD が自動的に起動します。

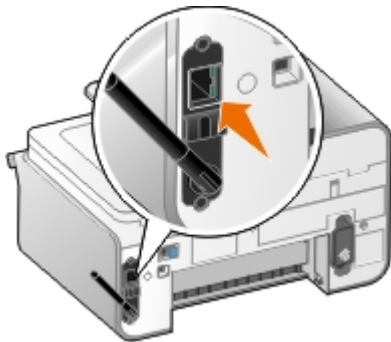
    メモ： *Drivers and Utilities* CD がない場合は、support.dell.com のサイトからから該当するソフトウェアをダウンロードできます。

5. ［ワイヤレスネットワークを使用する］を選択して、［次へ］をクリックします。
6. ［このライセンス契約に同意します］を選択して、［次へ］をクリックします。
7. ファイアウォールの例外設定に関する情報を確認して、［次へ］をクリックします。
8. プリンタの背面にある USB ポートとコンピュータの USB ポートを USB ケーブルで接続します。
9. ［ワイヤレスプリントサーバーの設定］ダイアログボックスで、［プリンタのワイヤレス設定を作成または変更する］を選択して、［次へ］をクリックします。

   ワイヤレス接続ユーティリティが起動します。画面に表示される手順に従い、インストールを完了します。

    メモ： この設定ウィザードを完了するには、接続するワイヤレスネットワークのネットワーク名（SSID）およびセキュリティ設定が必要となる場合があります。詳細については、ネットワークの管理者に問い合わせるか、ネットワークのマニュアルを参照してください。

   プリントサーバーの設定に関する詳細（⇒ワイヤレス接続ユーティリティを使用してプリントサーバーを設定する）

プリントサーバーをイーサネット接続で使用するための設定

1. イーサネットケーブル（別売）を使用して、プリンタをネットワークに接続します。
2. 電源コードを壁のコンセントに接続して、電源ボタン を押します。

   操作パネルのメインメニューにイーサネット接続アイコン が表示されます。

3. コンピュータの電源がオンになっていることを確認してから、プリンタに付属の *Drivers and Utilities* CDをセットします。CD が自動的に起動します。

   メモ： *Drivers and Utilities* CD がない場合は、support.dell.com のサイトからから該当するソフトウェアをダウンロードできます。

4. ［イーサネットケーブルを使用する］を選択して、［次へ］をクリックします。

5. ［このライセンス契約の条項に同意します］をクリックして、［次へ］をクリックします。

6. ファイアウォールの例外設定に関する情報を確認して、［次へ］をクリックします。

7. お使いのプリンタがリストに表示され、選択された状態になっているはずです。［次へ］をクリックして、インストールを開始します。

   プリンタがリストに表示されていない場合は、プリントサーバーをネットワークで使用するために IP アドレスを手動で設定する必要があります。（⇒ IP アドレスを手動で設定する）

IP アドレスを手動で設定する

1. 次の手順で、設定情報を印刷して、プリントサーバーの IP アドレスを探します。

   a. プリンタの操作パネルのメインメニューで、上下の矢印ボタンを押して［セットアップ］までスクロールし、設定ボタンを押します。

   b. 下向き矢印ボタンを押して［ネットワーク設定］までスクロールし、設定ボタンを押します。

   c. 上下の矢印ボタンを押して［設定情報の印刷］までスクロールし、設定ボタンを押します。

      設定情報が印刷されます。

      プリントサーバーの IP アドレスには、［**TCP/IP**］セクションで［**Address:**］という見出しが付いています。

2. コンピュータで、［**IP** アドレスの入力］をクリックします。

   ［ネットワークの設定］ダイアログボックスが表示されます。

3. お使いのプリンタがリストに表示されていない場合は、［設定］をクリックしてから［**IP** アドレスを手動で設定する］を選択します。

   お使いのプリンタがリストにない場合は、［プリンタの追加］をクリックしてから［**1** つ追加］を選択します。

4. 空欄にプリントサーバーの IP アドレスを入力して、［**OK**］をクリックします。

5. これでプリンタがリストに表示されます。［閉じる］をクリックして、プリンタの選択ダイアログボックスに戻ります。

6. リストからプリンタを選択し、［次へ］をクリックします。

   画面に表示される手順に従い、インストールを完了します。

ネットワークでプリントサーバーを使用するための設定に関する詳細は、ネットワーク管理者に問い合わせるか、ネットワークのマニュアルを参照してください。

プリンタを別のネットワークコンピュータに接続する

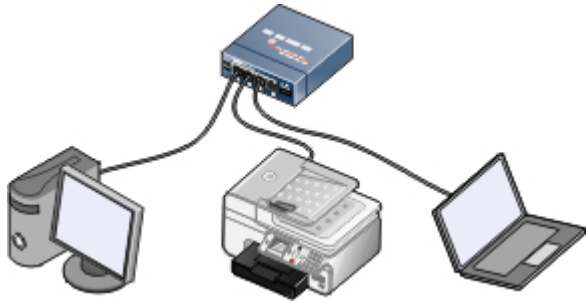
ワイヤレス接続を使用する

メモ： 以下の手順を実行するには、あらかじめプリンタがワイヤレス接続でコンピュータまたはルーターに接続されている必要があります。

1. お使いのプリンタと別のコンピュータが、ネットワークに接続されていることを確認してください。
2. 別のコンピュータに、*Drivers and Utilities* CD をセットします。

   CD が自動的に起動します。
3. ［ワイヤレスネットワークを使用する］を選択して、［次へ］をクリックします。
4. ［このライセンス契約に同意します］を選択して、［次へ］をクリックします。
5. ファイアウォールの例外設定に関する情報を確認して、［次へ］をクリックします。
6. ［ワイヤレスプリントサーバーの設定］ダイアログボックスで、［プリンタの現在のワイヤレス設定を使用する］を選択して、［次へ］をクリックします。
7. リストからプリンタポートを選択するか、IP アドレスを手動で入力して、画面に表示される手順に従います。（⇒ IP アドレスを手動で設定する）

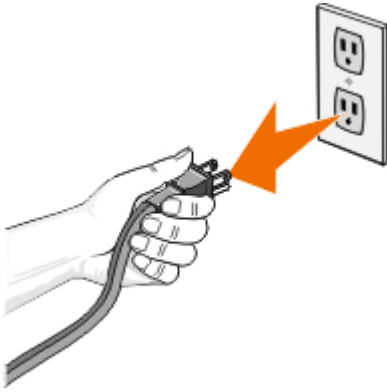
イーサネット接続を使用する

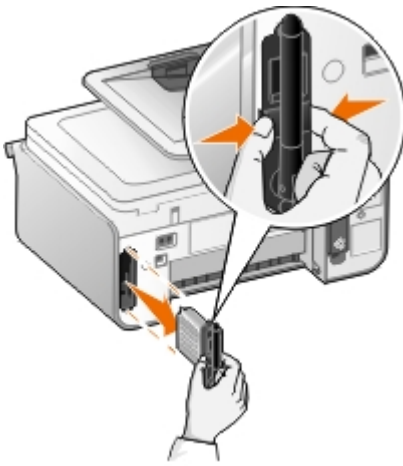
メモ： 以下の手順を実行するには、あらかじめプリンタがイーサネット接続でネットワークに接続されている必要があります。

1. お使いのプリンタと別のコンピュータが、ネットワークに接続されていることを確認してください。
2. 別のコンピュータに、*Drivers and Utilities* CD をセットします。
3. ［イーサネットケーブルを使用する］を選択して、［次へ］をクリックします。
4. ［このライセンス契約に同意します］を選択して、［次へ］をクリックします。
5. ファイアウォールの例外設定に関する情報を確認して、［次へ］をクリックします。
6. リストからプリンタを選択するか、IP アドレスを手動で入力して、画面に表示される手順に従います。（⇒ IP アドレスを手動で設定する）

プリントサーバーの取り外しと再取り付け

お使いのプリントサーバーが正しく機能していない場合は、取り外して取り付けなおす必要がある場合があります。

メモ： お使いのプリンタにプリントサーバーが取り付け済みで購入した場合、以下の手順は適用されません。

1. プリンタの電源をオフにしてから、電源コードを壁のコンセントから抜きます。

注意： プリンタの電源コードを抜かないで取り付けを行うと、プリンタとプリントサーバーが損傷する場合があります。

2. Dell Internal Network Adapter 1150 の両側のつまみをしっかり持って、引き出して取り外します。

注意： プリントサーバーは静電気に非常に弱い製品です。プリントサーバーに手を触れる前に、接地された金属などに触れて静電気を逃がしてください。

注意： プリントサーバーを取り外す際は、アンテナを持たないでください。アンテナを引っぱるとプリントサーバーが破損する可能性があります。

3. 取り付けガイドの手順に従い、プリントサーバーを取り付けなおします。 （⇒ プリントサーバーを取り付ける）

ワイヤレス接続ユーティリティを使用してプリントサーバーを設定する

 メモ： *Drivers and Utilities* CD を使用してネットワーク接続のセットアップを行う場合は、ワイヤレス接続ユーティリティを起動する必要はありません。［ワイヤレスプリントサーバーの設定］ダイアログボックスで、［プリンタのワイヤレス設定を作成または変更する］を選択すると、ユーティリティが自動的に起動します。［設定の概要］をスキップして、使用するネットワークに該当する項目に移動してください。

設定の概要

ワイヤレス接続ユーティリティを使用してプリントサーバーを設定するには、プリントサーバーを取り付けたプリンタを USB ケーブルでコンピュータに接続し、*Drivers and Utilities* CD を起動する必要があります。

インストール後にワイヤレスプリントサーバーの設定の変更が必要な場合は、CD は必要ありません。ワイヤレス接続ユーティリティを起動します。

*Windows Vista*の場合：

1. ® ［プログラム］の順にクリックします。

2. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

3. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

4. ［ワイヤレス接続ユーティリティ］をクリックします。

Windows XP および *Windows 2000* の場合：

1. ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

2. ［ワイヤレス接続ユーティリティ］をクリックします。

ワイヤレス設定ユーティリティを使用すると、設定を順に行うことができます。ウィザードにより、ワイヤレスネットワーク設定を自動的に検出したり、ネットワーク設定を手動で入力できます。

プリントサーバーを設定する前に、プリンタが次のように正しく設定されていることを確認します。

- プリンタにプリントサーバーが正しく取り付けられている。
- カートリッジが正しく取り付けられている。
- プリンタに用紙がセットされている。
- プリンタとコンピュータに USB ケーブルが接続されている。
- プリンタの電源がオンになっていて、インストールの準備ができている。

使用可能なワイヤレスネットワーク設定を使用する

1. ［付近で検出されたワイヤレスネットワーク］画面で、リストから適切なネットワーク名（**SSID**）を選択して、［次へ］をクリックします。

2. 適切なセキュリティ方式を選択して、［次へ］をクリックします。セキュリティが検出されない場合、次に進みます。手順 5.

3. ネットワーク用の適切なセキュリティキーを入力して、［次へ］をクリックします。

4. ［構成の適用と検証］画面で、各ネットワーク属性をチェックして正しく設定されていることを確認し、［次へ］をクリックして設定を適用します。

   メモ： ［次へ］をクリックすると、接続ユーティリティはプリンタのワイヤレス通信を確認します。確認プロセスには最大 120 秒かかります。

5. ネットワークを介してプリントサーバーが通信できることを確認します。（⇒ ネットワーク通信を確認する）

別のワイヤレスネットワーク設定を入力する

1. ［付近で検出されたワイヤレスネットワーク］画面で、［別の設定を入力する］を選択して［次へ］をクリックします。

2. 使用するネットワーク名（SSID）を選択できる場合はリストから選択して、［次へ］をクリックします。

   ネットワーク名（*SSID*）が選択できない場合

   a. ［別の名前を入力する］を選択して、［次へ］をクリックします。

   b. ネットワーク名（**SSID**）を入力します。

c. ドロップダウンリストから、適切なチャンネルを選択します(デフォルトでは［自動］が選択されています)。

d. ワイヤレスモードを選択します。

- インフラストラクチャモードの場合、［ワイヤレスルーター経由で既存のネットワークにアクセスする（インフラストラクチャモード） - 標準］を選択して［次へ］をクリックします。

  詳細なセットアップ手順については、次を参照してください。インフラストラクチャモードでプリントサーバーを手動設定する.

- アドホックモードの場合、［ワイヤレスルーターを使用せずに直接他のコンピュータにアクセスする（アドホックモード）］を選択して［次へ］をクリックします。

  詳細なセットアップ手順については、次を参照してください。アドホックモードでプリントサーバーを手動設定する.

3. 適切なセキュリティ方式を選択して、［次へ］をクリックします。セキュリティが検出されない場合、次に進みます。手順 5.

4. ネットワーク用の適切なセキュリティキーを入力して、［次へ］をクリックします。

5. ［構成の適用と検証］画面で、各ネットワーク属性をチェックして正しく設定されていることを確認し、［次へ］をクリックして設定を適用します。

メモ： ［次へ］をクリックすると、接続ユーティリティはプリンタのワイヤレス通信を確認します。確認プロセスには最大 120 秒かかります。

6. ネットワークを介してプリントサーバーが通信できることを確認します。（⇒ネットワーク通信を確認する）

インフラストラクチャモードでプリントサーバーを手動設定する

プリントサーバーをインフラストラクチャモードに設定する場合、選択したセキュリティ設定に応じてセットアップ手順が異なります。

- セキュリティを使用しない場合

  1. ［ワイヤレスセキュリティの設定］画面で［セキュリティなし］を選択して、［次へ］をクリックします。

  2. ［構成の適用と検証］画面で、各ネットワーク属性をチェックして正しく設定されていることを確認し、［次へ］をクリックして設定を適用します。

  3. ネットワークを介してプリントサーバーが通信できることを確認します。（⇒ネットワーク通信を確認する）

- *WEP*（*Wired Equivalent Privacy*）セキュリティを使用する場合

  1. ［ワイヤレスセキュリティの設定］画面で［**WEP**］を選択して、［次へ］をクリックします。

     ［**WEP** セキュリティ情報］画面が表示されます。

  2. 適切なネットワークキーを入力して、［次へ］をクリックします。

  3. ［構成の適用と検証］画面で、各ネットワーク属性をチェックして正しく設定されていることを確認し、［次へ］をクリックして設定を適用します。

  4. ネットワークを介してプリントサーバーが通信できることを確認します。（⇒ネットワーク通信を確認する）

- *WPA*（*Wi-Fi Protected Access*）セキュリティを使用する場合

  1. ［ワイヤレスセキュリティの設定］画面で［**WPA**］を選択して、［次へ］をクリックします。

     ［**WPA** セキュリティ情報］画面が表示されます。

2. 適切な **WPA** ネットワークキーを入力して、［次へ］をクリックします。

3. ［構成の適用と検証］画面で、各ネットワーク属性をチェックして正しく設定されていることを確認し、［次へ］をクリックして設定を適用します。

4. ネットワークを介してプリントサーバーが通信できることを確認します。（⇒ネットワーク通信を確認する）

- *WPA2* セキュリティをサポートするアクセスポイントのみに接続する場合

1. ［ワイヤレスセキュリティの設定］画面で［**WPA**］を選択して、［**WPA** の詳細設定］をクリックします。

   ［**WPA** の詳細オプション］ダイアログボックスが表示されます。

2. ［**WPA2** 認証のみを使用する］チェックボックスをオンにして、［**OK**］をクリックします。

   ［ワイヤレスセキュリティの設定］画面に戻ります。

3. ［次へ］をクリックします。

4. 適切な **WPA** ネットワークキーを入力して、［次へ］をクリックします。

5. ［構成の適用と検証］画面で、各ネットワーク属性をチェックして正しく設定されていることを確認し、［次へ］をクリックして設定を適用します。

6. ネットワークを介してプリントサーバーが通信できることを確認します。（⇒ネットワーク通信を確認する）

アドホックモードでプリントサーバーを手動設定する

プリントサーバーをアドホックモードに設定する場合、選択したセキュリティ設定に応じてセットアップ手順が異なります。インフラストラクチャモードと比較すると、アドホックモードで利用可能なセキュリティオプションは限られています。

- セキュリティを使用しない場合

1. ［ワイヤレスセキュリティの設定］画面で［セキュリティなし］を選択して、［次へ］をクリックします。

2. ［構成の適用と検証］画面で、各ネットワーク属性をチェックして正しく設定されていることを確認し、［次へ］をクリックして設定を適用します。

3. ネットワークを介してプリントサーバーが通信できることを確認します。（⇒ネットワーク通信を確認する）

- *WEP*（*Wired Equivalent Privacy*）セキュリティを使用する場合

1. ［ワイヤレスセキュリティの設定］画面で［**WEP**］を選択して、［次へ］をクリックします。

2. 適切なネットワークキーを入力します。

3. 追加のネットワークキーを使用する場合は、［複数のネットワークキーを使用する］チェックボックスをオンにして、追加のネットワークキーを入力します。

4. ［次へ］をクリックします。

5. ［構成の適用と検証］画面で、各ネットワーク属性をチェックして正しく設定されていることを確認し、［次へ］をクリックして設定を適用します。

6. ネットワークを介してプリントサーバーが通信できることを確認します。（⇒ネットワーク通信を確認する）

ネットワーク通信を確認する

プリンタソフトウェアのインストールを完了する前に、お使いのプリントサーバーがネットワーク上で通信できることを確認する必要があります。

- プリントサーバーが正しく設定され、ネットワークで使用できる場合、USB ケーブルを取り外し、［次へ］をクリックしてプリンタソフトウェアのインストールを続けます。

- プリントサーバーがワイヤレスネットワークに参加できない場合、以下のいずれかの操作を試してください。

  - ［設定の表示］をクリックして、正しく設定されていることを確認します。

  - ［入力した設定を変更する］を選択して、［次へ］をクリックします。

    画面に表示される手順に従い、ワイヤレス設定を更新します。

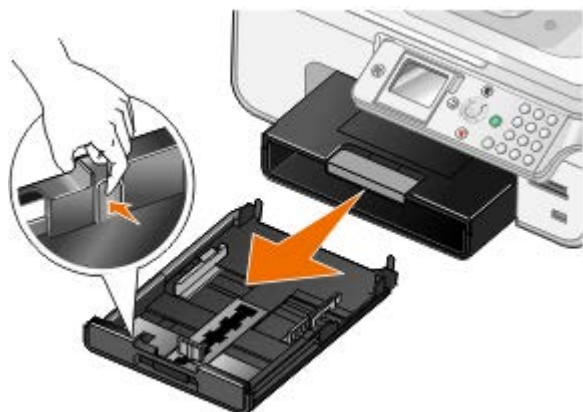
  - ［プリンタをワイヤレスルーターの付近に移動したため、もう一度接続する］を選択してから、［次へ］をクリックします。

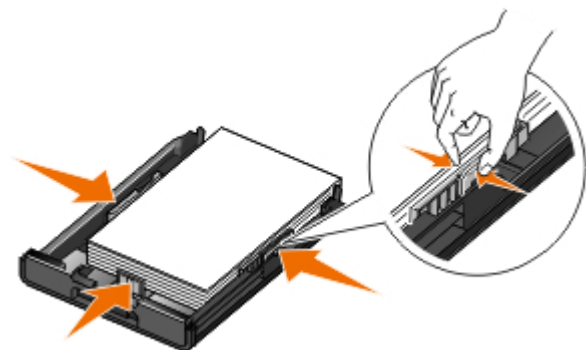
用紙や原稿をセットする

用紙トレイに用紙をセットする

用紙のセット

1. 用紙をさばきます。

2. 用紙トレイを取り外します。レバーを押し込み、用紙をセットできる長さになるまでトレイを引き伸ばします。

3. 用紙トレイに用紙をセットし、用紙ガイドを調節します。

メモ： オプションの用紙トレイには、US レターサイズ、リーガルサイズ、または A4 サイズの用紙のみをセットできます。

4. 用紙トレイを取り付けます。

5. 用紙トレイの用紙サポートを伸ばしてから、用紙ストッパーを持ち上げます。

メモ： 普通紙を印刷するときの排紙トレイの容量は 100 枚です。

印刷用紙のガイドライン

セット可能枚数	チェック項目
普通紙： 150 枚	• 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。 • 用紙の上側をプリンタ側に向けて、印刷面が下になるようにセットします。 • ［自動］、［高速］、［標準］、［高品質］のいずれかの印刷品質を選択します。フォトカートリッジが取り付けられている場合、［高速］を選択しないでください。
封筒（用紙トレイにセットする場合）： 10 枚 封筒（スモールサイズフィーダーにセットする場合）： 1 枚	• 封筒の印刷面を下にしてセットします。 • 封筒は、スモールサイズフィーダーに 1 枚ずつセットすることもできます。 • 洋形の封筒は、印刷方向を横にして、自分の住所を左側に印刷します。 メモ： 国内で使用する封筒を印刷する場合、切手の位置を右下にして縦向きに印刷することも、切手の位置を左下にして横向きに印刷することもできます。海外向けの封筒を印刷する場合は、切手の位置を左上にして横向きに印刷してください。 • 正しい封筒サイズを選択します。正確な封筒サイズがリストに表示されない場合は次に大きなサイズを選択し、左右にマージンを設定して封筒に印刷されるテキストの位置を調整します。
バナー紙： 20 枚	• 他の用紙が給紙トレイにある場合は、取り除いてからバナー紙をセットします。 • インクジェット用のバナー紙を使用してください。 • ［**A4** バナー］または［**US** レター バナー］のどちらかの用紙サイズを選択します。 メモ： バナー紙のセット方法についての詳細は、次を参照してください。バナー紙をセットする.
グリーティングカード、インデックスカード、ポストカード、またはフォトカード（用紙トレイにセットする場合）： 25 枚 グリーティングカード、インデックスカード、ポストカード、またはフォトカード（スモールサイズフィーダーにセットする場合）： 1 枚 ハガキ、ハガキ用フォトカード（用紙トレイに	• カードの印刷面を下にしてセットします。 • カードは、スモールサイズフィーダーに 1 枚ずつセットすることもできます。 • 印刷品質に［自動］、［標準］、または［高品質］を選択します。

セットする場合）： 30 枚	
フォトペーパー/光沢紙、マット紙： 50 枚	• 用紙の印刷面を下にしてセットします。 • 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。 • 印刷品質に［自動］、［標準］、または［高品質］を選択します。
アイロンプリント紙： 10 mm まで	• アイロンプリント紙のパッケージに記載されたセット手順に従います。 • アイロンプリント紙の印刷面を下にしてセットします。 • 用紙ガイドをアイロンプリント紙の端に合わせます。 • 印刷品質に［自動］、［標準］、または［高品質］を選択します。
OHP フィルム： 50 枚	• OHP フィルムのざらざらした方の面を下にしてセットします。 • 用紙ガイドを OHP フィルムの端に合わせます。 • 印刷品質に［自動］、［高速］、［標準］、または［高品質］を選択します。
ラベル用紙： 25 枚	• ラベル用紙の印刷面を下にしてセットします。 • ラベル用紙の上部を給紙口にセットします。 • 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。
レターヘッド付き用紙： 150 枚	• レターヘッド付き用紙の印刷面を下にしてセットします。 • レターヘッドのある方をプリンタ側にしてセットします。 • 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。
ユーザー定義サイズ用紙： 150 枚	• 用紙サイズの要件は次のとおりです。 幅：3.0 ～ 8.5 インチ（76 ～ 216 mm） 長さ：5.0 ～ 17.0 インチ（127 ～ 432 mm） • 用紙の印刷面を下にしてセットします。 • 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。

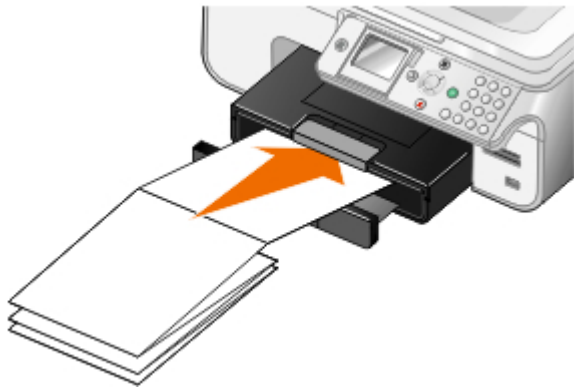
バナー紙をセットする

1. 用紙トレイを取り外します。
2. トレイから用紙をすべて取り除きます。
3. レバーを押し込み、リーガルサイズの用紙をセットできる長さになるまでトレイを引き伸ばします。

4. 用紙トレイを取り付けます。

5. バナー印刷に必要な枚数だけ、バナー紙を切り取ります。

6. バナー紙の束をプリンタ前面の平らな面に置きます。

7. バナー紙の 1 枚目を、ハンドルの上から用紙トレイの奥に差し込みます。

トレイのリンクについて

オプションの用紙トレイを購入した場合、トレイがリンクするように設定できます。トレイのリンクを設定すると、サイズと種類が同じ用紙を標準トレイとオプショントレイにセットしている場合に、トレイの自動リンク機能を使用できます。プリンタは自動的にトレイをリンクし、1 つのトレイが空になると、リンクしている次のトレイから給紙します。

たとえば、トレイ 1（標準用紙トレイ）とトレイ 2（オプショントレイ）にサイズと種類が同じ用紙がセットされている場合、プリンタはトレイ 1 が空になるまで用紙をトレイ 1 から選択し、空になると自動的にトレイ 2 から給紙します。

さらに、各トレイに異なるサイズの用紙をセットして、受信した FAX のサイズに合わせた用紙を選択することもできます。たとえば、トレイ 1 にレターサイズの用紙がセットされ、トレイ 2 にリーガルサイズの用紙がセットされている場合、リーガルサイズの FAX を受信するとトレイ 2 の用紙が使用されます。

メモ： オプションの用紙トレイには、レターサイズ、リーガルサイズ、または A4 サイズの用紙のみをセットできます。

オプションの用紙トレイを取り付けたら、トレイのリンクを有効にできます。このオプションは必要に応じてオンまたはオフにできます。

コンピュータを使用した印刷ジョブでトレイのリンクを有効にする

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。

2. 種類とサイズが同じ用紙を両方の用紙トレイにセットします。

3. 文書を開いた状態で［ファイル］® ［印刷］の順にクリックします。

   ［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

4. ［設定］、［プロパティ］、［オプション］、または［セットアップ］をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。

［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

5. ［印刷設定］タブで、［給紙口］ドロップダウンリストから［自動］を選択します。

6. ［印刷設定］タブと［アドバンス］タブで、必要に応じて文書に変更を加えます。

7. 設定の変更を完了したら、［**OK**］をクリックします。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが閉じます。

8. ［**OK**］または［印刷］をクリックします。

操作パネルを使用した印刷ジョブでトレイのリンクを有効にする

1. メインメニューで、上下の矢印ボタンを使用して［セットアップ］までスクロールし、設定ボタンを押します。

2. ［用紙設定］で、設定ボタンを押します。

3. 上下の矢印ボタンを押して［トレイのリンク］までスクロールし、左右の矢印ボタンを押して［自動］までスクロールします。

4. ［戻る］ボタンを押します。

コピージョブでトレイのリンクを有効にする

1. 種類とサイズが同じ用紙を両方の用紙トレイにセットします。

2. メインメニューで、上下の矢印ボタンを押して［セットアップ］までスクロールし、設定ボタンを押します。

3. ［セットアップ］メニューで、上下の矢印ボタンを押して［コピー設定］までスクロールし、設定ボタンを押します。

4. ［コピー設定］メニューで、下向き矢印ボタンを押して［用紙設定］までスクロールし、設定ボタンを押します。

5. ［用紙設定］メニューで、両方の用紙トレイにセットした用紙のサイズと種類を指定します。

6. 上下の矢印ボタンを押して［トレイのリンク］までスクロールし、左右の矢印ボタンを押して［自動］を選択します。

7. ［戻る］ボタンを押すと、設定が保存されて前のメニューに戻ります。

受信した FAX の印刷時にトレイのリンクを有効にする

1. 種類が同じでサイズが異なる用紙を両方のトレイにセットします。

2. メインメニューで、上下の矢印ボタンを押して［セットアップ］までスクロールし、設定ボタンを押します。

3. ［セットアップ］メニューで、上下の矢印ボタンを押して［FAX 設定］までスクロールし、設定ボタンを押します。

4. ［詳細設定］で、上下の矢印ボタンを押して［印刷設定］までスクロールし、設定ボタンを押します。

5. ［印刷設定］メニューで、下向き矢印ボタンを押して［用紙設定］までスクロールし、設定ボタンを押します。

6. ［用紙設定］メニューで、両方の用紙トレイにセットした用紙のサイズと種類を指定します。

7. 上下の矢印ボタンを押して［トレイのリンク］までスクロールし、左右の矢印ボタンを押して［自動］を選択します。

8. 上下の矢印ボタン を押して［FAX］までスクロールし、左右の矢印ボタン を押して用紙を選択します。

9. ［戻る］ボタン を押すと、設定が保存されて前のメニューに戻ります。

メモ： 種類とサイズが同じ用紙が両方のトレイにセットされている場合、FAX 用に指定した用紙がなくなると、次のトレイの用紙が使用されます。

自動用紙センサーのはたらき

プリンタには自動用紙センサーが装備されており、以下の種類の用紙を検出できます。

- 普通紙/マット紙
- OHP フィルム
- フォトペーパー/光沢紙

これらの種類の用紙をセットすると、プリンタが用紙の種類を検出して、［品質/速度］設定が自動的に調整されます。

用紙の種類	［品質 / 速度］設定	
	ブラックカートリッジとカラーカートリッジがセットされている場合	フォトカートリッジとカラーカートリッジがセットされている場合
普通紙/マット紙	標準	高品質
OHP フィルム	標準	高品質
フォトペーパー/光沢紙	高品質	高品質

メモ： プリンタでは用紙サイズは検出されません。

用紙サイズを選択するには、以下の手順に従います。

1. 文書を開いた状態で［ファイル］® ［印刷］の順にクリックします。

   ［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

2. ［設定］、［プロパティ］、［オプション］、または［セットアップ］をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

3. ［印刷設定］タブで、用紙のサイズを選択します。

4. ［**OK**］をクリックします。

自動用紙センサーはオフにしない限り、常にオンになっています。特定の印刷ジョブのために自動用紙センサーをオフにするには、以下の手順に従います。

1. 文書を開いた状態で［ファイル］® ［印刷］の順にクリックします。

   ［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

2. ［設定］、［プロパティ］、［オプション］、または［セットアップ］をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

3. ［印刷設定］タブで、用紙の種類を選択します。

4. ［**OK**］をクリックします。

印刷実行時に常に自動用紙センサーをオフにするには、以下の手順に従います。

1. *Windows Vista*™ の場合：

   a. ® ［コントロール パネル］の順にクリックします。

   b. ［ハードウェアとサウンド］をクリックします。

   c. ［プリンタ］をクリックします。

   Windows® *XP*の場合は、［スタート］® ［コントロール パネル］® ［プリンタとその他のハードウェア］® ［プリンタと**FAX**］の順にクリックします。

   Windows 2000 の場合は、［スタート］® ［設定］® ［プリンタ］の順にクリックします。

2. プリンタのアイコンを右クリックします。

3. ［印刷設定］をクリックします。

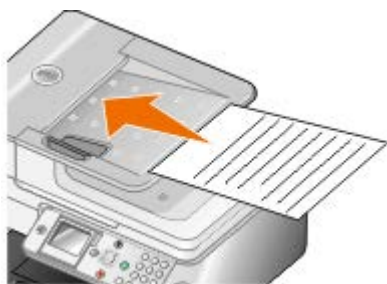
4. ［印刷設定］タブで、用紙の種類を選択します。

5. ［**OK**］をクリックします。

原稿をセットする

ADF にセットする

スキャン、コピー、FAX を行う場合、ADF には 50 枚までの原稿をセットできます。複数ページの原稿をセットする場合は、ADF を使用してください。

1. スキャンする側を上にして、原稿を ADF にセットします。

   メモ： ハガキ、写真、小さな原稿、薄い原稿（雑誌の切り抜きなど）を ADF にセットしないでください。これらの原稿は原稿台にセットします。

2. ADF の用紙ガイドを原稿の端に合わせます。

ADF で使用できる用紙

セット可能枚数	チェック項目
レターサイズの用紙： 50 枚	• 原稿面を上にしてセットします。 • 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。
リーガルサイズの用紙： 50 枚	• 原稿面を上にしてセットします。 • 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。

A4 サイズの用紙： 50枚	• 原稿面を上にしてセットします。 • 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。
2 つ穴、3 つ穴、4 つ穴の穴開き用紙： 50 枚	• 用紙サイズの要件は次のとおりです。幅： 8.27 ～ 8.5 インチ（210.0 ～ 215.9 mm） 長さ： 11.0 ～ 14.0 インチ（279.4 ～ 355.6 mm） • 原稿面を上にしてセットします。 • 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。
3 つ穴の縁付きコピー用紙： 50 枚	• 用紙サイズの要件は次のとおりです。幅： 8.27 ～ 8.5 インチ（210.0 ～ 215.9 mm） 長さ： 11.0 ～ 14.0 インチ（279.4 ～ 355.6 mm） • 原稿面を上にしてセットします。 • 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。
フォーム用紙、レターヘッド付き用紙： 50 枚	• 用紙サイズの要件は次のとおりです。幅： 8.27 ～ 8.5 インチ（210.0 ～ 215.9 mm） 長さ： 11.0 ～ 14.0 インチ（279.4 ～ 355.6 mm） • 原稿面を上にしてセットします。 • 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。 • 印刷済みの用紙は、ADF で使用する前によく乾かしておきます。 • 印刷に金属粉インキが使用されている用紙はADFで使用しないでください。 • エンボスのある用紙は使用しないでください。
ユーザー定義サイズ用紙： 50 枚	• 用紙サイズの要件は次のとおりです。幅： 8.27 ～ 8.5 インチ（210.0 ～ 215.9 mm） 長さ： 11.0 ～ 14.0 インチ（279.4 ～ 355.6 mm） • 原稿面を上にしてセットします。 • 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。

原稿台を使用する

1. 原稿カバーを開きます。

2. ドキュメントを下向きにして原稿台にセットします。

メモ： このとき、原稿の表の左上の角を、プリンタの矢印に合わせるようにセットしてください。

3. 原稿カバーを閉じます。

メンテナンス

危険： このセクションに記載されている手順を実行する前に、『オーナーズマニュアル』の安全に関する情報を読み、その指示に従ってください。

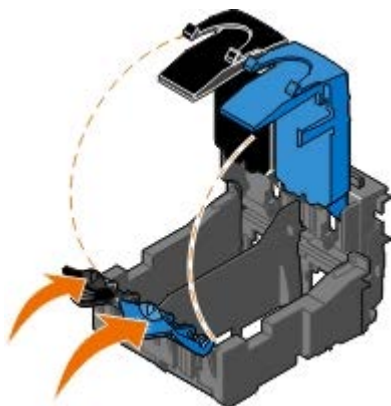
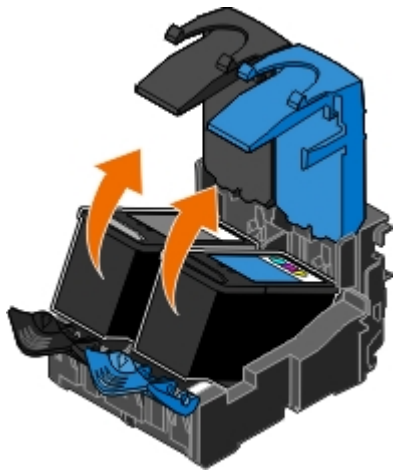
デルカートリッジは、当社でしか取り扱っておりません。追加のカートリッジは、オンラインで www.dell.com/supplies からご注文いただくか、お電話でご注文ください。

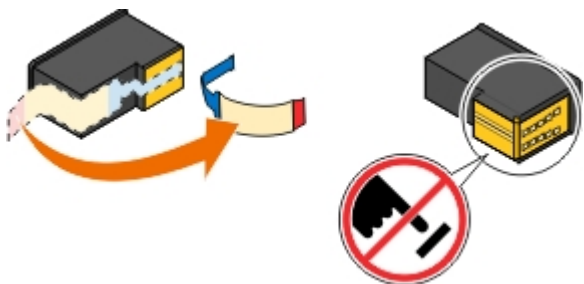
お使いのプリンタには、デルブランドのカートリッジを使用してください。デルブランド以外のアクセサリ、部品、またはコンポーネントの使用により問題が発生した場合は、保証の対象とはなりません。

カートリッジの交換

1. プリンタの電源をオンにします。
2. スキャナベースユニットを持ち上げます。

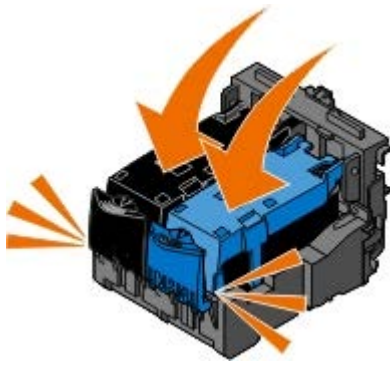
印刷中でなければ、カートリッジホルダーが取り付け位置まで移動して停止します。

3. カートリッジレバーを押し下げると、各カートリッジの蓋が持ち上がります。

4. 使用済みのカートリッジを取り外します。

5. カートリッジは、フォトカートリッジに付属する保存容器などの密閉容器に入れて保存するか、適切な方法で廃棄してください。

6. 新品のカートリッジを取り付ける場合は、各カートリッジの背面および下部から粘着テープと透明な保護テープを取り外します。

注意： カートリッジの横の接触面または下のノズルに手を触れないでください。

7. 新しいカートリッジを差し込みます。ブラックカートリッジまたはフォトカートリッジを左側のカートリッジホルダーに、またカラーカートリッジを右側のカートリッジホルダーにしっかりと取り付けたことを確認します。

メモ： 通常の印刷では、ブラックカートリッジとカラーカートリッジを使用します。写真を印刷する場合は、ブラックカートリッジをフォトカートリッジに交換してください。

8. ぱちん と音がするまでカートリッジの蓋を閉じます。

9. スキャナベースユニットを下ろし、完全に閉じます。

ヘッド調整

カートリッジの取り付けまたは交換を行うと、プリントヘッドの調整を求めるメッセージが自動的に表示されます。文字の形が崩れていたり左マージンにそろっていない場合、または縦の線や直線が波打っていたりする場合は、プリントヘッドの調整が必要となることがあります。

操作パネルからプリントヘッドを調整するには、以下の手順に従います。

1. 普通紙をセットします。（⇒ 用紙のセット）
2. 下向き矢印ボタン を押して、［メンテナンス］までスクロールします。
3. 設定ボタン を押します。
4. 上下の矢印ボタン を押して、［プリントヘッド調整］までスクロールします。
5. 設定ボタン を押します。

   調整パターンの印刷が開始されます。カートリッジの調整が行われ、調整パターンが印刷されます。

プリンタソフトウェアからプリントヘッドを調整するには、以下の手順に従います。

1. 普通紙をセットします。
2. *Windows Vista*™ の場合：
   a. ® ［コントロール パネル］の順にクリックします。
   b. ［ハードウェアとサウンド］をクリックします。
   c. ［プリンタ］をクリックします。

   Windows® *XP* の場合は、［スタート］® ［コントロール パネル］® ［プリンタとその他のハードウェア］® ［プリンタと**FAX**］の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、［スタート］® ［設定］® ［プリンタ］の順にクリックします。

3. ［**Dell 968 AIO Printer**］のアイコンを右クリックします。
4. ［印刷設定］をクリックします。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。
5. ［メンテナンス］タブをクリックします。
6. ［プリントヘッド調整］をクリックします。
7. ［印刷］をクリックします。

   カートリッジの調整が行われ、調整パターンが印刷されます。

カートリッジノズルの清掃

次のような場合は、カートリッジノズルを清掃する必要があります。

- 画像や黒い塗りの部分に白いすじが入る。
- 印刷が不鮮明または濃すぎる。
- 色あせが起こる、印刷できない、または正しく印刷されない。
- 縦の線がギザギザになる、または滑らかでない。

操作パネルからノズルを清掃するには、以下の手順に従います。

1. 普通紙をセットします。（⇒ 用紙のセット）
2. 下向き矢印ボタン を押して、［メンテナンス］までスクロールします。
3. 設定ボタン を押します。
4. 上下の矢印ボタン を押して、［ノズル清掃］までスクロールします。
5. 設定ボタン を押します。

   テストパターンの印刷が開始されます。

プリンタソフトウェアからノズルを清掃するには、以下の手順に従います。

1. 普通紙をセットします。
2. *Windows Vista*の場合：
   a. ® ［コントロール パネル］の順にクリックします。
   b. ［ハードウェアとサウンド］をクリックします。
   c. ［プリンタ］をクリックします。

   Windows XP の場合は、［スタート］® ［コントロール パネル］® ［プリンタとその他のハードウェア］® ［プリンタと **FAX**］の順にクリックします。

   Windows 2000 の場合は、［スタート］® ［設定］® ［プリンタ］の順にクリックします。

3. ［**Dell 968 AIO Printer**］のアイコンを右クリックします。
4. ［印刷設定］をクリックします。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。
5. ［メンテナンス］タブをクリックします。
6. ［ノズル清掃］をクリックします。

   テストパターンが印刷されます。
7. 引き続き印刷品質が改善されない場合は、［ノズル清掃を繰り返す］をクリックします。
8. 文書をもう一度印刷して、印刷品質が改善されたことを確認します。

それでも印刷品質が改善されない場合は、乾いた清潔な布でノズルを拭き、ドキュメントをもう一度印刷します。

プリンタの表面を清掃する

1. プリンタの電源をオフにし、電源コードを壁のコンセントから抜いたことを確認します。

危険： 感電しないように、作業を始める前に電源コードを壁のコンセントから抜き、プリンタに接続されたすべてのケーブルを抜いてください。

2. 用紙サポートと排紙トレイから用紙を取り除きます。
3. 清潔で柔らかく、糸くずの出ない布を水で湿らせます。

注意： プリンタの表面を傷める可能性がありますので、家庭用洗剤は使用しないでください。

4. 排紙トレイに付着したインクの汚れを拭き取り、プリンタの表面だけを拭いてください。

注意： 湿った布で内部を拭くと、プリンタが破損する可能性があります。清掃に関する正しい手順に従わなかったためにプリンタが破損した場合、保証は適用されません。

5. 新しい印刷ジョブを開始する前に、用紙サポートと排紙トレイが乾いていることを確認してください。

出荷時の設定に戻す

メニューの設定に「*」マークが付いている場合、現在の設定を示しています。プリンタの設定は、「出荷時の設定」と呼ばれる設定に戻すことができます。

1. プリンタの電源がオンになっていることを確認します。
2. 下向き矢印ボタン を押して［メンテナンス］までスクロールし、設定ボタン を押します。
3. 下向き矢印ボタン を押して［初期設定へ戻す］までスクロールし、設定ボタン を押します。
4. ［はい］を選択し、設定ボタン を押します。

   メモ： プリンタにプリントサーバーが取り付けられている場合は、「ネットワーク設定も初期設定に戻しますか？」というメッセージが表示されます。左右の矢印ボタン を使用して、［はい］または［いいえ］のいずれかを選択し、設定ボタン を押します。

/

メモ： 電話番号リスト、日付、時刻、国 地域の設定などは変更されません。

出荷時の言語設定に戻す

プリンタのメニューを使用しなくても、ディスプレイの言語を出荷時の設定に戻すことができます。

メモ： この手順を実行すると、他に選択したすべての設定も出荷時の設定に戻ります。

1. プリンタの電源をオフにします。
2. ［スタート］ボタン と［キャンセル］ボタン を押したままにします。
3. ［スタート］ボタン と［キャンセル］ボタン を押したまま電源ボタン を押してから、電源ボタンを放します。
4. ［初期設定］画面が表示されるまで、2 つのボタンは押したままにしてください。
5. 左右の矢印ボタン を押して、言語と国/地域のオプションを選択します。設定ボタン を押して、設定を保存します。
6. キーパッドを使用して、時刻、日付、発信元 FAX 番号、発信者名を入力します。設定ボタン を押して、設定を保存します。

   最後の設定の終了後、プリンタはヘッドの調整を行います。

印刷

文書を印刷する

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 用紙をセットします。（⇒ 用紙のセット）
3. 文書を開いた状態で［ファイル］® ［印刷］の順にクリックします。

   ［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

4. ［設定］、［プロパティ］、［オプション］、または［セットアップ］をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

5. ［印刷設定］タブと［アドバンス］タブで、必要に応じて文書に変更を加えます。
6. 設定を変更したら、［**OK**］をクリックします。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが閉じます。

7. ［**OK**］または［印刷］をクリックします。

写真を印刷する

メモ： 写真の印刷には、カラーカートリッジとフォトカートリッジの使用をお勧めします。

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 印刷面を下にして用紙をセットします

   メモ： 写真の印刷には、フォトペーパーまたは光沢紙の使用をお勧めします。

3. 文書を開いた状態で［ファイル］® ［印刷］の順にクリックします。

   ［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

4. ［設定］、［プロパティ］、［オプション］、または［セットアップ］をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

5. ［印刷設定］タブで［写真］を選択し、ドロップダウンメニューから写真に適した dpi（ドット/インチ）の値を選択します。

   メモ： フチなし写真を印刷するには、［印刷設定］タブで［フチなし］チェックボックスをオンにして、［アドバンス］タブのドロップダウンメニューからフチなし用紙のサイズを選択します。フチなし印刷を実行できるのは、フォトペーパー/光沢紙を選択した場合のみです。

6. ［印刷設定］タブと［アドバンス］タブで、必要に応じて文書に変更を加えます。

7. 設定を変更したら、［**OK**］をクリックします。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが閉じます。

8. ［**OK**］または［印刷］をクリックします。

9. 印刷された写真が貼り付いたり、汚れたりしないように、プリンタから排出された写真は 1 枚ずつ取り除きます。

メモ： 写真をアルバムや額などにはさむ場合、完全にインクが乾くまで十分に時間をおいてください（環境によって 12 ～ 24 時間かかります）。こうすることで、写真が長持ちします。

封筒に印刷する

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。

2. 印刷面を下に向けて封筒をセットします。

3. 文書を開いた状態で［ファイル］® ［印刷］の順にクリックします。

   ［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

4. ［設定］、［プロパティ］、［オプション］、または［セットアップ］をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

5. ［印刷設定］タブで、印刷方向に［封筒］を選択して、［用紙サイズ］ドロップダウンメニューから封筒のサイズを選択します。

   メモ： 国内で使用する封筒を印刷する場合、切手の位置を右下にして縦向きに印刷することも、切手の位置を左下にして横向きに印刷することもできます。海外向けの封筒を印刷する場合は、切手の位置を左上にして横向きに印刷してください。

6. ［印刷設定］タブと［アドバンス］タブで、必要に応じて文書に変更を加えます。

7. 設定を変更したら、［**OK**］をクリックします。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが閉じます。

8. ［**OK**］または［印刷］をクリックします。

Bluetooth® 対応デバイスから印刷する

- このプリンタは、Bluetooth 仕様 1.2 に準拠しています。プリンタは、Object Push Profile（OPP）および PCL3 印刷の両方をサポートしています。お使いの Bluetooth 対応デバイス（携帯電話や PDA）のメーカー情報を参照して、ハードウェアの互換性および相互運用性を確認してください。Bluetooth 対応デバイスでは、最新のファームウェアを使用することをお勧めします。
- Windows® Mobile/Pocket PC PDA から Microsoft ドキュメントを印刷するには、サードパーティ製ソフトウェアおよびドライバを追加する必要があります。必要なソフトウェアとドライバについての詳細は、PDA のマニュアルを参照してください。
- デル カスタマーサポートにお問い合わせいただく前に、Bluetooth 対応デバイスとの接続のセットアップに関する情報を示したセクションを参照してください。また、support.dell.com からデルサポート Web サイトを参照してください。この Web サイトには最新の資料が掲載されています。Bluetooth 対応デバイスに付属するマニュアルのセットアップ手順に従っていることを確認してください。

プリンタと Bluetooth 対応デバイスとの間の接続をセットアップする

メモ： プリンタは、Bluetooth 接続を使用してコンピュータからファイルを印刷できません。

Bluetooth デバイスから初めて印刷ジョブを送信する場合は、Bluetooth 対応デバイスとプリンタの間の接続をセットアップする必要があります。以下の場合は再度セットアップを行う必要があります。

- プリンタを出荷時の設定にリセットした。 （⇒ 出荷時の設定に戻す）
- Bluetooth セキュリティレベルまたは Bluetooth パスキーを変更した。 （⇒ Bluetooth のセキュリティレベルを設定する）
- 使用している Bluetooth 対応デバイスでは、印刷ジョブを送信するたびに Bluetooth 接続をセットアップする必要があります。Bluetooth 印刷に関する情報については、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。
- Bluetooth デバイスリストの内容を消去した。 （⇒ Bluetooth モード）
- 使用している Bluetooth デバイスの名前は Bluetooth デバイスリストから自動的に削除されます。

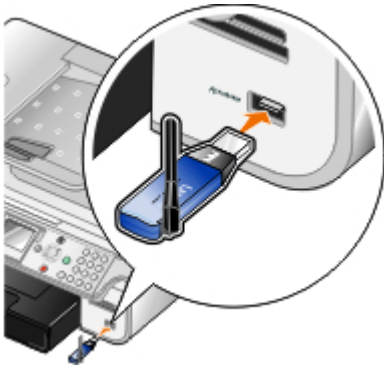
  Bluetooth セキュリティレベルが［高］に設定されている場合、以前に接続をセットアップした Bluetooth デバイスが 8 台までプリンタのリストに保存されます。既に 8 台のデバイスがリストにあり、別の Bluetooth デバイスへの接続をセットアップする必要がある場合は、1 台目のデバイスがリストから自動的に削除され、新しいデバイスを保存できます。削除されたデバイスからプリンタに印刷ジョブを送信できるようにするには、そのデバイスのセットアップを再度行う必要があります。

メモ： プリンタに印刷ジョブを送信するために使用する Bluetooth デバイスのそれぞれについて、接続をセットアップする必要があります。

Bluetooth 対応の外部デバイスとプリンタとの間の接続をセットアップするには、以下の手順に従います。

1. デバイスで Bluetooth を有効にします。

   方法については、デバイスのマニュアルを参照してください。

2. プリンタの電源をオンにします。
3. USB Bluetooth アダプタ（別売）を PictBridge ポートにセットします。

4. 上下の矢印ボタン を押して［セットアップ］までスクロールし、設定ボタン を押します。
5. 上下の矢印ボタン を押して［Bluetooth 設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。
6. ［Bluetooth 有効］から、左右の矢印ボタン を押して［オン］までスクロールします。
7. ［検出モード］から、左右の矢印ボタン を押して［オン］までスクロールします。
8. ［セキュリティ］から、左右の矢印ボタン を押してセキュリティレベルを選択します。

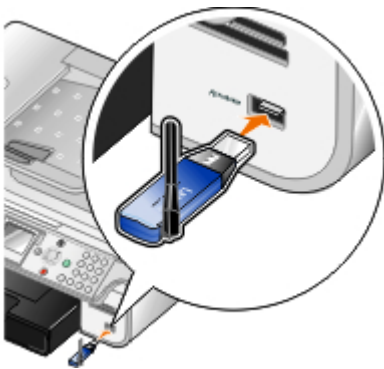
   メモ： セキュリティレベルが［高］に設定されている場合、USB Bluetooth アダプタ用のパスキーを指定します。プリンタに印刷ジョブを送信するには、Bluetooth 対応のすべての外部デバイスでこのパスキーを入力する必要があります。

9. ［戻る］ボタン を押すと、設定が保存されて前のメニューに戻ります。

Bluetooth 対応デバイスから印刷する

1. Bluetooth 対応の外部デバイスがプリンタで印刷できるように設定されていることを確認します。方法については、デバイスのマニュアルを参照してください。

   メモ： 一部のデバイスには、USB Bluetooth アダプタの名前またはアドレスが表示されます。お使いの Bluetooth アダプタの名前とアドレスを確認するには、［**Bluetooth** 設定］メニューにアクセスします。

2. USB Bluetooth アダプタ（別売）を PictBridge ポートにセットします。

   メモ： Bluetooth 印刷の実行中は、Bluetooth 対応デバイスを取り外したり、メモリカードまたは Bluetooth 対応デバイス付近のプリンタの部分に手を触れたりしないでください。データが破損する場合があります。

3. ［**Bluetooth** 有効］および［検出モード］を［オン］に設定します。
   a. メインメニューで、上下の矢印ボタン を押して［セットアップ］までスクロールし、設定ボタン を押します。
   b. 上下の矢印ボタン を押して［Bluetooth 設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。

c. ［Bluetooth 有効］から、左右の矢印ボタン を押して［オン］までスクロールします。

d. 上下の矢印ボタン を押して［検出モード］までスクロールし、左右の矢印ボタン を押して［オン］までスクロールします。

e. ［戻る］ボタン を押します。

4. Bluetooth 対応の外部デバイスから、プリンタに印刷ジョブを送信します。詳細については、デバイスのマニュアルを参照してください。

メモ： セキュリティレベルが［高］に設定されている場合、Bluetooth 対応の外部デバイスでパスキーを入力する必要があります。［**Bluetooth** 設定］メニューから、パスキーを変更したり確認したりすることができます。（⇒ Bluetooth モード）

Bluetooth のセキュリティレベルを設定する

1. プリンタの電源をオンにします。

2. 上下の矢印ボタン を押して［セットアップ］までスクロールし、設定ボタン を押します。

3. 上下の矢印ボタン を押して［Bluetooth 設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。

4. ［Bluetooth 有効］から、左右の矢印ボタン を押して［オン］までスクロールします。

5. 上下の矢印ボタン を押して［セキュリティレベル］までスクロールし、左右の矢印ボタン を押してセキュリティレベルを選択します。

   - パスキーを入力しなくても Bluetooth デバイスを接続でき、印刷ジョブをプリンタに送信できるようにするには、［低］を選択します。
   - プリンタに接続して印刷ジョブを送信する前に、Bluetooth デバイスで 4 桁の数字のパスキーを入力する必要があるようにするには、［高］を選択します。

6. セキュリティレベルを［高］に設定した場合は、下向き矢印ボタン を押して［パスキー］までスクロールします。

   デフォルトのパスキーは「0000」に設定されています。

7. 左向き矢印ボタン を繰り返し押して、デフォルトのパスキーを消去し、キーパッドを使用して 4 桁の新しいパスキーを入力します。

8. ［戻る］ボタン を押して、変更を保存します。

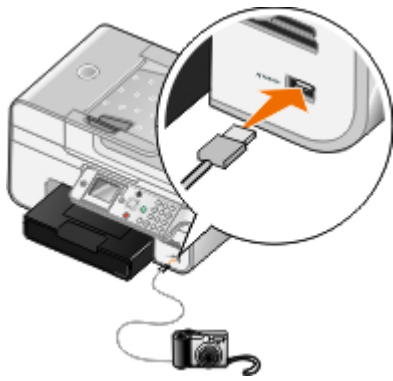
PictBridge 対応のカメラから写真を印刷する

お使いのプリンタは、PictBridge 対応カメラからの印刷をサポートしています。

1. プリンタの電源をオンにします。

2. USB ケーブルの一方の端をカメラに接続します。

3. USB ケーブルのもう一方の端をプリンタ前面の PictBridge ポートに接続します。

   カメラに適した USB の設定および PictBridge 接続の選択と、使用に関する情報については、お使いのカメラに付属する説明書を参照してください。

メモ： プリンタがコンピュータに接続されていない場合に PictBridge 対応のカメラをプリンタに接続すると、プリンタの操作パネルの機能の一部が使用できなくなる場合があります。プリンタから PictBridge 対応のカメラを外すと、これらの機能が使用できるようになります。

4. デジタルカメラの電源をオンにします。

   プリンタは、自動的に **PictBridge** モードになります。

5. 写真の印刷を開始する方法については、カメラの取扱説明書の手順を参照してください。

注意： PictBridge 印刷の実行中は、PictBridge 対応デバイスを取り外したり、メモリカードまたは PictBridge 対応デバイス付近のプリンタの部分に手を触れたりしないでください。データが破損する場合があります。

メモ： デジタルカメラの USB 設定でコンピュータとプリンタ（PTP）モードのどちらかを選択できる場合、PictBridge 印刷用にはプリンタ（PTP）モードを選択します。詳細については、カメラに付属のマニュアルを参照してください。

---

1 枚の用紙に複数のページを印刷する

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 用紙をセットします。（⇒用紙のセット）
3. 文書を開いた状態で［ファイル］® ［印刷］の順にクリックします。
4. ［設定］、［プロパティ］、［オプション］、または［セットアップ］をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

5. ［アドバンス］タブで、［レイアウト］ドロップダウンリストから［割り付け］を選択します。
6. ［ページ数 / 枚］ドロップダウンリストで、1 枚の用紙に印刷するページ数を選択します。
7. ページの間に枠線を印刷する場合は、［ページ枠の印刷］チェックボックスをオンにします。
8. ［印刷設定］タブと［アドバンス］タブで、必要に応じてドキュメントに変更を加えます。
9. 各ページに印刷するページ数を選択します。
10. 設定を変更したら、［**OK**］をクリックします。

    ［印刷設定］ダイアログボックスが閉じます。

11. ［**OK**］または［印刷］をクリックします。

画像を分割する（ポスター）

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 用紙をセットします。（⇒用紙のセット）
3. 文書を開いた状態で［ファイル］® ［印刷］の順にクリックします。
4. ［設定］、［プロパティ］、［オプション］、または［セットアップ］をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。
5. ［アドバンス］タブで、［レイアウト］ドロップダウンリストから［ポスター］を選択します。
6. ポスターのサイズを選択します。
7. ［印刷設定］タブと［アドバンス］タブで、必要に応じてドキュメントに変更を加えます。
8. 設定を変更したら、［**OK**］をクリックします。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが閉じます。
9. ［**OK**］または［印刷］をクリックします。

バナー紙に印刷する

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 用紙をセットします。（⇒用紙のセット）
3. 文書を開いた状態で［ファイル］® ［印刷］の順にクリックします。
4. ［設定］、［プロパティ］、［オプション］、または［セットアップ］をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。
5. ［アドバンス］タブで、［レイアウト］ドロップダウンリストから［バナー］を選択し、［バナー紙のサイズ］ドロップダウンリストから［**US** レター バナー］または［**A4** バナー］を選択します。
6. ［印刷設定］タブと［アドバンス］タブで、必要に応じてドキュメントに変更を加えます。
7. 設定を変更したら、［**OK**］をクリックします。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが閉じます。
8. ［**OK**］または［印刷］をクリックします。

   メモ： 印刷が開始されたら、バナー紙の先端がプリンタから排出されるのを待ち、プリンタの前の用紙を注意して広げます。

文書を部単位で印刷する

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 用紙をセットします。（⇒ 用紙のセット）
3. 文書を開いた状態で［ファイル］® ［印刷］の順にクリックします。

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

4. ［設定］、［プロパティ］、［オプション］、または［セットアップ］をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

5. ［印刷設定］タブで、印刷する部数を指定します。

   メモ：［部単位で印刷］チェックボックスが使用できるようにするには、2 部以上の部数を指定する必要があります。

6. ［部単位で印刷］チェックボックスをオンにします。

7. ［印刷設定］タブと［アドバンス］タブで、必要に応じて文書に変更を加えます。

8. 設定を変更したら、［**OK**］をクリックします。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが閉じます。

9. ［**OK**］または［印刷］をクリックします。

小冊子を印刷する

［印刷設定］の設定を変更する前に、アプリケーションで正しい用紙サイズを選択する必要があります。小冊子を印刷するには、次の用紙サイズを使用できます。

- US レター
- A4

1. 用紙をセットします。（⇒用紙のセット）

2. 文書を開いた状態で［ファイル］® ［印刷］の順にクリックします。

3. ［印刷］ダイアログボックスで、［プロパティ］、［設定］、［オプション］、または［セットアップ］をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります)。

4. ［アドバンス］タブをクリックします。

5. ［レイアウト］ドロップダウンメニューから［小冊子］を選択します。

6. 厚手の小冊子を印刷する場合は、**1** 組の枚数を数字で選択します。

   a. ［オプション］® ［レイアウトオプション］の順にクリックします。

   b. ［**1** 組の枚数］ドロップダウンメニューから、1 組の枚数を選択します。

   メモ：1 組とは、折り返して組み合わせた複数の用紙のまとまりを指します。印刷された用紙の組は、正しいページ順序で 1 枚ずつ重ねます。重ねた組をとじると小冊子になります。厚手の用紙に印刷する場合は、［**1** 組の枚数］で少なめの枚数を指定します。

7. ［**OK**］をクリックして、開いているプリンタソフトウェアのダイアログボックスをすべて閉じます。

8. 文書を印刷します。

メモ：小冊子をとじる方法（⇒小冊子をとじる）

小冊子をとじる

1. 排紙トレイの印刷済みの用紙を裏返します。
2. 重ねた用紙の一部を取り出して半分に折り返し、最初のページを下にして置きます。
3. 次の一部を取り出して半分に折り返し、最初のページを下にして最初の山の上に置きます。

4. 小冊子が出来上がるまで、残りの用紙を最初のページを下にして順に重ねます。
5. 用紙をとじると、小冊子が完成します。

文書を両面に印刷する（両面印刷）

自動両面印刷

自動両面印刷機能を使用すると、用紙の向きを手動で変更しなくても、文書を用紙の両面に印刷できます。以下の点をチェックしてください。

- オプションの両面印刷ユニットを取り付けてある。
- US レターサイズまたは A4 サイズの普通紙をセットしている。封筒、カード用紙、フォトペーパーには両面印刷できません。

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 用紙をセットします。（⇒ 用紙のセット）
3. 文書を開いた状態で［ファイル］® ［印刷］の順にクリックします。
4. ［設定］、［プロパティ］、［オプション］、または［セットアップ］をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。
5. ［アドバンス］タブをクリックし、［両面印刷］チェックボックスをオンにします。
6. ドロップダウンリストから、［自動］を選択します。
7. ページのとじしろを選択します。
8. 設定を変更したら、［**OK**］をクリックします。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが閉じます。
9. ［**OK**］または［印刷］をクリックします。

手動両面印刷

手動両面印刷機能を使用すると、ドキュメントを用紙の両面に印刷できます。プリンタは、ドキュメントの奇数ページを用紙の片側に印刷します。用紙の白いほうを下に向けて再度セットし、ドキュメントの偶数ページを用紙の反対側に印刷します。

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 用紙をセットします。（⇒ 用紙のセット）
3. 文書を開いた状態で［ファイル］® ［印刷］の順にクリックします。
4. ［設定］、［プロパティ］、［オプション］、または［セットアップ］をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。
5. ［アドバンス］タブをクリックし、［両面印刷］チェックボックスをオンにします。
6. ドロップダウンリストから、［手動］を選択します。
7. ページのとじしろを選択します。
8. 設定を変更したら、［**OK**］をクリックします。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが閉じます。
9. ［**OK**］または［印刷］をクリックします。
10. 奇数ページがプリンタからすべて排出されたら、コンピュータの画面に表示される手順に従います。

印刷ジョブをキャンセルする

ローカルコンピュータからのジョブ

USB ケーブル経由でプリンタに接続されているコンピュータから送信された印刷ジョブをキャンセルするには、次の 2 とおりの方法があります。

［プリンタ］フォルダから：

1. *Windows Vista*™ の場合：
   a. ® ［コントロール パネル］の順にクリックします。
   b. ［ハードウェアとサウンド］をクリックします。
   c. ［プリンタ］をクリックします。

   Windows® *XP* の場合は、［スタート］ ® ［設定］® ［コントロール パネル］® ［プリンタとその他のハードウェア］® ［プリンタと **FAX**］の順にクリックします。

   Windows 2000 の場合は、［スタート］ ® ［設定］® ［プリンタ］の順にクリックします。
2. ［**Dell 968 AIO Printer**］のアイコンを右クリックします。
3. ［開く］ をクリックします。
4. 表示される一覧から、中止するジョブを選択します。
5. ［ドキュメント］メニューで［キャンセル］をクリックします。

［印刷の進行状況］ウィンドウから：

［印刷の進行状況］ウィンドウは、印刷ジョブを送信するたびに画面の右下に自動的に表示されます。［印刷中止］をクリックして、現在の印刷ジョブをキャンセルします。

タスクバーから：

1. コンピュータの画面右下またはタスクバーにあるプリンタのアイコン をダブルクリックします。
2. キャンセルする印刷ジョブを右クリックします。
3. ［キャンセル］をクリックします。

Bluetooth 対応デバイスからのジョブ

プリンタから：

- ［キャンセル］ボタン を押して印刷ジョブをキャンセルし、Bluetooth 接続を解除します。
- 電源ボタン を押して印刷ジョブをキャンセルし、Bluetooth 接続を解除して、プリンタの電源をオフにします。

Bluetooth 対応デバイスから：

詳細については、お使いのデバイスに付属するマニュアルを参照してください。

ワイヤレスネットワーク上のコンピュータからのジョブ

1. *Windows Vista*の場合：
   a. ® ［コントロール パネル］の順にクリックします。
   b. ［ハードウェアとサウンド］をクリックします。
   c. ［プリンタ］をクリックします。

   Windows XP の場合は、［スタート］® ［設定］® ［コントロール パネル］® ［プリンタとその他のハードウェア］® ［プリンタと **FAX**］の順にクリックします。

   Windows 2000 の場合は、［スタート］® ［設定］® ［プリンタ］の順にクリックします。
2. ［**Dell 968 AIO Printer**］のアイコンを右クリックします。
3. ［開く］ をクリックします。
4. 表示される一覧から、中止するジョブを選択します。
5. ［ドキュメント］メニューで［キャンセル］をクリックします。

印刷設定のデフォルトを変更する

文書や写真を印刷するために送信する際には、両面印刷、印刷品質、モノクロ印刷などのさまざまな設定を指定することができます。頻繁に使用する設定がある場合は、それをデフォルトに設定して、印刷ジョブを送信するたびに指定する必要がないようにすることができます。

希望する設定をほとんどのプログラムでの標準の印刷設定にするには、［プリンタ］フォルダから［印刷設定］ダイアログボックスを開き

ます。

1. *Windows Vista*の場合：

    a. ® ［コントロール パネル］の順にクリックします。

    b. ［ハードウェアとサウンド］をクリックします。

    c. ［プリンタ］をクリックします。

    Windows XP の場合は、［スタート］® ［設定］® ［コントロール パネル］® ［プリンタとその他のハードウェア］® ［プリンタと **FAX**］の順にクリックします。

    Windows 2000 の場合は、［スタート］® ［設定］® ［プリンタ］の順にクリックします。

2. ［**Dell 968 AIO Printer**］のアイコンを右クリックします。

3. ［印刷設定］を選択します。

4. 設定を変更して、ほとんどのプログラムから印刷する際にデフォルトで使用する設定を作成します。

［印刷設定］タブで、次を設定できます。

- デフォルトの印刷品質を［自動］、［高速］、［標準］、または［高品質］のいずれかに変更します。
- デフォルトの用紙の種類とサイズを変更します。
- モノクロ印刷およびフチなし印刷をデフォルトの設定にします。
- デフォルトの印刷方向を変更します。
- デフォルトの印刷部数を変更します。

［アドバンス］タブで、以下を設定できます。

- 自動両面をデフォルトに設定します。
- 両面印刷ジョブをデフォルトに設定する場合に、乾燥時間を延長します。
- デフォルトに設定するレイアウトを指定します。

［メンテナンス］タブで、以下を設定できます。

［メンテナンス］タブからデフォルトに設定できる印刷設定はありません。ここでは、以下の操作を行うことができます。

- カートリッジの取り付け、清掃、調整を行います。
- テストページを印刷します。
- プリンタをネットワーク上で共有するための情報を取得します。

トラブルシューティング

プリンタが動作しない場合は、プリンタが電源コンセントに接続されていること、またコンピュータを使用する場合はコンピュータに正しく接続されていることを確認します。

詳細なヘルプや、お使いのプリンタのトラブルシューティングに関する最新情報については、http://support.dell.com/support を参照してください。

セットアップに関するトラブル

コンピュータに関するトラブル

プリンタとコンピュータ間に互換性があることを確認します。

このプリンタは、Windows Vista™、Windows® XP、および Windows 2000 のみに対応しています。

Windows ME、Windows 98、Windows 95 はこのプリンタでサポートされていません。

プリンタとコンピュータの両方の電源がオンになっていることを確認します。

USB ケーブルを確認します。

- USB ケーブルがプリンタとコンピュータにしっかりと接続されていることを確認します。
- コンピュータをシャットダウンし、USB ケーブルを『プリンタのセットアップ』図で示されているとおりに再接続して、コンピュータを再起動します。

ソフトウェアのインストール画面が自動的に表示されない場合は、ソフトウェアを手動でインストールします。

1. *Drivers and Utilities* CD をセットします。
2. *Windows Vista* の場合は、® ［コンピュータ］の順にクリックします。

   Windows XP の場合は、［スタート］® ［マイ コンピュータ］の順にクリックします。

   Windows 2000 の場合は、デスクトップで［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックします。
3. **CD-ROM** ドライブのアイコンをダブルクリックし、**setup.exe** をダブルクリックします。
4. プリンタソフトウェアのインストール画面が表示されたら、［**USB** ケーブルを使用する］または［ワイヤレスネットワークを使用する］をクリックします。

5. 画面に表示される手順に従い、インストールを完了します。

プリンタソフトウェアがインストールされているか確認します。

*Windows Vista*の場合：

1. ® ［プログラム］の順にクリックします。
2. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

Windows XP および *Windows 2000* の場合：

［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

プリンタの一覧にお使いのプリンタが表示されていない場合は、プリンタソフトウェアがインストールされていません。その場合はプリンタソフトウェアをインストールします。（⇒ソフトウェアの削除と再インストール）

プリンタとコンピュータ間の通信の問題を修正します。

- プリンタとコンピュータから USB ケーブルを取り外します。USB ケーブルをプリンタとコンピュータに再接続します。
- プリンタの電源をオフにします。プリンタの電源ケーブルをコンセントから抜きます。電源コードをコンセントに差し直し、プリンタの電源をオンにします。
- コンピュータを再起動します。

プリンタを通常使うプリンタに設定します。

1. *Windows Vista* の場合：
   a. ® ［コントロール パネル］の順にクリックします。
   b. ［ハードウェアとサウンド］をクリックします。
   c. ［プリンタ］をクリックします。

   Windows XP の場合は、［スタート］® ［コントロール パネル］® ［プリンタとその他のハードウェア］® ［プリンタと **FAX**］の順にクリックします。

   Windows 2000 の場合は、［スタート］® ［設定］® ［プリンタ］の順にクリックします。
2. ［**Dell 968 AIO Printer**］のアイコンを右クリックします。
3. ［通常使うプリンタに設定］を選択します。

プリンタが動作せず、印刷ジョブが印刷キューに残っています。

お使いのコンピュータにこのプリンタが複数インストールされていないかチェックします。

1. *Windows Vista*の場合：
   a. ® ［コントロール パネル］の順にクリックします。
   b. ［ハードウェアとサウンド］をクリックします。
   c. ［プリンタ］をクリックします。

   Windows XP の場合は、［スタート］® ［コントロール パネル］® ［プリンタとその他のハードウェア］® ［プリンタと **FAX**］の順にクリックします。

   Windows 2000 の場合は、［スタート］® ［設定］® ［プリンタ］の順にクリックします。

2. プリンタオブジェクトが複数あるかどうかチェックします。

3. 各プリンタオブジェクトに印刷ジョブを送信し、有効なプリンタを見つけます。

4. プリンタを通常使うプリンタに設定するには、以下の手順に従います。

   a. ［**Dell 968 AIO Printer**］のアイコンを右クリックします。

   b. ［通常使うプリンタに設定］をクリックします。

5. それ以外のプリンタオブジェクトをそれぞれ右クリックし、［削除］をクリックして、プリンタオブジェクトのコピーを削除します。

［プリンタ］フォルダに同じプリンタが複数インストールされないようにするには、USB ケーブルを差しなおす場合に、最初にプリンタで使用していた USB ポートと同じポートに差してください。また、*Drivers and Utilities* CD からプリンタドライバを 2 回以上インストールしないでください。

プリンタに関するトラブル

プリンタの電源コードがプリンタと電源コンセントにしっかりと接続されていることを確認します。

プリンタが一時停止していないか確認します。

1. *Windows Vista* の場合：

   a. ® ［コントロール パネル］の順にクリックします。

   b. ［ハードウェアとサウンド］をクリックします。

   c. ［プリンタ］をクリックします。

Windows XP の場合は、［スタート］® ［コントロール パネル］® ［プリンタとその他のハードウェア］® ［プリンタと **FAX**］の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、［スタート］® ［設定］® ［プリンタ］の順にクリックします。

2. ［**Dell 968 AIO Printer**］のアイコンを右クリックします。

3. ［一時停止］が選択されていないことを確認します。［一時停止］が選択されている場合は、クリックしてオプションをオフにします。

プリンタのランプが点滅しているか確認します

(⇒エラーメッセージ)

カートリッジが正しく取り付けられていて、各カートリッジからシールと保護テープが取り外されていることを確認します。

用紙が正しくセットされていることを確認します。

(⇒用紙のセット)

プリンタが **PictBridge** 対応のカメラに接続されていないことを確認します。

(⇒ PictBridge 対応のカメラから写真を印刷する)

エラーメッセージ

詳細なヘルプや、お使いのプリンタのトラブルシューティングに関する最新情報については、http://support.dell.com/support を参照してください。

エラーメッセージ	エラーの説明	解決方法
FAX モード FAX エラーを回復できません	重大なエラーのため、FAX モードを使用できません。	カスタマーサポートに連絡します。詳細については、support.dell.com を参照してください。
FAX モード FAX モードは利用できません	［自動 **FAX** 変換］オプションがオフになっていて、受信側の FAX 機器がカラーまたは送信した FAX の解像度に対応していません。	［自動 **FAX** 変換］をオンにします。 1. メインメニューで、上下の矢印ボタン を押して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。 2. 下向き矢印ボタン を押して［詳細設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。 3. 上下の矢印ボタン を押して［ダイヤルと送信］までスクロールし、設定ボタン を押します。 4. 上下の矢印ボタン を押して［自動 FAX 変換］までスクロールし、左右の矢印ボタン を押して［オン］までスクロールします。 5. ［戻る］ボタン を押します。
FAX モード デジタル回線を検出しました。アナログ回線に接続してください。	プリンタが DSL 回線に接続されています。プリンタはアナログ信号を使用して FAX を送信します。	DSL フィルタを取り付けてから、プリンタを電話回線に接続してください。（⇒ プリンタに外部デバイスをセットアップする）
FAX モード メモリがいっぱいです。ダイヤル後、スキャンしてください	FAX を同報送信しようとして、プリンタのメモリ容量を超えました。現在の設定では送信できません。	スキャンの設定を［ダイヤル後］に変更して、メモリの使用量を少なくしてください。（⇒ ［ダイヤルと送信］メニュー）
FAX モード 接続に失敗しました または 応答なし	受信側の FAX 機器に接続できませんでした。	入力した番号が FAX で使用されているものであることを確認してください。 後で FAX を送信しなおしてください。
FAX モード 電話回線エラー	ダイヤルトーンを検出できなかったか、オンフックで番号を入力する前にタイムアウトしました。	FAX の接続をチェックします。（⇒ プリンタに外部デバイスをセットアップする）
PictBridge 通信エラー カメラを接続しなおしてください。		1. プリンタの PictBridge ポートから USB ケーブルを抜きます。 2. カメラの電源をオフにしてから、再度オンにします。 3. USB ケーブルをプリンタの前面にある PictBridge ポートに接続しなおします。
インクが残り少なくなっています 文書はメモリに保存されています。印刷するにはカートリッジを交換してください。	印刷ジョブを完了するために必要なインクがありません。	カートリッジを交換して、新しいカートリッジを調整します。プリンタは残りのページの印刷を続行します。
インクが残り少なくなりました	カートリッジのインクがなくなりかけています。「インクが残り少なくなりました」エラーは、カートリッジのインク残量が	カートリッジを交換してください。（⇒ カートリッジの交換）

	25%、15%、10% に達すると表示されます。	
カートリッジがありません カラーカートリッジがありません。 グレースケールで印刷するには を押してください		カラーカートリッジを右のホルダーに取り付けます。 (⇒ カートリッジの交換)
カートリッジがありません ブラックカートリッジがありません。 合成の黒で印刷するには を押してください		ブラックカートリッジまたはフォトカートリッジを左のホルダーに取り付けます。 (⇒ カートリッジの交換)
カートリッジエラー FAX を印刷できません。正しいカートリッジを取り付けてください。	1 つまたは複数のカートリッジが間違ったホルダーに取り付けられています。	ブラックまたはフォトカートリッジは左のホルダーに、カラーカートリッジは右のホルダーにセットしてください。 (⇒ カートリッジの交換)
カートリッジエラー フォトカートリッジのみ取り付けられています。カラーまたはブラックカートリッジを取り付けてください。 を押して画面を閉じる	フォトカートリッジのみが取り付けられています。	ブラックカートリッジを左のホルダーに、カラーカートリッジを右のホルダーにセットしてください。 (⇒ カートリッジの交換)
カートリッジエラー 左カートリッジが違います。カートリッジを交換してください。 または 右カートリッジが違います。カートリッジを交換してください。 または カートリッジの取り付け位置が違います。カートリッジを取り付けなおしてください。	1 つまたは複数のカートリッジが間違ったホルダーに取り付けられています。	ブラックまたはフォトカートリッジは左のホルダーに、カラーカートリッジは右のホルダーにセットしてください。 (⇒ カートリッジの交換)
カートリッジエラー 取扱説明書を参照	カートリッジの重大なエラーが見つかりました。	カートリッジを取り外して、プリンタの電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを差しなおしてプリンタの電源をオンにし、カートリッジを再度取り付けます。 (⇒ カートリッジの交換) エラーメッセージが再度表示される場合は、カスタマーサポートに問い合わせてください。詳細については、support.dell.com を参照してください。
給紙トレイがありません 給紙トレイをセットして を押してください。	印刷中に用紙トレイを取り外しました。	用紙トレイをセットして、設定ボタン を押します。
サイズエラー カメラまたはプリンタで用紙または写真サイズを変更してください	写真のサイズがセットされている用紙のサイズを超えています。	• 用紙のサイズより小さい写真サイズを選択します。 • 写真のサイズより大きい用紙サイズを選択します。フチなし写真を印刷する場合は、写真のサイズと同じサイズの用紙を選択してください。
スキャンエラー スキャンエラーを回復できません	スキャン補正を正しく実行できませんでした。	設定ボタン を押して、プリンタを再起動します。 エラーメッセージが再度表示される場合は、カスタマーサポートに問い合わせてください。詳細については、support.dell.com

を押して次へ進む		を参照してください。
スキャンモード 入力した PIN は無効です。 正しい PIN を入力するか、を押して他のコンピュータを選択してください。	画像を取り込もうとしているコンピュータでは、接続のために PIN が必要です。入力した PIN は、コンピュータで設定されたものと一致しません。	ネットワークコンピュータの管理者に連絡してください。
セレクトシートエラー コンピュータでメモリカードの何枚かの写真が削除されています。	セレクトシートをスキャンする前に、セレクトシートで選択した写真の一部がコンピュータによりメモリカードから削除されました。	コンピュータを使用して、写真をメモリカードに戻し、セレクトシートをもう一度スキャンしてください。詳細については、カメラに付属のマニュアルを参照してください。
セレクトシートエラー セレクトシートを読み取れません。	プリンタはセレクトシートをスキャンできませんでした。	セレクトシートを再印刷して、もう一度スキャンしてください。
セレクトシートエラー セレクトシート情報が見つかりません。	メモリカードまたは USB キーを取り外したか、プリンタの電源をオフにしました。セレクトシートの情報は無効になりました。	［キャンセル］ボタン を押して［セレクトシート］メニューに戻り、別のセレクトシートを印刷します。（⇒ セレクトシートを使用して写真を印刷する）
セレクトシートエラー 写真/用紙サイズが選択されていません。	プリンタは写真/用紙サイズの選択を検出できませんでした。	写真/用紙サイズの丸を完全に塗りつぶして選択し、もう一度スキャンしてください。
セレクトシートエラー 写真が選択されていません。	スキャンしたセレクトシートで画像が選択されていません。	セレクトシートで画像を選択して、もう一度スキャンしてください。
セレクトシートエラー 写真修整は 1 つのオプションのみ選択してください。 または 複数の写真サイズと用紙サイズが選択されています。写真サイズと用紙サイズは 1 つしか選択できません。	1 つのカテゴリで複数の項目が選択されています。	セレクトシートを再印刷して、もう一度スキャンしてください。
トレイ # 用紙切れ 用紙をセットして を押してください。	表示された用紙トレイに用紙がありません。オプションの給紙トレイをセットしていて、両方のトレイに用紙をセットしている場合は、トレイのリンクが有効ではありません。	用紙をセットして、設定ボタン を押します。 トレイが 2 つある場合は、トレイのリンクを有効にします。（⇒ トレイのリンクについて）
ハードウェアエラー:[XXXX]。取扱説明書を参照してください。	液晶画面に「ハードウェアエラー」と 4 桁の番号が表示された場合、重大なエラーが発生しています。	カスタマーサポートに連絡します。詳細については、support.dell.com を参照してください。
ファイル印刷エラー 印刷するためのアプリケーションが見つかりませんでし	選択したファイルの印刷に使用するアプリケーションが見つかりません。	Microsoft Office ドキュメントの印刷に必要なアプリケーションがコンピュータにインストールされていることを確認してください。

た。		
ファイル印刷エラー 記憶装置からファイルを読み込めません。	メモリカードまたは USB キーからファイルを読み込めませんでした。	メモリカードまたは USB キーが破損していないことを確認します。
ファイル印刷モード メモリデバイスには文書ファイルはありません	サポートされるファイルの種類の文書が USB キーにありませんでした。	メモリカードまたは USB キーに、ファイル名の拡張子が *.DOC、*.XLS、*.PPT、*.PDF、*.RTF、*.DOCX、*.XLSX、*.PPTX、*.WPS、または *.WPD のファイルが含まれていることを確認します。
• ブラックインクが残り少なくなりました。消耗品の注文は www.dell.com/supplies • カラーインクが残り少なくなりました。消耗品の注文は www.dell.com/supplies • フォトインクが残り少なくなりました。消耗品の注文は www.dell.com/supplies • ブラックとカラーインクが残り少なくなりました。消耗品の注文は www.dell.com/supplies • フォトとカラーインクが残り少なくなりました。消耗品の注文は www.dell.com/supplies	カートリッジのインク残量が 5% を切りました。	カートリッジを交換してください。（⇒ カートリッジの交換）
複数カードのセットエラー	複数のメモリカードまたは USB キーがセットされたままでプリンタの電源をオンにしました。	メモリカードをすべて取り外してから、設定ボタン を押します。
プリントヘッド調整 調整エラー。 テープがはがされているか調べる、ノズル清掃を実行する、または取扱説明書を参照。 を押してもう一度実行します。	カートリッジを取り付ける前に、カートリッジから保護テープが取り除かれていません。	カートリッジから保護テープを取り除きます。（⇒ カートリッジの交換）
ホルダー停止 ホルダーの動きをさまたげているものを取り除き を押してください。	プリンタのプリントヘッドキャリアが停止しています。	つまっているものを取り除いて、設定ボタン を押します。
無効なデバイス 接続した Bluetooth デバイスには対応していません。デバイスを取り外し、取扱説明書を参照してください。		USB Bluetooth アダプタを PictBridge ポートに接続します。
無効なデバイス 接続した PictBridge デバイスまたは大容量ストレージデバイスには対応していません。デバイスを取り外し、取扱説明書を参照してください。		PictBridge 対応のカメラまたは USB キーを PictBridge ポートに接続します。
無効なデバイス		使用しようとしている USB デバイスがプリンタでサポートされていることを確認し

接続した USB デバイスには対応していません。デバイスを取り外し、取扱説明書を参照してください。		てください。（⇒ メモリカードまたは USB キーから印刷する）
メモリ不足。 複数ページの印刷を完了できません。 を押す。	プリンタには、ADF にセットされているすべての原稿をスキャンするために十分なメモリがありません。	設定ボタン を押すと、スキャンしたページが印刷されます。スキャンされていない原稿を再セットして、コピーを作成してください。
用紙が違います	トレイのリンクが有効で、用紙の種類が［自動］または［自動検出］に設定されていますが、セットされている用紙は普通紙ではありません。	設定ボタン を押すと、印刷を続行します。または、［キャンセル］ボタン を押して、普通紙をセットします。
用紙が違います FAX を受信しました。FAX を印刷するには、給紙トレイ X に用紙をセットしてサイズを選択してください。	選択した用紙サイズまたは種類では FAX を印刷できません。	1. 表示された用紙トレイにレターまたは A4 サイズの普通紙をセットします。 2. 一致する用紙サイズをハイライト表示し、設定ボタン を押すと、FAX が印刷されます。
用紙が違います このモードでは用紙サイズが無効です。用紙を選択して設定を更新してください。	選択した用紙サイズでは写真を印刷できません。。	設定ボタン を押して、別の用紙サイズを選択します。
用紙のサイズ/種類 両面印刷ではレターまたは A4 サイズの普通紙が必要です。	トレイ内の用紙の種類またはサイズでは、両面印刷を実行できません。	用紙トレイにレターまたは A4 サイズの普通紙をセットし、印刷しなおします。
用紙の種類は無効です FAX はメモリにあります。 普通紙をセットして を押してください。	プリンタが FAX を受信しましたが、給紙トレイに普通紙がセットされていません。	給紙トレイに普通紙をセットしてから、設定ボタン を押します。
用紙の種類は無効です FAX を受信しました。用紙をセットし、サイズを選択して印刷。	FAX を受信しましたが、セットされている用紙はサポートされていません。	レターサイズ、リーガルサイズ、または A4 サイズの普通紙を給紙トレイにセットして、用紙サイズを選択します。
用紙セットエラー ADF に原稿をセットして を押してください。	スキャンする前に ADF から原稿が取り除かれました。	ADF に原稿をセットして、設定ボタン を押します。

紙づまりと給紙不良の予防

ほとんどの場合、以下のガイドラインに従うことで紙づまりと給紙不良を防ぐことができます。

- プリンタの用紙に関するガイドラインに準拠した用紙を使用します。（⇒用紙のセット）
- 給紙トレイに用紙が正しくセットされていることを確認します。
- 定められた枚数以上の用紙を給紙トレイにセットしないでください。

- 印刷中にトレイから用紙を取り出さないでください。
- 用紙をよくさばき、まとめてからセットしてください。
- 濡れたり、曲がったり、折れ目のある用紙を使用しないでください。
- プリンタの説明に従って用紙の方向を決めてください。

用紙に関するトラブル

用紙が正しくセットされていることを確認します。

（⇒ 用紙のセット）

プリンタに推奨されている用紙のみを使用します。

（⇒ 印刷用紙のガイドライン）

複数のページを印刷するときは、用紙を少なめにセットして使用します。

（⇒ 印刷用紙のガイドライン）

用紙が折れ曲がったり、破れたりしていないことを確認します。

紙づまりがないか確認します。

給紙トレイ付近で紙づまりがある場合、以下の手順に従います。

1. 用紙トレイを取り外します。

2. 用紙をしっかりと持って引き出し、取り除きます。
3. 用紙トレイを取り付けます。

4. 設定ボタン を押します。

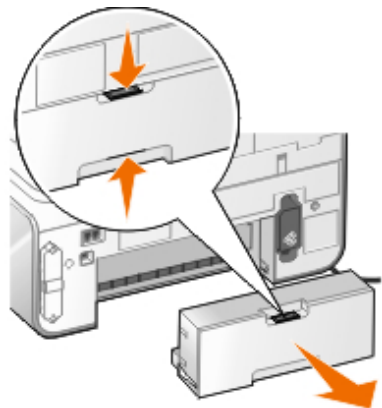
5. 印刷ジョブを再送信して、残りのページを印刷します。

紙づまりが外から見えない場合、以下の手順に従います。

1. プリンタの電源をオフにします。
2. スキャナベースユニットを持ち上げます。

3. 用紙をしっかり持ち、静かにプリンタから引き出します。
4. スキャナベースユニットを閉じます。
5. プリンタの電源をオンにし、ドキュメントをもう一度印刷します。

両面印刷ユニットまたは背面アクセスドア付近に紙づまりがある場合、以下の手順に従います。

1. 両面印刷ユニットがある場合は取り外します。

2. 背面アクセスドアを開きます。
3. 用紙をしっかり持ち、静かにプリンタから引き出します。
4. 背面アクセスドアを閉じます。
5. 両面印刷ユニットを取り付けなおします。
6. 設定ボタン を押すと、印刷を続行します。

ADF 付近で紙づまりがある場合、以下の手順に従います。

1. ADF 給紙トレイの左側にある ADF カバーを持ち上げます。

2. 用紙をしっかり持ち、静かにプリンタから引き出します。

3. ADF のカバーを閉じます。

4. 設定ボタン を押します。

5. 印刷ジョブを再送信して、残りのページを印刷します。

印刷に関するトラブル

インク残量をチェックして、必要に応じて新しいプリントカートリッジと交換します。

（⇒カートリッジの交換）

排紙トレイから 1 枚ずつ用紙を取り除きます。

以下の種類の用紙を使用している場合に用紙が汚れないようにするには、プリンタから排出された用紙は 1 枚ずつ取り除いて乾かします。

- フォトペーパー
- 光沢紙
- OHP フィルム
- ラベル用紙
- 封筒
- アイロンプリント紙

両面印刷ジョブで乾燥時間を延長する

両面印刷ジョブでページ下部がインクで汚れる場合、印刷面のインクが乾くまで待機してから、用紙をプリンタに戻して裏面が印刷されるまでの時間を延長します。

メモ： この機能をオンにすると、両面印刷ジョブが完了するまでの時間が少し長くなります。

この機能をすべての両面印刷ジョブのデフォルトに設定するには、以下の手順に従います。

1. *Windows Vista* の場合：

   a. ® ［コントロール パネル］の順にクリックします。

   b. ［ハードウェアとサウンド］をクリックします。

   c. ［プリンタ］をクリックします。

   Windows XP の場合は、［スタート］® ［コントロール パネル］® ［プリンタとその他のハードウェア］® ［プリンタと **FAX**］の順にクリックします。

   Windows 2000 の場合は、［スタート］® ［設定］® ［プリンタ］の順にクリックします。

2. ［**Dell 968 AIO Printer**］のアイコンを右クリックします。
3. ［印刷設定］を選択します。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

4. ［詳細設定］タブをクリックします。
5. ［両面印刷］領域で［乾燥時間の延長］を選択します。
6. ［**OK**］をクリックします。

この機能を現在の両面印刷ジョブのみに適用するには、以下の手順に従います。

1. 文書を開いた状態で［ファイル］® ［印刷］の順にクリックします。

   ［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

2. ［設定］、［プロパティ］、［オプション］、または［セットアップ］をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

3. ［詳細設定］タブをクリックします。
4. ［両面印刷］領域で［乾燥時間の延長］を選択します。
5. ［**OK**］をクリックします。

印刷速度が遅い場合、コンピュータで使用できるメモリリソースを増やす

- 使用していないアプリケーションをすべて閉じます。
- ドキュメント内のグラフィックや画像の枚数とサイズをできるだけ少なくします。
- メモリ（RAM）の増設を検討します。
- ほとんど使用しないフォントをシステムから削除します。
- プリンタソフトウェアをアンインストールしてから、再インストールします。 （⇒ソフトウェアの削除と再インストール）
- ［印刷設定］ダイアログボックスで低めの印刷品質を選択します。

用紙が正しくセットされていることを確認します。

（⇒用紙のセット）

コピーに関するトラブル

プリンタのランプが点滅していたり、エラーメッセージが表示されていないか確認します。

（⇒エラーメッセージ）

原稿台が汚れていないことを確認します。

原稿台とその横の細いガラス面を、清潔で柔らかい布を水で湿らせて静かに拭きます。

雑誌や新聞から取り込んだ画像のモアレを取り除きます。

1. *Windows Vista*の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

   Windows XP または *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

2. ［**Dell AIO** ナビ］を選択します。

   Dell AIO ナビが起動します。

3. ［コピー設定を表示］をクリックして、［アドバンス］をクリックします。

   ［コピー設定の詳細］ダイアログボックスが表示されます。

4. ［パターン補正］タブで、［モアレを除去する］を選択してから、［**OK**］をクリックします。

5. ［コピー］をクリックします。

文書や写真が原稿台または自動原稿フィーダーに正しくセットされていることを確認します。

（⇒原稿をセットする）

用紙サイズを確認します。

使用している用紙のサイズが、操作パネルまたは **Dell AIO** ナビで選択したサイズと同じであることを確認します。

スキャンに関するトラブル

プリンタのランプが点滅していたり、エラーメッセージが表示されていないか確認します。

（⇒ エラーメッセージ）

USB ケーブルを確認します。

- USB ケーブルがプリンタとコンピュータにしっかりと接続されていることを確認します。
- コンピュータをシャットダウンし、USB ケーブルを『プリンタのセットアップ』図で示されているとおりに再接続して、コンピュータを再起動します。

プリンタソフトウェアがインストールされているか確認します。

*Windows Vista*の場合：

1. ® ［プログラム］の順にクリックします。
2. ［**Dell プリンタ**］をクリックします。

Windows XP または *Windows 2000* の場合：

［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell プリンタ**］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

プリンタの一覧にお使いのプリンタが表示されていない場合は、プリンタソフトウェアがインストールされていません。その場合はプリンタソフトウェアをインストールします。（⇒ ソフトウェアの削除と再インストール）

プリンタとコンピュータ間の通信の問題を修正します。

- プリンタとコンピュータから USB ケーブルを取り外してから、再度接続します。
- プリンタの電源をオフにします。プリンタの電源ケーブルをコンセントから抜きます。電源コードをコンセントに差し直し、プリンタの電源をオンにします。
- コンピュータを再起動します。

スキャンに時間がかかる場合や、コンピュータが停止してしまう場合は、スキャン解像度を低めの値に変更します。

1. *Windows Vista*の場合：
   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。
   b. ［**Dell プリンタ**］をクリックします。
   c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

   Windows XP および *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell プリンタ**］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。
2. ［**Dell AIO ナビ**］を選択します。

   Dell AIO ナビが起動します。
3. ［スキャン設定を表示］をクリックします。
4. ［スキャン解像度の選択］メニューから、低めのスキャン解像度を選択します。
5. ［スキャン］をクリックします。

スキャンした画像の画質が悪い場合は、スキャン解像度を高めの値に変更します。

1. *Windows Vista*の場合：
   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

b. ［**Dell プリンタ**］をクリックします。

c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

Windows XP および *Windows 2000* の場合：

［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell プリンタ**］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

2. ［**Dell AIO ナビ**］を選択します。

Dell AIO ナビが起動します。

3. ［スキャン設定を表示］をクリックします。

4. ［スキャン解像度の選択］メニューから、高めのスキャン解像度を選択します。

5. ［スキャン］をクリックします。

雑誌や新聞から取り込んだ画像のモアレを取り除きます。

1. *Windows Vista*の場合：

a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

b. ［**Dell プリンタ**］をクリックします。

c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

Windows XP および *Windows 2000* の場合：

［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell プリンタ**］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

2. ［**Dell AIO ナビ**］を選択します。

Dell AIO ナビが起動します。

3. ［スキャン設定を表示］をクリックして、［アドバンス］をクリックします。

［スキャン設定の詳細］ダイアログボックスが表示されます。

4. ［パターン補正］タブで、［モアレを除去する］を選択してから、［**OK**］をクリックします。

5. ［スキャン］をクリックします。

アプリケーションへの取り込みに失敗した場合、別のアプリケーションを選択します。

操作パネルを使用する

1. メインメニューで、上下の矢印ボタン を押して［スキャン］までスクロールし、設定ボタン を押します。

2. ［スキャン先］から、左右の矢印ボタン を押して、別のアプリケーションを選択します。

コンピュータを使用する

1. *Windows Vista*の場合：

a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

b. ［**Dell プリンタ**］をクリックします。

c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

Windows XP および *Windows 2000* の場合：

［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

2. ［**Dell AIO** ナビ］を選択します。

Dell AIO ナビが起動します。

3. ［画像の取り込み先］ドロップダウンメニューから、別のアプリケーションを選択します。

メモ： 使用するアプリケーションがリストに表示されない場合は、ドロップダウンメニューから［その他を検索］を選択します。次の画面が表示されたら、［追加］をクリックして使用するアプリケーションを検索し、リストに追加します。

ドキュメントや写真が原稿台または **ADF** に正しくセットされていることを確認します。

（⇒ 原稿をセットする）

原稿台が汚れていないことを確認します。

原稿台とその横の細いガラス面を、清潔で柔らかい布を水で湿らせて静かに拭きます。

FAX に関するトラブル

プリンタとコンピュータの両方の電源がオンになっていて、**USB** ケーブルが正しく接続されていることを確認します。

プリンタが使用可能なアナログ電話回線に接続されていることを確認します。

- DSL ブロードバンドサービスを使用している場合は、電話線に DSL フィルタが取り付けられていることを確認します。詳細については、インターネットサービスプロバイダに問い合わせてください。
- コンピュータのモデムを使用して FAX を送信する際には、コンピュータがダイアルアップモデムによってインターネットに接続していないことを確認します。

外部モデムを使用する場合は、モデムの電源がオンになっていて、コンピュータに正しく接続されていることを確認します。

プリンタのメモリがいっぱいの場合は、通信管理レポートを印刷し、未送信のページを再送信します。

カラーページを送信する場合は、原稿をダイヤル後にスキャンするように設定します。

1. メインメニューで、上下の矢印ボタン を押して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。
2. 下向き矢印ボタン を押して［詳細設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。
3. 上下の矢印ボタン を押して［ダイヤルと送信］までスクロールし、設定ボタン を押します。
4. 上下の矢印ボタン を押して［スキャン］までスクロールし、左右の矢印ボタン を押して［ダイヤル後］までスクロールします。
5. ［戻る］ボタン を押して、変更を保存します。

メモ： この設定は、その後のすべての FAX ジョブに適用されます。

番号通知を使用できない場合は、正しい通知形式を選択していることを確認します。

発信者番号の検出形式は、セットアップ時に選択した国/地域によって決まります。2 種類の検出形式が使用されている場合は、ご利用の電話会社に連絡して、使用されている形式を確認してください。

1. メインメニューで、上下の矢印ボタンを押して［FAX］までスクロールし、設定ボタンを押します。
2. 下向き矢印ボタンを押して［詳細設定］までスクロールし、設定ボタンを押します。
3. 上下の矢印ボタンを押して［着信音と受信］までスクロールし、設定ボタンを押します。
4. 下向き矢印ボタンを押して［通知形式］までスクロールし、左右の矢印ボタンを押して、オプションを選択します。
   - 検出形式として FSK（周波数シフトキーイング）が使用されている場合は、［形式 1］を選択します。
   - 検出形式として DTMF（二重トーン多重周波数）が使用されている場合は、［形式 2］を選択します。
5. ［戻る］ボタンを押します。

送信 **FAX** の品質を［ウルトラファイン］に設定します。

1. メインメニューで、上下の矢印ボタンを押して［FAX］までスクロールし、設定ボタンを押します。
2. 上下の矢印ボタンを押して［送信設定］までスクロールし、設定ボタンを押します。
3. 上下の矢印ボタンを押して［品質］までスクロールし、左右の矢印ボタンを押して［ウルトラファイン］までスクロールします。
4. ［戻る］ボタンを押します。

受信された FAX の品質が改善されない場合は、受信側の FAX 機器の品質が限られている可能性があります。プリンタで設定を変更しても、受信側の FAX の品質には影響しません。

ネットワークに関するトラブル

電源を確認する

プリンタの電源ランプが点灯していることを確認します。

ケーブルをチェックする

- 電源ケーブルがプリンタと電源コンセントにしっかりと接続されていることを確認します。
- USB ケーブルが接続されていないことを確認します。

使用しているネットワーク接続を確認します。

プリンタが使用可能なネットワーク接続に接続されていることを確認します。

コンピュータを再起動する

コンピュータをシャットダウンし、再起動します。

プリントサーバーを取り外して、取り付けなおす

1. プリンタの電源をオフにしてから、電源コードを壁のコンセントから抜きます。
2. プリントサーバーの両側のつまみを持って、引き出して取り外します。アンテナには手を触れないでください。 (⇒ プリントサーバーの取り外しと再取り付け)
3. 取り付けガイドの手順に従い、プリントサーバーを取り付けなおします。 (⇒ プリントサーバーを取り付ける)

セットアップおよび使用方法については、ネットワークアダプタのマニュアルを参照してください。

メモリカードに関するトラブル

使用しているメモリカードの種類がプリンタで使用できるものであることを確認します。

(⇒メモリカードまたは USB キーから印刷する)

メモリカードは一度に **1** 枚だけセットしてください。

メモリカードは奥までしっかり差し込んでください。

メモリカードがスロットに正しくセットされていない場合、プリンタはカードの内容を読み取ることができません。

メモリカード内の画像を印刷する場合、画像のファイル形式がプリンタでサポートされていることを確認してください。

メモリカードから直接印刷できるのは、JPEG 形式または特定の TIFF 形式の画像だけです。デジタルカメラで直接作成された TIFF 形式のファイルで、アプリケーションで変更されていない場合にのみサポートされます。別の形式でメモリカードに保存されている写真を印刷するには、印刷する前に写真をコンピュータに転送する必要があります。

プリンタが **PictBridge** 対応のカメラに接続されていないことを確認します。

(⇒PictBridge 対応のカメラから写真を印刷する)

印刷品質の改善

文書の印刷品質が不十分な場合は、次のような方法で印刷品質を改善することができます。

- 適切な用紙を使用します。たとえば、フォトカートリッジで写真を印刷する場合は、Dell™ プレミアムフォトペーパーを使用します。
- 印刷品質を高く設定します。

印刷品質を高く選択するには、以下の手順に従います。

1. 文書を開いた状態で［ファイル］® ［印刷］の順にクリックします。

   ［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

2. ［設定］、［プロパティ］、［オプション］、または［セットアップ］をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

3. ［印刷設定］タブで高品質の設定を選択します。
4. 文書をもう一度印刷します。
5. 印刷品質が改善されない場合は、カートリッジの調整またはノズル清掃を行います。 (⇒ヘッド調整 および カートリッジノズルの清

掃)

その他の解決方法を参照するには、http://support.dell.com/support にアクセスしてください。

印刷用紙の選択とセット方法に関する一般的なガイドライン

- 濡れたり、曲がったり、しわがある用紙や、破れている用紙に印刷すると、紙づまりや印刷品質の低下の原因となります。
- 印刷品質を高めるには、高品質のコピー用紙を使用してください。
- エンボス文字や目打ちのある用紙や、表面仕上げに極端に光沢やざらつきがある用紙を使用しないでください。紙づまりの原因となります。
- 用紙は使用するまでパッケージから取り出さないでください。パッケージは床に直接置かずに、引き出しや棚に収納してください。
- 用紙やパッケージの上に重い物を乗せないでください。
- 用紙がしわになったり曲がったりする可能性がありますので、湿気の多い場所などに置かないでください。
- 未使用の用紙は、気温が 15 ～ 30 ℃（59°～ 86°F）で、相対湿度が 10 ～ 70% の場所に保管してください。
- 保管時は、プラスティック製のコンテナまたは袋などの湿気を通さないパッケージを使用して、ほこりや湿気で用紙が痛まないようにしてください。

メモリカードまたは USB キーから印刷する

ほとんどのデジタルカメラでは、写真の保存にメモリカードを使用します。このプリンタは、以下のデジタルメディアをサポートしています。

- コンパクトフラッシュ Type I / II
- メモリースティック
- メモリースティック PRO
- メモリースティック Duo （アダプタ付）
- miniSD カード（アダプタ付）
- マイクロドライブ
- SD メモリーカード
- SDHC メモリーカード
- MMC（マルチメディアカード）
- xD-ピクチャーカード

メモリカードは、ラベルを上にして挿入します。カードリーダーには、これらのメディアをセットするための 2 つのスロットと、カードの読み込み時とデータ転送時に点滅する小さなランプがあります。

注意： メモリカードまたは USB キーにデータを読み書きしているときや、印刷の実行中は、これらのメディアを取り外したり、メモリカードまたは USB キー付近のプリンタの部分に手を触れないでください。データが破損する場合があります。

PictBridge に使用しているコネクタは、USB フラッシュメモリに保存されている情報へのアクセスにも使用できます。メモリカードまたは USB キーを挿入すると、プリンタは自動的に写真モードに切り替わります。

 メモ： 複数のメモリカードまたは USB キーを同時に挿入しないでください。

 メモ： プリンタでサポートされるデータ形式は FAT32 です。NTFS で保存されたファイルは、FAT32 データ形式に変換する必要があります。

写真を印刷する

写真を表示または印刷する

1. メモリカードまたは USB キーをセットします。

   プリンタが自動的に写真プリントモードに切り替わります。

2. 設定ボタン を押して、［メモリカードモード］メニューにアクセスします。

3. ［写真の表示と印刷］で、設定ボタン を押します。

4. 左右の矢印ボタン を押して、メモリカードまたは USB キーの写真をスクロールします。

5. 設定ボタン を押して、印刷する写真を選択します。

6. 上下の矢印ボタン を押して、部数を指定します。

   印刷する各写真について、手順 5 と 6 を繰り返します。

7. ［スタート］ボタン を押して、設定をプレビューします。

   ［印刷プレビュー］メニューが表示されます。

8. 左右の矢印ボタン を押して、印刷する写真のサムネイルプレビューをスクロールします。

   印刷設定を変更するには、以下の手順に従います。

   a. ［メニュー］ボタン を押して、［写真印刷の設定］メニューを開きます。

   b. 設定を変更したら、［戻る］ボタン を押して、［印刷プレビュー］メニューに戻ります。

9. ［スタート］ボタン を押して、写真を印刷します。

メモ： メモリカードまたは USB キーから直接印刷できるのは、JPG 形式または特定の TIFF 形式の写真だけです。別の形式でメモリカードまたは USB キーに保存されている写真を印刷するには、印刷する前に写真をコンピュータに転送する必要があります。

写真をコンピュータに保存する

1. メモリカードまたは USB キーをセットします。プリンタが自動的に［写真］モードに切り替わります。

2. 上下の矢印ボタン を使用して［コンピュータに保存］までスクロールし、設定ボタン を押します。

3. 上下の矢印ボタン を押してファイルの保存先を選択し、設定ボタン を押します。

4. ［スタート］ボタン を押します。

   コンピュータで、メモリカードマネージャが起動します。

5. 写真をコンピュータにコピーするには、［メモリカードマネージャ］ダイアログボックスに表示される手順に従います。

スライドショーを表示する

メモリカードまたは USB キーに保存されているすべての写真をスライドショー形式で表示できます。

1. メモリカードまたは USB キーをセットします。プリンタが自動的に写真プリントモードに切り替わります。

2. 設定ボタン を押して、［メモリカードモード］メニューにアクセスします。

3. 上下の矢印ボタン を使用して［スライドショーを表示］までスクロールし、設定ボタン を押します。

4. 上下の矢印ボタン を押してスライドショーの速度を選択し、設定ボタン を押します。

すべての写真を印刷する

1. メモリカードまたは USB キーをセットします。プリンタが自動的に写真プリントモードに切り替わります。
2. 設定ボタン を押して、［メモリカードモード］メニューにアクセスします。
3. 上下の矢印ボタン を使用して［すべての写真を印刷］までスクロールし、設定ボタン を押します。
4. 上下の矢印ボタン を押して、1 枚の用紙に印刷する写真の枚数を選択し、設定ボタン を押します。
5. ［印刷プレビュー］メニューから、［メニュー］ボタン を押して印刷設定の変更と写真の編集を行うか、または［スタート］ボタン を押して写真を印刷します。

メモ： メモリカードまたは USB キーから直接印刷できるのは、JPG 形式または特定の TIFF 形式の画像だけです。別の形式でメモリカードまたは USB キーに保存されている写真を印刷するには、印刷する前に写真をコンピュータに転送する必要があります。

DPOF 印刷

お使いのカメラが DPOF 対応の場合、メモリカードをカメラに入れたままで、印刷する写真と印刷枚数を指定できます。メモリカードをプリンタにセットすると、プリンタでこれらの設定が認識されます。

メモ： DPOF で用紙サイズを指定した場合、セットした用紙が指定したサイズ以上であることを確認してください。

1. メモリカードをセットします。プリンタが自動的に写真プリントモードに切り替わります。
2. 上下の矢印ボタン を使用して［DPOF 印刷］までスクロールし、設定ボタン を押します。
3. 設定ボタン を押すと、指定した DPOF 設定が表示されます。

   印刷ジョブのプレビューが表示されます。
4. ［スタート］ボタン を押して、写真を印刷します。

セレクトシートを使用して写真を印刷する

1. メモリカードまたは USB キーをセットします。

   メモリカードまたは USB キーで写真が検出されると、自動的に 写真モードがハイライト表示されます。 自動で表示されない場合は、上下の矢印ボタン を押して［写真］までスクロールし、設定ボタン を押します。

   メモ： メモリカードまたは USB キーから直接印刷できるのは、JPEG 形式または特定の TIFF 形式の画像だけです。別の形式でメモリカードまたは USB キーに保存されている写真を印刷するには、印刷する前に写真をコンピュータに転送する必要があります。（⇒ 写真をコンピュータに保存する）
2. 上下の矢印ボタン を使用して［セレクトシート］までスクロールし、設定ボタン を押します。
3. 上下の矢印ボタン を押して、セレクトシートに印刷するメモリカードまたは USB キーの写真を指定し、設定ボタン を押します。

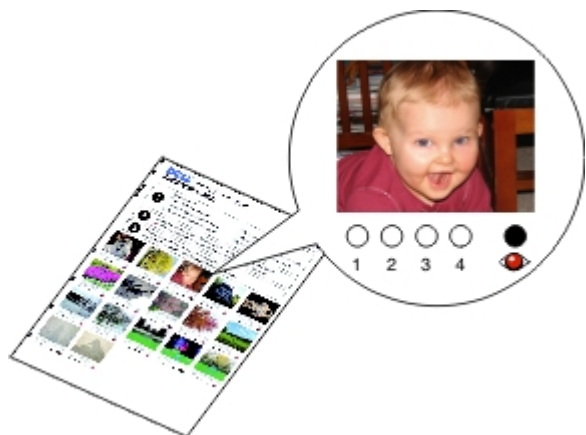
選択できるオプション	はたらき
X 枚の写真を印刷	メモリカードまたは USB キーのすべての写真をセレクトシートに印刷します。 「X」は、メモリカードまたは USB キー
最新 25 枚の写真の印刷	新しい順に 25 枚の写真をセレクトシートに印刷します。
日付を指定して印刷	特定の期間に撮影された写真のみを印刷します。 設定ボタン を押して、日付の範囲を選択します。

4. レターまたは A4 サイズの普通紙をセットして、設定ボタン を押します。（⇒ 用紙のセット）

   セレクトシートが印刷されます。

   メモ： セレクトシートの印刷後、［シートのスキャン］が自動的にハイライト表示され、手順 6 に進む準備が整います。

5. セレクトシートの手順に従って印刷する写真を選択し、使用するレイアウトと用紙の種類を選択します。

   印刷時に赤目を修整する場合は、写真の下にある赤目アイコン横の丸を塗りつぶしてください。

   メモ： 選択する場合は、丸を完全に塗りつぶしてください。

6. セレクトシートを下向きにして原稿台にセットし、設定ボタン を押します。（⇒ 原稿をセットする）

7. フォトペーパーをセットします。（⇒ 用紙のセット）

   メモ： プリンタにセットした用紙のサイズが、セレクトシートで選択した用紙のサイズと同じであることを確認します。

   メモ： 写真の印刷には、フォトペーパーまたは光沢紙の使用をお勧めします。

8. ［スタート］ボタン を押します。

   セレクトシートがスキャンされ、選択した写真が印刷されます。

注意： セレクトシートで選択した写真が印刷されるまでは、メモリカードを取り外したり、プリンタの電源をオフにしたりしないでください。メモリカードを取り外したり、プリンタの電源をオフにすると、セレクトシートは無効になります。

写真を編集してから印刷する

1. メモリカードまたは USB キーをセットします。プリンタが自動的に写真プリントモードに切り替わります。

2. 設定ボタン を押して、［メモリカードモード］メニューに移動します。

3. ［写真の表示と印刷］で、設定ボタン を押します。

4. 左右の矢印ボタン を使用して、編集する写真までスクロールし、設定ボタン を押します。

5. ［メニュー］ボタン を押します。

   ［写真メニュー］が開きます。

6. ［写真の編集］で、設定ボタン を押します。

編集する写真の横にメニュー項目が表示されます。

7. 上下の矢印ボタン を押して、メニュー項目をスクロールします。

8. 左右の矢印ボタン を押して、各メニュー項目のオプションをスクロールします。

9. 写真を編集したら、［戻る］ボタン を押して変更を保存します。

Microsoft Office ファイルを印刷する

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。

2. メモリカードをカードスロットにセットするか、USB キーを PictBridge ポートにセットします。

   メモリカードまたは USB キーに保存されているファイルが Microsoft Office ファイルのみの場合、プリンタが自動的にファイル印刷モードに切り替わります。ファイル名の拡張子が *.DOC、*.DOCX、*.PDF、*.PPT、*.PPTX、*.RTF、*.XLS、*.XLSX、*.WPD、および *.WPS のファイルのみが認識されます。

   メモ： メモリカードまたは USB キーに写真が保存されている場合、プリンタは自動的に［写真］モードに切り替わります。［戻る］ボタン を押して［写真］メニューを終了し、上下の矢印ボタン を押して［ファイル印刷］までスクロールします。設定ボタン を押して、［ファイル印刷モード］メニューにアクセスします。

3. 設定ボタン を押して、［印刷するファイルの選択］メニューにアクセスします。

   メモ： 設定ボタン を押して、［用紙設定］の設定を変更してから印刷するファイルを選択します。設定を変更したら、［戻る］ボタン を押して変更を保存します。

4. 上下の矢印ボタン を押して、印刷するファイルまでスクロールします。

5. ［スタート］ボタン を押します。

仕様

概要

メモリ	• 32 MB SDRAM • 4 MB FLASH • 2 MB FAX
接続	USB 2.0 高速
負荷サイクル（平均）	5,000 ページ/月
プリンタの寿命	• プリンタ：18,000 ページ • スキャナ：スキャン 18,000 回 • ADF：スキャン 12,000 回

環境に関する仕様

温度 / 相対湿度

条件	温度	相対湿度（結露なし）
操作時	17 ℃ ～ 32 ℃	8% ～ 80%
保管時	2 ℃ ～ 60 ℃	5% ～ 80%
輸送時	-40 ℃ ～ 60 ℃	5% ～ 100%

消費電力および要件

定格交流入力	90-255 V
定格周波数	47 Hz から 63 Hz
最小交流入力	90 VAC
最大交流入力	255 VAC
最大入力電流	1.0 A
平均電力消費量	

スタンバイモード	< 10 W
操作モード	< 32 W

FAX モードでの機能

スキャナを使用して FAX を送信する場合、ドキュメントは 200 dpi（ドット/インチ）でスキャンされます。モノクロのドキュメントを送信できます。

FAX が正しく機能するには、使用できるアナログ電話回線に接続されたコンピュータにプリンタが接続されている必要があります。

 メモ： DSL モデムに接続されている電話回線で FAX を送信する場合は、DSL フィルタを装着して、アナログ FAX モデム信号による干渉を低減させてください。

 メモ： ISDN（統合デジタル通信サービス網）用のモデムやケーブルモデムなどは FAX モデムではないため、FAX を送受信することはできません。

印刷およびスキャンモードでの機能

お使いのプリンタでは、72 ～ 19,200 dpi の範囲でスキャンできます。プリンタにも同じ性能がありますが、デル™では、あらかじめ設定された解像度での使用をお勧めします。

印刷およびスキャン解像度	スキャン解像度	印刷解像度	
		フォトペーパー / 光沢紙	その他の用紙
下書き	150 x 150 dpi	600 x 600 dpi	300 x 600 dpi
標準	300 x 300 dpi	1200 x 1200 dpi	600 x 600 dpi
写真	600 x 600 dpi	4800 x 1200 dpi	1200 x 1200 dpi

オペレーティングシステムのサポート

以下のオペレーティングシステムをサポートしています。

- Windows Vista™
- Microsoft® Windows® XP Professional x64
- Microsoft Windows XP
- Microsoft Windows 2000

メモリの仕様と要件

オペレーティングシステムの最小システム要件を満たしている必要があります。

オペレーティングシステム	プロセッサの速度（**MHz**）	**RAM**（**MB**）	ハードディスク
Windows Vista	800 MHz Pentium®/Celeron®	512	20 GB（空き容量 15 GB）
Microsoft Windows XP	AMD Athlon 64、AMD Opteron、Intel EM64T 対応 Intel Xeon、また	256	1.5 GB

Professional x64	は Intel EM64T 対応 Intel Pentium 4		
Microsoft Windows XP	Pentium II 300	128	500 MB
Microsoft Windows 2000	Pentium II 233	128	500 MB

用紙の種類とサイズ

用紙の種類	サポートされるサイズ	セット可能枚数
普通紙	• US レター：8.5 x 11 インチ（216 x 279 mm） • A4：8.27 x 11.69 インチ（210 x 297 mm） • リーガル：8.5 x 14 インチ（216 x 355.6 mm） • US エグゼクティブ：7.25 x 10.5 インチ（184.15 x 266.7 mm） • US Statement：8.5 x 5.5 インチ（215.9 x 139.7 mm）	150 枚
バナー紙	• A4 バナー • US レター バナー	20 枚
封筒	• US 封筒 #9：3 7/8 x 8 7/8 インチ • US 封筒 #10：4 1/8 x 9 1/2 インチ • 6 3/4（US 封筒）：3 1/4 x 6 1/2 インチ • 7 3/4（US 封筒）：3 7/8 x 7 1/2 インチ • 封筒 A2 Baronial：111 x 146 mm • 封筒 B5：176 x 250 mm • 封筒 C5：162 x 229 mm • 封筒 C6：114 x 162 mm • 封筒 DL：110 x 220 mm • 封筒 長形 3 号：120 x 235 mm • 封筒 長形 4 号：90 x 205 mm • 封筒 長形 40 号：90 x 225 mm • 封筒 角形 3 号：216 x 277 mm • 封筒 角形 4 号：197 x 267 mm • 封筒 角形 5 号：190 x 240 mm • 封筒 角形 6 号：162 x 229 mm	封筒： 10 枚
グリーティングカード、インデックスカード、ポストカード、フォトカード	• フォトカード/ポストカード：4 x 6 インチ • ハガキ（100 x 148 mm） • インデックスカード：3 x 5 インチ • 3.5 x 5 インチ	25 枚
フォトペーパー/光沢紙、マット紙	• 8.5 x 11 インチ（216 x 279 mm） • 4 x 6 インチ（101.6 x 152.4 mm）	50 枚
アイロンプリント紙	8.5 x 11 インチ（216 x 279 mm）	10 mm 厚
OHP フィルム	8.5 x 11 インチ（216 x 279 mm）	OHP フィルム：50 枚
ユーザー定義サイズの用紙	用紙サイズの要件は次のとおりです。 • 幅：3.0 ～ 8.5 インチ（76 ～ 216 mm） • 長さ：5.0 ～ 17.0 インチ（127 ～ 432 mm）	150 枚

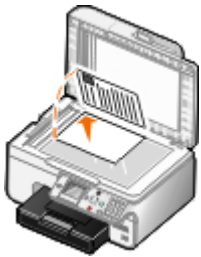
ケーブル

お使いのプリンタには、USB （ユニバーサルシリアルバス）ケーブル（別売り）を使用します。

コピー

文書をコピーする

操作パネルを使用する

1. プリンタの電源をオンにします。
2. 用紙をセットします。詳細については、次を参照してください。用紙のセット
3. 原稿をセットします。

4. ［メニュー］ボタン を押して、コピーの設定を変更します。
5. ［スタート］ボタン を押します。

   現在選択されているコピーの設定（カラーまたはモノクロ）により、コピーが作成されます。

   メモ： コピーの設定を選択せずに［スタート］ボタン を押すと、デフォルトでカラーコピーが作成されます。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 用紙をセットします。 （⇒用紙のセット）
3. 原稿をセットします。 （⇒原稿をセットする）
4. *Windows Vista™* の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

Windows® XP または *Windows 2000* の場合：

［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

5. ［**Dell AIO** ナビ］を選択します。

   Dell AIO ナビが起動します。

6. 部数（1 ～ 99）を選択し、［コピー］ドロップダウンメニューからカラー設定を指定します。

7. コピー設定を変更するには、［コピー設定を表示］をクリックします。

8. 設定の変更が完了したら、［コピー］をクリックします。

部単位で印刷する

操作パネルの使用

1. プリンタの電源をオンにします。

2. 用紙をセットします。（⇒ 用紙のセット）

3. 原稿をセットします。

4. メインメニューで、上向き矢印ボタン を押して［コピー］までスクロールし、設定ボタンを押します。

5. 上下の矢印ボタン を押して［枚数］までスクロールし、左右の矢印ボタン を押して枚数（1 ～ 99）を指定します。

   メモ： ドキュメントを部単位で印刷するには、2 部以上を指定する必要があります。

6. 上下の矢印ボタン を押して［部単位］までスクロールし、左右の矢印ボタン を押して［オン］までスクロールします。

7. 設定ボタン を押します。

8. ［スタート］ボタン を押します。

コンピュータを使用する

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。

2. 用紙をセットします。（⇒ 用紙のセット）

3. 原稿をセットします。

4. *Windows Vista* の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

   Windows®*XP* または *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

5. ［**Dell AIO** ナビ］を選択します。

   Dell AIO ナビが起動します。

6. 部数（1 ～ 99）を選択し、［コピー］ドロップダウンメニューからカラー設定を指定します。

   メモ： ドキュメントを丁合いで印刷するには、2 部以上を指定する必要があります。

7. コピー設定を変更するには、［コピー設定を表示］をクリックします。

8. ［アドバンス］ボタンをクリックします。

   ［コピー設定の詳細］ダイアログボックスが表示されます。

9. ［印刷］タブで、［丁合い（ソートコピー）］チェックボックスをオンにします。

10. ［**OK**］をクリックします。

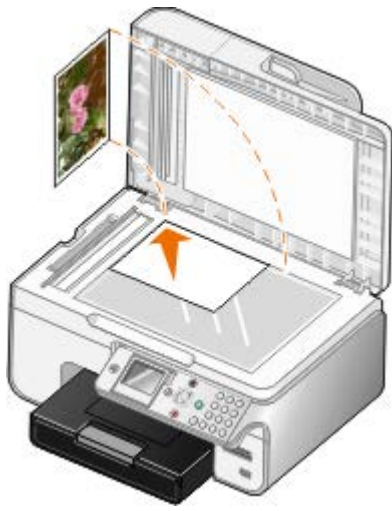
11. 設定の変更が完了したら、［コピー］をクリックします。

写真をコピーする

操作パネルの使用

1. プリンタの電源をオンにします。

2. 印刷面を下に向けてフォトペーパー/光沢紙をセットします。（⇒ 用紙のセット）

3. 原稿の写真をセットします。

4. 上向き矢印ボタン を押して［コピー］までスクロールし、設定ボタン を押します。
5. コピーモードのメニューで、上下の矢印ボタン を使用して［原稿の種類］までスクロールします。
6. 左右の矢印ボタン を使用して、［写真］までスクロールします。
7. ［スタート］ボタン を押します。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 印刷面を上に向けてフォトペーパー/光沢紙をセットします。（⇒用紙のセット）
3. 写真を原稿台の上にセットします。（⇒原稿をセットする）
4. *Windows Vista* の場合：
    a. ®［プログラム］の順にクリックします。
    b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。
    c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

    Windows XP および *Windows 2000* の場合：

    ［スタート］®［プログラム］または［すべてのプログラム］®［**Dell** プリンタ］®［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。
5. ［**Dell AIO** ナビ］を選択します。

    Dell AIO ナビが起動します。
6. ［プレビュー］をクリックします。
7. 印刷する範囲に合わせて点線の位置を調整します。
8. 部数（1 ～ 99）を選択し、［コピー］ドロップダウンメニューからカラー設定を指定します。
9. コピー設定を変更するには、［コピー設定を表示］をクリックします。
10. 設定の変更が完了したら、［コピー］をクリックします。

両面の原稿をコピーする

1. ADF に原稿をセットします。

2. メインメニューで、上向き矢印ボタン を押して［コピー］までスクロールし、設定ボタン を押します。
3. コピーモードのメニューで、上下の矢印ボタン を使用して［両面コピー］までスクロールします。
4. 左右の矢印ボタン を押して、［両面の原稿を片面にコピー］（オプションの両面印刷用ユニットがない場合）または［両面の原稿を両面にコピー］（オプションの両面印刷用ユニットがある場合）までスクロールし、設定ボタン を押します。
5. ［スタート］ボタン を押します。

原稿が ADF から排出されたら、液晶画面の手順に従います。

両面コピーを作成する

オプションの両面印刷用ユニットを購入して取り付けると、ドキュメントの両面コピーを自動で実行できます。オプションの両面印刷用ユニットを取り付けると、用紙を手動で裏返す必要がありません。用紙は自動的に裏返されるため、プリンタで裏面に印刷することができます。

 メモ： 両面コピーを作成するには、US レターサイズまたは A4 サイズの普通紙を使用します。封筒、カード用紙、フォトペーパーなどで両面コピーを行わないでください。

1. ADF に原稿をセットします。

2. メインメニューで、上向き矢印ボタン を押して［コピー］までスクロールし、設定ボタン を押します。
3. コピーモードのメニューで、上下の矢印ボタン を使用して［両面コピー］までスクロールします。
4. 左右の矢印ボタン を押して、［片面 -> 両面］（片面の原稿をコピーする場合）または［両面 -> 両面］（両面の原稿をコピーする場合）までスクロールし、設定ボタン を押します。
5. ［スタート］ボタン を押します。

コピー設定を変更する

操作パネルを使用する

プリンタをコンピュータに接続しないで使用している場合、操作パネルのコピーモードのメニューからコピー設定を変更できます。設定の詳細については、次を参照してください。コピーモード

コンピュータの使用

1. *Windows Vista*の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

   Windows XP および *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

2. ［**Dell AIO** ナビ］を選択します。

   Dell AIO ナビが起動します。

3. 部数（1～99）を指定し、［コピー］ドロップダウンメニューからカラー設定を選択します。

4. ［コピー設定を表示］をクリックして、以下の操作を実行します。

   - コピー品質を選択します。
   - 用紙サイズを選択します。
   - 原稿サイズの選択
   - ドキュメントの濃度調整
   - ドキュメントの縮小または拡大

5. ［アドバンス］ボタンをクリックして、用紙サイズおよび品質などのオプションを変更します。

6. オプションを変更するには、以下のタブをクリックします。

タブ名	はたらき
印刷	• 用紙のサイズおよび種類を選択します。 • フチなし印刷オプションを選択します。 • 印刷品質を選択します。 • 丁合いで印刷します。 • 逆順で印刷します。
スキャン	• カラーモードおよびスキャン解像度を選択します。 • スキャンした画像を自動でトリミングします。 • 自動トリミングツールの感度を調整します。 • スキャンする範囲のサイズを設定します。
画像補正	• 取り込んだ画像の傾きを修正します。 • ピントの甘い画像の鮮明度を調整します。 • 画像の明るさを調整します。

	• 画像の色補正カーブ（ガンマ値）を調整します。
パターン補正	• 灰色の画像を白と黒のドットパターンに変換します（ディザ）。 • 雑誌や新聞からモアレを除去します。 • カラー画像の背景ノイズを調整します。

7. ［**OK**］をクリックします。

8. 設定の変更が完了したら、［コピー］をクリックします。

付録

デル テクニカルサポートのご利用条件

技術者によるテクニカルサポートをお受けいただくには、トラブルシューティングに対するお客様のご協力とご自身での操作が必要となります。サポートでは、オペレーティングシステム、ソフトウェア、ハードウェア用ドライバなどの出荷時の設定への復元と、プリンタおよびデルが取り付けを行ったすべてのハードウェアの機能の適正についての確認を行います。技術者によるこのテクニカルサポートのほかに、デル カスタマーサービスでのオンラインテクニカルサポートもご利用いただけます。また、テクニカルサポートの追加オプションをご購入いただくことができます。

デルでは、プリンタおよびデルがインストールまたは取り付けを行ったすべてのソフトウェアと周辺機器に対して、限定テクニカルサポートを提供しています。Software & Peripherals (DellWare)、ReadyWare、Custom Factory Integration (CFI/DellPlus) などから購入およびインストールされたものを含む、サードパーティ製ソフトウェアおよび周辺機器に対するサポートは、それらの製造元により提供されます。

デルへのお問い合わせ

デルサポートには、support.jp.dell.com からアクセスできます。最初に表示されるページで地域を選択し、要求される詳細に記入すると、ヘルプツールおよび情報にアクセスできます。

オンラインでのデルへのお問い合わせには、次のアドレスをご利用ください。

- インターネット

  www.dell.com/

  www.dell.com/ap/（アジア太平洋諸国のみ）

  www.dell.com/jp/（日本のみ）

  www.euro.dell.com（ヨーロッパのみ）

  www.dell.com/la/（中南米諸国のみ）

  www.dell.ca（カナダのみ）

- 匿名 FTP（ファイル転送プロトコル）

  ftp.dell.com

  ログインユーザー名：anonymous、パスワードにはお客様の E メールアドレスを入力してください。

- E メールサポートサービス

  mobile_support@us.dell.com

  support@us.dell.com

  la-techsupport@dell.com（中南米諸国のみ）

  apsupport@dell.com（アジア太平洋諸国のみ）

  support.jp.dell.com（日本のみ）

  support.euro.dell.com（ヨーロッパのみ）

- E メール見積もりサービス

  apmarketing@dell.com（アジア太平洋諸国のみ）

  sales_canada@dell.com（カナダのみ）

保証および返品条件

Dell Inc.（以下「Dell」といいます）は、ハードウェア製品の製造のために、新品、または業界標準の慣例に従い新品と同等とみなされる部品およびコンポーネントを使用しています。お使いのプリンタに対する Dell の保証については、『オーナーズマニュアル』を参照してください。

スキャン

---

1 枚のドキュメントまたは写真をスキャンする

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 原稿をセットします。（⇒ 原稿をセットする）

   メモ： ポストカード、フォトカード、フォトペーパー、小さな原稿などは ADF（自動原稿フィーダー）にセットしないでください。これらの原稿は原稿台にセットします。

3. *Windows Vista™* の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

   Windows® XP または *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

4. ［**Dell AIO**ナビ］を選択します。

   Dell AIO ナビが起動します。

5. ［画像の取り込み先］ドロップダウンメニューから、使用するアプリケーションを選択します。

   メモ： 使用するアプリケーションがリストに表示されない場合は、ドロップダウンメニューから［その他を検索］を選択します。次の画面が表示されたら、［追加］をクリックして使用するアプリケーションを検索し、リストに追加します。

6. スキャン設定を変更するには、［スキャン設定を表示］をクリックします。
7. 設定の変更が完了したら、［スキャン］をクリックします。

複数の写真をスキャンして 1 つのファイルに保存する

メモ： アプリケーションによっては、一度に複数のページをスキャンできない場合があります。

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 原稿を原稿台の上にセットします。（⇒ 原稿をセットする）
3. *Windows Vista*の場合：
   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。
   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。
   c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

   Windows XP および *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。
4. ［**Dell AIO**ナビ］を選択します。

   Dell AIO ナビが起動します。
5. ［画像の取り込み先］ドロップダウンメニューから、使用するアプリケーションを選択します。

   メモ： 使用するアプリケーションがリストに表示されない場合は、ドロップダウンメニューから［その他を検索］を選択します。次の画面が表示されたら、［追加］をクリックして使用するアプリケーションを検索し、リストに追加します。
6. スキャン設定を変更するには、［スキャン設定を表示］をクリックします。
7. ［アドバンス］ボタンをクリックします。

   ［スキャン設定の詳細］ダイアログボックスが表示されます。
8. ［スキャン］タブで、［出力する前に複数ページの原稿をスキャンする］チェックボックスをオンにします。
9. ［**OK**］をクリックします。
10. 設定の変更が完了したら、［スキャン］をクリックします。

    1 ページ目をスキャンしたら、次の原稿をスキャンするかどうかを確認するダイアログが表示されます。
11. 次の原稿を原稿台にセットして、［はい］をクリックします。すべてのページのスキャンが完了するまで、この手順を繰り返します。
12. スキャンが完了したら［いいえ］をクリックします。

    原稿または画像の最後のページのスキャンが完了したら、選択したアプリケーションですべてのページまたは画像を含む 1 個のファイルが作成されます。

複数ページのドキュメントをスキャンする

メモ： アプリケーションによっては、複数のページをスキャンできない場合があります。

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 原稿を下向きにして自動原稿フィーダーにセットします。

3. *Windows Vista*の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

   Windows XP および *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

4. ［**Dell AIO**ナビ］を選択します。

   Dell AIO ナビが起動します。

5. ［画像の取り込み先］ドロップダウンメニューから、使用するアプリケーションを選択します。

   メモ： 使用するアプリケーションがリストに表示されない場合は、ドロップダウンメニューから［その他を検索］を選択します。次の画面が表示されたら、［追加］をクリックして使用するアプリケーションを検索し、リストに追加します。

6. スキャン設定を変更するには、［スキャン設定を表示］をクリックします。

7. 設定の変更が完了したら、［スキャン］をクリックします。

   ADF にセットされたすべてのページがスキャンされます。ADF 内のすべてのページがスキャンされたら、選択したアプリケーションですべてのページを含む 1 個のファイルが作成されます。

ネットワーク経由でスキャンする

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。

2. お使いのコンピュータとプリンタがどちらもネットワークに接続されていることを確認してください。

   メモ： デル™プリンタをネットワークに接続するには、デル製ネットワークアダプタ（別売）をお使いください。

3. 原稿をセットします。

4. メインメニューで、上下の矢印ボタン を押して［スキャン］までスクロールし、設定ボタン を押します。

   プリンタがネットワークに接続されている場合、プリンタは自動的に検出されます。ネットワークに接続されていた場合、［ホストの選択］画面が表示されます。ネットワークに接続されていなかった場合、［スキャンモード］メニューが表示されます。

5. ［ホストの選択］画面で、取り込んだ原稿を送るコンピュータを選択して、［設定］ボタン を押します。

   メモ：コンピュータにはプリンタソフトウェアがインストールされている必要があります。プリンタソフトウェアをインストールするには、*Drivers and Utilities* CD を使用します。

6. ホストコンピュータで使用している 4 桁のユーザー識別番号（PIN）を入力して、設定ボタン を押します。

   メモ：スキャンした画像を送信するコンピュータの PIN または名前を表示して変更することができます。（⇒ コンピュータ名および PIN を設定する）標準設定では PIN は不要です。PIN が設定されている場合にだけ必要となります。

   プリンタがコンピュータのアプリケーションリストを読み取ります。

7. ［スキャン先］から、左右の矢印ボタン を押して、スキャンした画像を取り込むアプリケーションを選択します。

8. 必要に応じてスキャン設定を変更し、［スタート］ボタン を押します。

   選択したコンピュータで、取り込んだ原稿が表示されます。

コンピュータ名および PIN を設定する

ネットワーク経由でスキャンする際に［ホストの選択］画面でコンピュータ名を探すことができるようにするには、コンピュータの名前を指定する必要があります。他のユーザーがスキャンした画像を自分のコンピュータに送れないようにするために、個人識別番号（PIN）を設定することもできます。

1. *Windows Vista*の場合：

   a. ® ［コントロール パネル］の順にクリックします。

   b. ［ハードウェアとサウンド］をクリックします。

   c. ［プリンタ］をクリックします。

   Windows XP の場合は、［スタート］® ［設定］® ［コントロール パネル］® ［プリンタとその他のハードウェア］® ［プリンタと **FAX**］の順にクリックします。

   Windows 2000 の場合は、［スタート］® ［設定］® ［プリンタ］の順にクリックします。

2. プリンタのアイコンを右クリックして、［印刷設定］をクリックします。

［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

3. ［メンテナンス］タブで［ネットワークサポート］をクリックします。

［**Dell** ネットワークオプション］ダイアログボックスが表示されます。

4. ［**Dell** ネットワークオプション］ダイアログで、［ネットワークスキャンのコンピュータ名と **PIN** を変更します］をクリックします。

5. 画面に表示される手順に従います。

6. コンピュータ名または PIN を指定したら、［**OK**］をクリックします。

OCR を使用してスキャンしたテキストを編集する

OCR ソフトウェアを使用すると、取り込んだ画像をワープロで編集可能なテキストに変換できます。お使いのプリンタには OCR ソフトウェアが 1 つ付属しており、プリンタソフトウェアと同時にインストールされています。

 メモ： プリンタドライバとソフトウェアを Dell の Web サイトからダウンロードした場合は、OCR ソフトウェアは含まれていません。

 メモ： 日本語または簡体字中国語をお使いのお客様は、お使いのコンピュータに OCR ソフトウェアがインストールされていることを確認してください。

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。

2. 原稿をセットします。

3. *Windows Vista*の場合：

   a. ®［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

   Windows XP および *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

4. ［**Dell AIO** ナビ］を選択します。

   Dell AIO ナビが起動します。

5. ［画像の取り込み先］ドロップダウンメニューから、使用するテキスト編集アプリケーションを選択します。

   メモ： 使用するアプリケーションがリストに表示されない場合は、ドロップダウンメニューから［その他を検索］を選択します。次の画面が表示されたら、［追加］をクリックして使用するアプリケーションを検索し、リストに追加します。

6. スキャン設定を変更するには、［スキャン設定を表示］をクリックします。
7. ［アドバンス］ボタンをクリックします。

   ［スキャン設定の詳細］ダイアログボックスが表示されます。

8. ［スキャン］タブで、［**OCR** ソフトウェアを起動する］チェックボックスがオンになっていることを確認します。
9. ［**OK**］をクリックします。
10. 設定の変更が完了したら、［スキャン］をクリックします。

    選択したアプリケーションで、取り込んだテキストが表示されます。

スキャンした画像を編集する

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 原稿をセットします。（⇒原稿をセットする）
3. *Windows Vista*の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

   Windows XP および *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

4. ［**Dell AIO** ナビ］を選択します。

   Dell AIO ナビが起動します。

5. ［画像の取り込み先］ドロップダウンメニューから、使用するアプリケーションを選択します。

   メモ： 使用するアプリケーションがリストに表示されない場合は、ドロップダウンメニューから［その他を検索］を選択します。次の画面が表示されたら、［追加］をクリックして使用するアプリケーションを検索し、リストに追加します。

6. スキャン設定を変更するには、［スキャン設定を表示］をクリックします。
7. 設定の変更が完了したら、［スキャン］をクリックします。

   画像のスキャン処理が完了すると、選択したアプリケーションに画像が表示されます。

8. お使いのアプリケーションに用意されているツールを使用して画像を編集します。次のような処理を行えます。

   - 赤目修整
   - 画像のトリミング
   - 画像へのテキストの追加
   - 画像の明るさとコントラストの調整

   詳細については、グラフィックアプリケーションのマニュアルを参照してください。

画像をコンピュータに保存する

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 原稿をセットします。（⇒原稿をセットする）
3. *Windows Vista*の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

   Windows XP および *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

4. ［**Dell AIO** ナビ］を選択します。

   Dell AIO ナビが起動します。

5. ［ツール］セクションで、［画像を保存する］をクリックします。
6. 画面の指示に従い、画像をコンピュータに保存します。

取り込んだ画像またはドキュメントを E メールで送る

メモ： お使いのプリンタがワイヤレスまたはイーサネット接続を使用してネットワークに接続されている場合は、スキャン操作はプリンタの操作パネルから開始する必要があります。（⇒ ネットワークプリンタから）

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 原稿をセットします。（⇒ 原稿をセットする）
3. *Windows Vista*の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

   Windows XP および *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

4. ［**Dell AIO** ナビ］を選択します。

   Dell AIO ナビが起動します。

5. ［ツール］セクションで、［画像・ドキュメントを **E** メールに添付して送る］をクリックします。
6. 画面の指示に従って、E メールで送る写真を用意します。
7. ［次へ］をクリックします。

8. E メール用アプリケーションを起動し、写真を添付するメールのメッセージを作成して送信します。

メモ： E メールにドキュメントを添付する方法の詳細については、E メール用アプリケーションのヘルプを参照してください。

ネットワークプリンタから

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. お使いのコンピュータとプリンタがどちらもネットワークに接続されていることを確認してください。

メモ： デルプリンタをネットワークに接続するには、デル製ネットワークアダプタ（別売）をお使いください。

3. 原稿をセットします。（⇒ 原稿をセットする）
4. プリンタの操作パネルで、上下の矢印ボタン を押して［スキャン］までスクロールし、設定ボタン を押します。
5. ［ホストの選択］画面で、取り込んだ原稿を送るコンピュータを選択して、［設定］ボタン を押します。

メモ： コンピュータにはプリンタソフトウェアがインストールされている必要があります。プリンタソフトウェアをインストールするには、*Drivers and Utilities* CD を使用します。

6. 必要に応じて、ホストコンピュータで使用している 4 桁のユーザー識別番号（PIN）を入力して、設定ボタン を押します。

メモ： スキャンした画像を送信するコンピュータの PIN または名前を表示して変更することができます。（⇒ コンピュータ名および PIN を設定する） 標準設定では PIN は不要です。PIN が設定されている場合にだけ必要となります。

プリンタがコンピュータのアプリケーションリストを読み取ります。

7. ［スキャン先］から、左右の矢印ボタン を押して、［E メール］までスクロールします。
8. 必要に応じてスキャン設定を変更し、［スタート］ボタン を押します。

デフォルトの E メールアプリケーションで新しい E メールメッセージが作成され、スキャンした画像が添付されます。画像を添付するメールのメッセージを作成して送信します。

画像や文書を拡大・縮小する

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 原稿をセットします。（⇒原稿をセットする）
3. *Windows Vista*の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

   Windows XP および *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

4. ［**Dell AIO** ナビ］を選択します。

   Dell AIO ナビが起動します。

5. ［プレビュー］をクリックします。

 メモ： スキャン範囲のサイズ（プレビュー画面の右上）が赤で表示されている場合、選択した解像度またはサイズでスキャンを実行するために使用可能なシステムリソースが不足しています。この問題を回避するには、解像度を下げるか、スキャン範囲のサイズを小さくしてください。

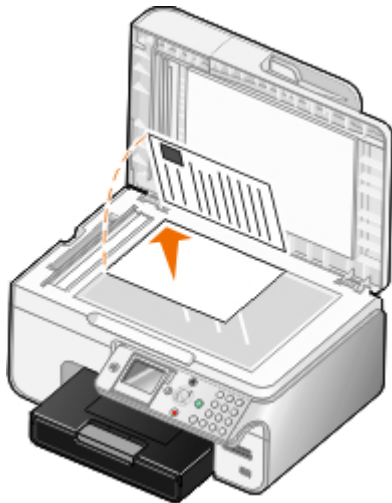
6. ［ツール］セクションで、［画像を拡大・縮小・フチなしで印刷する］を選択します。

7. 画面の指示に従って画像のサイズを選択します。

8. 画像の設定を変更したら、［スキャン］をクリックします。

新聞記事をスキャンしてコピーの画質を調整する

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。

2. 新聞記事や切抜きを下向きにして原稿台にセットします。

3. *Windows Vista*の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

   Windows XP および *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

4. ［**Dell AIO** ナビ］をクリックします。

   Dell AIO ナビが起動します。

5. すべての設定を表示するには、［スキャン設定を表示］をクリックします。

6. ［詳細］をクリックします。

   ［スキャン設定の詳細］ダイアログボックスが表示されます。

7. ［パターン補正］タブで、［モアレを除去する］をクリックします。

8. ［品質優先］または［速度優先］のいずれかのオプションを選択します。
9. ［原稿の種類］ドロップダウンメニューで、スキャンまたはコピーした原稿の種類を選択します。
10. 設定を保存するには［**OK**］をクリックします。
11. 原稿をスキャンまたはコピーします。

手持ちの写真をデジタルデータに変換する

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. *Windows Vista*の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

   Windows XP および *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

3. ［**Dell AIO** ナビ］をクリックします。

   Dell AIO ナビが起動します。

4. ［ツール］セクションの［複数の写真を同時にスキャンする］をクリックします。
5. 複数の写真をお互いに離して、ガラス面の端から離れた位置に置きます。
6. ［原稿をプレビューします（必須）］をクリックします。
7. 画像を保存する場所を選択します。
8. スキャン後に画像の回転などのオプションを使用する場合は、［保存時に、画像の回転とファイル名を指定する］を選択します。
9. ［スキャン］をクリックします。

スキャン設定を変更する

操作パネルを使用する

操作パネルの［スキャンモード］メニューから、コピー設定を変更できます。設定の詳細については、次を参照してください。スキャンモード

コンピュータの使用

1. *Windows Vista*の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

b. ［**Dell プリンタ**］をクリックします。

c. ［**Dell 968 AIO Printer**］をクリックします。

Windows XP および *Windows 2000* の場合：

［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［**Dell** プリンタ］® ［**Dell 968 AIO Printer**］の順にクリックします。

2. ［**Dell AIO** ナビ］を選択します。

Dell AIO ナビが起動します。

3. ［画像の取り込み先］ドロップダウンメニューから、使用するアプリケーションを選択します。

メモ： 使用するアプリケーションがリストに表示されない場合は、ドロップダウンメニューから［その他を検索］を選択します。次の画面が表示されたら、［追加］をクリックして使用するアプリケーションを検索し、リストに追加します。

4. ［スキャン設定を表示］をクリックして、以下の操作を実行します。

- スキャンする原稿の種類を選択します。
- スキャン解像度を選択します。

5. ［アドバンス］ボタンをクリックして、用紙サイズおよび品質などのオプションを変更します。

6. オプションを変更するには、以下のタブをクリックします。

タブ名	はたらき
スキャン	• カラーモードを選択します。 • スキャン解像度を選択します。 • 自動トリミングツールの感度を調整します。 • スキャン範囲を設定します。 • OCR アプリケーションを使用して、スキャンした原稿をテキストに変換します。 • 複数の原稿をスキャンするように設定します。 • 画像を取り込むソフトウェアアプリケーションのリストを編集します。 • 通常使う FAX ドライバを更新します。
画像補正	• 取り込んだ画像の傾きを修正します。 • ピントの甘い画像の鮮明度を調整します。 • 画像の明るさを調整します。 • 画像の色補正カーブ（ガンマ値）を調整します。
パターン補正	• 灰色の画像を白と黒のドットパターンに変換します（ディザ）。 • 雑誌や新聞からモアレを除去します。 • カラー画像の背景ノイズを調整します。

7. ［**OK**］をクリックします。

8. 設定の変更が完了したら、［スキャン］をクリックします。

ライセンスに関する通知

- BSD License and Warranty statements
- GNU License

この CD に含まれている、その他のオープンソースソフトウェアのライセンス契約については、D:\\Drivers\XPS\Zopen.pdf を参照してください。

プリンタに　駐するソフトウェアには、次のものが含まれています。

- デルまたはサードパーティが開発し、著作権を所有するソフトウェア
- GNU General Public License version 2 および GNU Lesser General Public License version 2.1 の条項に基づき、デルが改変したソフトウェア
- BSD License and Warranty Statements に基づいて使用許諾されるソフトウェア
- Independent JPEG Group の著作物に基づくソフトウェア

デルが改変した GNU ライセンスソフトウェアはフリーソフトウェアです。お客様は、この使用許諾の条項に基づいて、ソフトウェアを再配布または改変することができます。 この使用許諾は、このプリンタに付属する、デルまたはサードパーティが著作権を所有するソフトウェアに対するお客様のいかなる権利も保証するものではありません。

デルが改変の際に基盤として使用した GNU ライセンスソフトウェアは完全に無保証で提供されるため、デルによる改訂　も同様に無保証で提供されます。 詳細については、適用されるライセンスの保証免責条項を参照してください。

BSD License and Warranty statements

Copyright (c) 1991 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

GNU License

GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.

59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you". Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a. You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b. You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c. If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a. Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b. Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c. Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted

interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

1 April 1989

Lexmark International, Inc.

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.

59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you

first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete

source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a. The modified work must itself be a software library.

b. You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c. You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d. If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a. Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b. Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c. Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d. If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e. Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a. Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b. Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

1 April 1990

Lexmark International, Inc.

That’s all there is to it!